



JAPAN
ARCHITECTURAL
RENDERERS
ASSOCIATION

PERSPECTIVE

JARA設立10周年記念特集号 1990 Vol.13

日本アーキテクチャーレンダラーズ協会

PERSPECTIVE

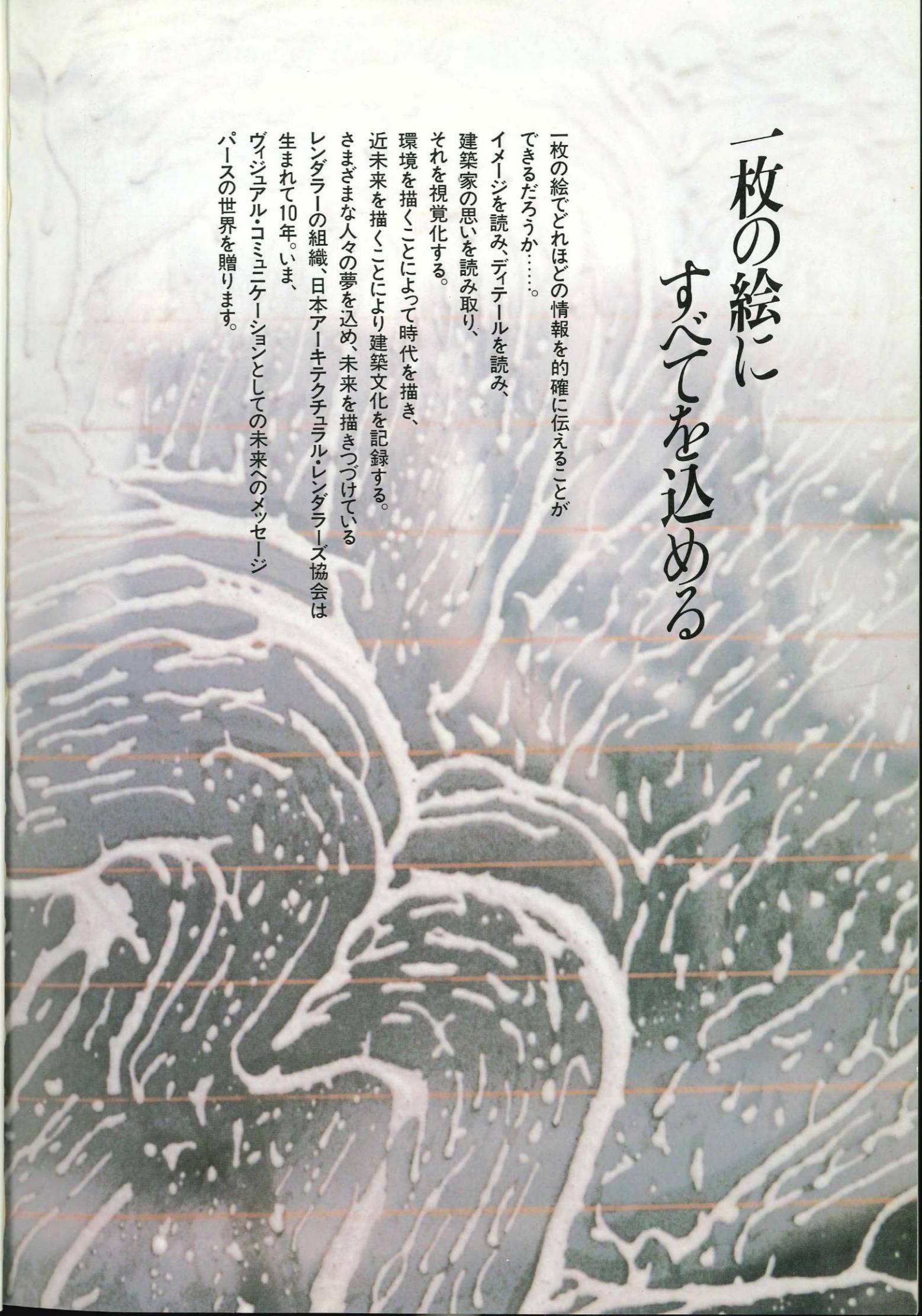
JARA設立10周年記念特集号 1990 Vol.13

日本アーキテクチャーレンダラーズ協会

一枚の絵に すべてを込める

一枚の絵で、どれほどの情報を的確に伝えることが
できるだろうか……。
イメージを読み、ディテールを読み、
建築家の思いを読み取り、
それを視覚化する。

環境を描くことによって時代を描き、
近未来を描くことにより建築文化を記録する。
さまざまな人々の夢を込め、未来を描きつづけている
レンダラーの組織、日本アーキテクチャーランダーズ協会は
生まれて10年。いま、
ヴィジュアル・コミュニケーションとしての未来へのメッセージ
ベースの世界を贈ります。



【目次】

協会設立10周年を迎えて・光藤俊夫	2
At the Time of the 10th Anniversary	
of JARA・大平善生	3
JARA 設立10周年へのメッセージ	4
パースの次なる課題に向けて（高須賀晋）	
パースに求められる優れた主張性（藤澤健一）	
重要性を増すパースの役割（横山孝治）	
材料やディテールに忠実な方向へ（宮本忠長）	
確かなデッサン力と豊かな表現力（玉川和正）	
時代を現わす色を（鈴木隆之）	
パースへの希望（秋元和雄）	
新しい作風の創出を期待する（山下和正）	
座談会 出江寛・渡辺豊和・小西久雄・刈谷拓爾（司会）	
パースの今日的役割と建築の近未来	6
国際交流 韓国	12
ASAP（米国）	14
アンケート'90いまときのレンダラー	16
パースの社会的側面	20
姫橋城天守閣復元パース（生松秀樹）	
東京駅復元パース（桑田謹次）	
パースの魅力	21
自分の楽しみのために描くパース（佐々木明子さんに聞く）	
10周年記念事業ダイジェスト	22
会員名簿	25
協賛者リスト	53

発行日 1990年8月6日 Vol.13
発行 日本アーキテクチャーランダーズ協会
事務局 〒107 東京都港区南青山3-3-14
カトリビル107 TEL 03-470-5370
編集 記念出版実行委員会
製作 エディション・カイエ
アートディレクション 倉本修装幇事務所
印刷製本 日本電植株式会社

定価600円(本体583円)

協会設立10周年を迎えて

JARA 会長

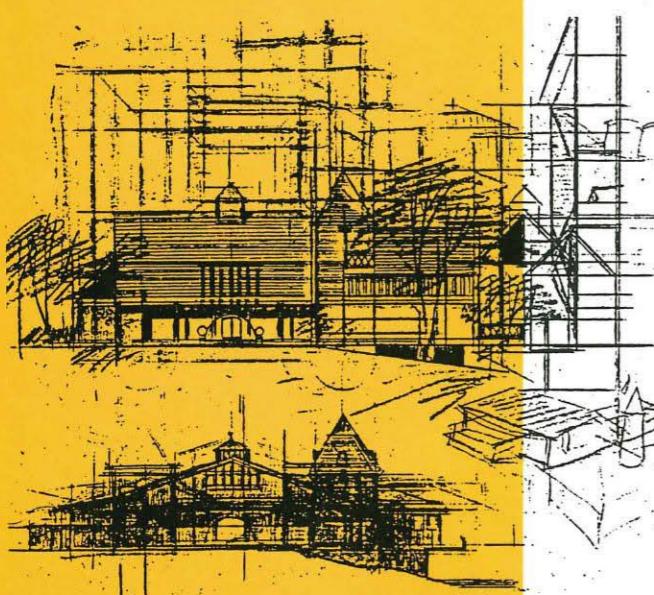
光藤俊夫



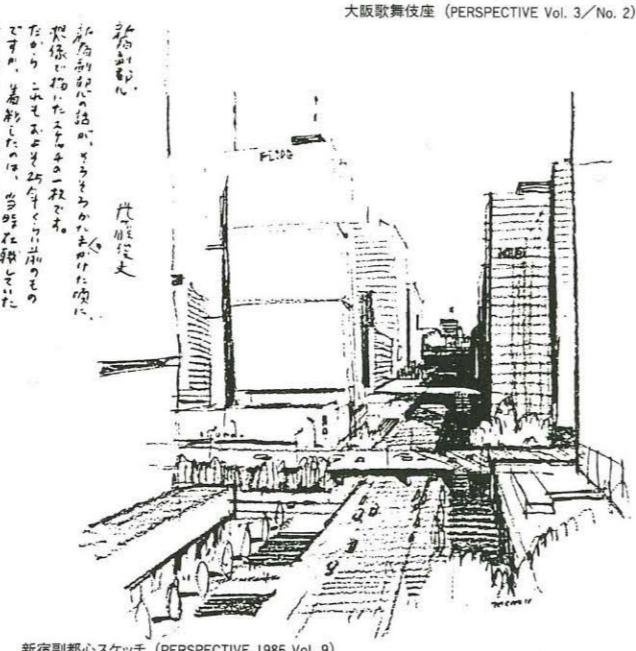
レンダラーズの職業的自覚とモラルの高揚を掲し、その地位と質の向上を目指すことを目的として設立された本協会は、その所期の目的を逐一果たしながら、会員間の交流を通じての視野の拡張、そして会員自身における技能の研鑽を重ねると併せ、いささかなりとも建設事業の発展に寄与し得たものと確信している次第ですが、ここに創立10周年を迎えるに当たり、改めて会員諸兄姉の真摯なる努力のことを思い、またそれ以上に各界にわたり多くの方々からの心あるご支援の賜物と感謝申し上げる次第です。

②

10周年を記念しての事業展開もいよいよ具体的に、かつ活気を込めて世に問われつつあります。是非とも成功させねばなりません。そして本協会はさらに一步前進の構えを固めねばなりません。会員諸兄姉のさらなるご努力、また各界諸先輩のさらなるご支援、再度お願い申し上げ、共に斯界の発展を念じたく思います。



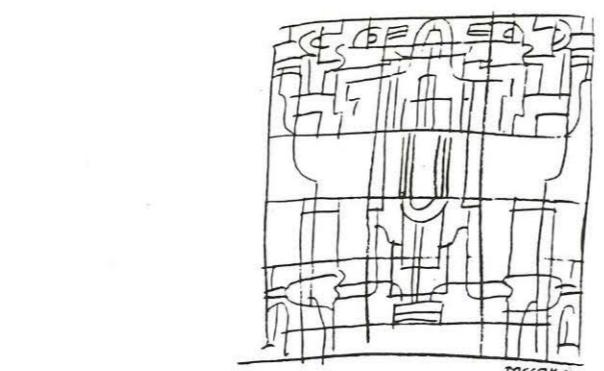
A美術館計画エスキス (PERSPECTIVE 1989 Vol. 12)



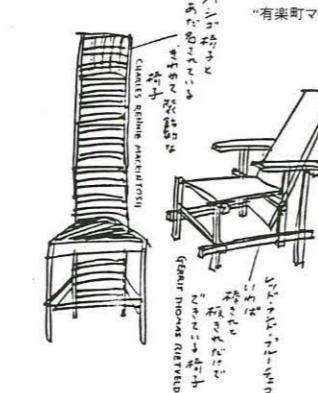
新宿副都心スケッチ (PERSPECTIVE 1986 Vol. 9)



大阪歌舞伎座 (PERSPECTIVE Vol. 3 / No. 2)



「有楽町マリオン」ラフスケッチ (PERSPECTIVE 1987 Vol. 10)



(PERSPECTIVE 1988 Vol. 11)

【PERSPECTIVE の表紙より】

At the Time of the 10th Anniversary of JARA

JARA 理事長

大平善生



私たちの環境のあらゆる構築物や建築を設計しデザインする人にとって、それぞれのイメージを描き表わす作業は、大きな楽しみであったと思います。元来そうして描かれていたパースの役割は日ごとに拡大し、より的確で、精緻な情報絵画としての質の高さが必要とされるようになり、パースの専門的な職域が生れてきました。それが、建築パースのレンダラーという職能です。

絵を描くという仕事は、個人的作業であるためか、レンダラーはそれぞれ一匹狼として点在し、活躍しておりましたが、そのような同じ職能を持つものたちが集まり、集団として、社会との接点をより大きく持ち、その職業的モラルおよび質の向上をめざし組織されたのが、日本アーキテクチュアル・レンダラーズ協会 (JARA) です。設立以来10年、パースセミナー・シンポジウムと、情報交換や意見交換を重ね、設計者や創り手の夢を食み、デザイン意図をより的確に抽出するレンダリングを、時には建築家のデザイン感覚を刺激するようなパースをと、思いを込めて描き続けてきました。

パースを描くを通して建築の歴史を見続けていますと、時に、明日の建築についての搖れ動く思い、試行錯誤する様が、ありありと見えたりすることがあります。さまざまにパースを一堂に集めてみると、そんなことも、わかつていただけるのではないか、そして、そこから未来へのがかりが見つかることもあるのでは、などと考え、また一般の方々には、パースを通して建築を、近未来を見ていただき、またパースそのものを見る(読む) 楽しみを識っていただきたいとの思いから、創立以来、建築パース原画展を毎年開催しております。

本年、1990年は、JARAの10年の記念として、例年のパース原画展に加え、パースの歴史展、アメリカをはじめとする海外のパース作品を招いての国際パース展、建築・デザインを愛しめざす人たちによるパース公募展、建築・プレゼンテーションに関するシンポジウム等と、私たちを取り巻く環境、変化し続ける世界の中で、今や必要不可欠となったコミュニケーションの手段としてのパースの世界をグローバルに展開するイベントを東京・名古屋・大阪の会場で開催します。

絵が人間にとての共通言語である以上、情報絵画としてのパースは、今後ますますニーズを広げていくことでしょう。いま、10周年記念事業を一つのステップとして、私たちは、真摯に努力する思いを新たにし、明日の建設事業の、建築文化の、よりよい未来社会作りの一助となるように、より魅力的なパースを描いていきたいと思います。

今後も、建築・デザインを愛する皆様の更なるご支援を、よろしくお願い申し上げます。

③



パースの次なる課題に向けて

JARA名誉会員
高須賀 晋

10年に及ぶ協会活動の功というべきだろう、近年のレンダリング技術は目に見えて向上した。作品の多くは多様な建築材の質感をも伝え得て、実用的にはほとんど問題がない。なにしろ未実現の構造物を論理的な過程を経て、目の前に美的に現出させる仕事である。コンクリートはコンクリートらしく、タイルはタイルらしく描出する技法の基礎は踏みはずすわけにいかない。

では基礎条件がほぼ満たされたとして、次に何を目指すべきなのか。情緒だ、と私は思う。立ち上がった建築物が持つだろう雰囲気を敏感に想像して描き出す感性であり、表現技術である。

4 情緒とか雰囲気とかは決して非論理的なものではない。むしろまだ十分に論理的に解明できないだけのものと解すべきで、それらが持つ情報の質と量はなにより見る者に強い説得力として働く。そうだろう、商店を描くとして、静かにうらびれた雰囲気はあり得ないし、宿泊施設にけたたましい筆づかいは禁物にちがいないのだ。

建物が身につけるべき情緒を描き出すことは、描く者の生身の人間としての解釈の呈示である。

なぜ情緒的、感覚的な要素がつけ加わることでパースが分かりやすくなるかといえば、おそらく描かれた構築物をもっともよく理解するための思考の道すじを、そのパース自体がすでに身に体しているからにちがいない。

このような場に立つためには、対象となる構築物への感情移入が不可欠である。この世にまだ生れ出でていず、単に設計だけされたものへの感情移入は言うほどに易しくはない。正確な図面の読み込みと想像力、それなりに建築への愛情だけが建物の本質に迫り得る途といえよう。

このことは必然的にレンダラーの資質にはね返ってくる。つまり息の合う建築家や好きなタイプの作品などの分化が生じ、レンダラーの得意分野、専門分野がさらに区分、確立していくことに働くかもしれない。もちろん、どんな建築物でもこなせることは便利だし、ひとつの才能ではある。だが、パースの水準が実用を踏まえつつ限りなく美に接近していくとき、レンダラーの資質が問われ、またそれがものをいうのは自明のことである。いち早く自分の雰囲気や情緒を身につけ、他に追随を許さないこと——パースの水準はすでにこのことを狙う段階に達したといえる。

パースに求められる優れた主張性
……藤澤健一

▶イメージ戦略としてのパース

情報化社会の真っただ中の現在、TV・ビデオ・新聞・雑誌・ポスター・各種DM等を媒体として、各種の製品・物件又は企業までがイメージ戦略の壮絶な争いを行っている。

このような背景のもとに、都市デザインを領域とする調査研究・設計業務に携わっている我々においても、キャッチフレーズや計画テーマ及びイメージスケッチが、業務の進捗において必要不可欠になってきているとともに、その成果に大きなウェイトを占めていると感じさせられている。

パースにおいても、従来からの設計図にもとづく“完成予想図”から、計画・設計過程における“イメージ図”として多用されつつあり、正確さ・出来ばえの良さに加えて、パース自体が何を訴えようとしているのか（コンセプト・ポリシーをいかに適確に表現できるか）という優れた主張性が、現在求められているように思われる。

▶レンダラーの方々とのパートナー関係

我々の業務は元来、マスプロ産業ではなく、オリジナルの一品生産であり、その過程でのプレゼンテーションが重要なポイントとなるものである。つまり、コンセプトをわかりやすく、適確に、クライアントに伝達する手段について、パースを中心に、フレーズ・イラスト等を駆使して、新たな手段の開発に努めていかなければならぬ。

このようなことから、計画・設計とパースとは、従来の分業・專業的な立場から、必然的に不離一体のものとして捉えられていことになると考えられる。我々、計画・設計に携わる者とレンダラーの方々とが、親密なパートナーとして、各々の能力・知恵を結集しながら新たなプレゼンテーション手法の開発とともに、プロジェクトが遂行できることを切望して、レンダラーズ協会の創立10周年にあたってのことばとさせていただきたい。

（株式会社アーバンデザインコンサルタント名古屋事務所所長）

重要性を増すパースの役割
……横山孝治

パースの必要性は、多様化してきた生活様式とも相まって、ますますその内味（質的な面）において重要性が増していく。それは、CADや模型とは違って、ベストアンダルでの建築空間の性格を、設計者とクライアントの間で認識し、その生活の感性をも手に入れることが期待されるものであるからである。

（株式会社山下設計・設計監理本部設計部長）

材料やディテールに忠実な方向へ
……宮本忠長

①今、こんなパースが必要とされている

建築のパースは当然風景画のような絵ではないのですが、従来の商業ベースでは、それが絵のように、あるいはイラスト的に描かれたものが多かったと思います。やはり、建築のパースは材料やディテールのわかるものが必要でしょう。たとえば、茶色に着色しているところを見て、「ここはレンガですか？」というような質問を受ける時もあります。絵としてのムードも大切ですが、材料やディテールに忠実な方向に需要は移行しつつあるのではないか。

②いずれパースはこうなる

一枚の絵でも、コンピュータのおかげで、角度を変えればこうなる、上から見ればこうなる、というようなシュミレーションができますね。一枚の絵はそれだけでは固定した絵だったものが、シュミレーションでより具体的に説明ができるようになり、これはもう、パースの大きな武器だと思いますね。

③パースや模型以外のプレゼンテーション・テクニック

の今後について

パースは一点主義というか、その建物だけを描きますね。それは発注者側の希望でもありますが、まわりの空間との関係があつてはじめて建物というのは把握できるわけだから、その点もプレゼンテーションには必要なものだと思います。それを表現できるのが模型でしょうね。コンピュータ・グラフィックも重要なテクニックですが、大きい事務所でないとまだまだむずかしいと思いますよ。当分は、パースと模型の併用が続いているのではないかでしょうか。（談）

（株式会社宮本忠長建築設計事務所所長）

パースへの希望
……秋元和雄

この頃のパース、人とか車とかがやたらうまくなりましたが、点影が目につきすぎて主役の建物がかすんでいるものを見かけます。やはり建物のディテールがきちんと表現されたパースが欲しいですね。

印象にのこっているパースは、

- ・国立劇場のコンペ、山本案の高須賀さんがお書きになったパース
- ・最高裁のコンペ、岡田案のパース

それぞれの時代で衝撃受けました。

（株式会社秋元和雄設計事務所所長）

新しい作風の創出を期待する
……山下和正

確かにデッサン力と豊かな表現力

……玉川和正

「パース」において、今、そして今後とも必要とされるのは、やはり確かなデッサン力と豊かな表現力だと思っていました（ちょっとアカデミックすぎるでしょうか）。

アングル、構図、タッチ、ヴァルール、質感、光、そして空間。細部にとらわれず（実はどうでもよい細かいことを注文するのは建築家のほうだったりするのですが……）迫力ある画面をつくりあげる眼。図法に則りながらも、時として、それをあえてデフォルムできる感覚。これこそ、CADやそれ以上のプレゼンテーション・テクニックが普及しても、いや普及すればするほどパースの存在意義として未来永劫続くものだと思います。

実は建築設計もしかりでして、これを書きながら「パース」を「建築」に置き換へ、自戒の念に苛まれた次第です。

レンダラーズ協会10周年、さらなる発展を期待します。

（ART RANDOM代表）

時代を現わす色を
……鈴木隆之

①今、こんなパースが必要とされている

色彩や、人物・車などのかたち、風景などに、現代性の感じられるもの。いろいろなパースを見ていると、ときどき少し時代感覚のズレているものがある。建築のデザインも常に動いているのだから、パースも最先端の感覚であつてほしいと思う。特に色彩。時代を現わす色があるという気がする。パースの世界での常識にとらわれず、だいたんな色づかいをしてほしい。

②いずれパースはこうなる

さまざまなメディアによって建築のイメージが伝達できるようになったが、これからもパースの重要性がへることはないと思う。CG（コンピューター・グラフィックス）などではできないような、獨得の線を描いたパースが主流となるのではないか。曲線や、あるいは故意にラフにした線で描かれるようなパース。そうしたパースが出現してくるのではないかと思う。

③パースや模型以外のプレゼンテーション・テクニック
の今後について

CGが今後ますます多用されることになることは間違いない。僕も既に何回か使用しているが、CGをヴィデオ・テープにとり、バック・グラウンド・ミュージックを流すような、より柔らかでイメージ豊かなプレゼンテーション・テクニックが用いられることになるだろう。しかし従来のプレゼンがなくなることはない。要は、多様化すること。

（建築家／京都精華大学講師）

新しい作風のすばらしいパースの創出を期待します。そのためにはすばらしい設計が必須だと云われそうですが、それはおまかせ下さい。（建築家／東京工業大学教授）

パースの今日的役割と建築の近未来



1990年6月9日
大阪ロイヤルホテル“竹葉亭”にて

6

誰のために描くのか

刈谷——当協会も創立10周年を迎え、記念行事をいろいろ計画し進行しております。今回のこの会談もその中の一環として、協会年会誌の記念特集号に掲載するものです。建築界において鋭い論客として知られる出江先生と渡辺先生にお話をうかがう機会を持てたことを喜んでいます。本日は建築パースに関するお話をうかがいたいと思います。

パースの功罪という、ずいぶん大きなテーマなのですが。ところで、渡辺先生はあまりパースはお使いにならないんですね。

渡辺——ええ、使わないですね。

刈谷——出江先生はパースも模型も併用しておられるのですか？

出江——そうですね。僕はねえ、パースも模型も、極端な言い方をしたら施主に対して以上に、僕がわかりやすいための透視図であり、スタディ模型、スタディパースでしかない。コマーシャル建築で、施主がパースを描いてくれと言うときは、外注して美しいパースを描いてもらうけど。うちの事務所では、所員にそれなりの透視図をおこさせてね、とにかくごまかさんと正確に描けと。それによって

自分で描いた建築のプロポーションをチェックするという意味のパースなんやね。

渡辺——僕は、絵心っていうか絵はけっこううまかった。ただ、絵とパースは違うっていう根本的な認識が僕にはあるんですよね。パースはどうも……ね。だいたい、僕は施主へのプレゼンてしませんから。しないけどコンペはする。でも、極端に言って、百回やったら百回とも一次で落選すると思う。それはたぶんパースが下手ってことだけがその理由ではないだろうけれども。そのくらい……ね。ほかでは常に模型を使っているんですよね。

模型の方がわかりやすいっていうよりも、不器用なんだな、パースに関しては。

小西——先生方の事務所内で創造される仕事の段階では、われわれの描いているようなパースは必要ないと思いますが、最終的にやはりオーナーを含めた一般のかたに説明するという時になってきますと、どうしてもコミュニケーションという意味では、建築家のかたのドローイングを理解されるかたは少ないものですから、われわれが先生方からお預かりして、通訳という位置でパースを作製します。そうすると、オーナー側から、もう少し空を青くとか、もっと木を植えてとか、先生方のイメージをゆがめた形で描かざるをえないということもあります。

出江——あのねえ、そのことについてはねえ、ずいぶん昔にさかのぼるんですがね。昔最高裁判所の設計競技があったんですよ。その時にまだ僕は竹中の広島支店にいたんですよ。

でパースを描く段階になって、竹中のパースはあくまで商業建築が主体でね、役所の建築なんかはまだやってなかつたから、描くパースというものは全部、花がいっぱい咲いてて青空があつてね、車が走つてね、実にぎやかな、見るからに楽しい美しいパースやね。だから建築はつまらんでも、まわりの木や花や車や人とかでね、はなやかに見せていくつたんやね。で、最高裁判所というのはそういう建築ではないでしょ。きびしさを主体とする透視図を必要とする時に、どうしてもくせが出て、すぐにガラスに青空が映つたりオレンジ色に輝いていたり、人の服を赤や黄で描いたり。それはもうなんぼ言うてもあかん。それで、とうとう自分で描いた。晩秋のオータムカラーで、緑はなくて、ケヤキが枝だけになって、芝生も黄色っぽい枯れたような感じで、静かなやつ。最高裁つてほら、精神性を表現しないといかんからね。全部淡彩で、線だけはきちっと描いといつてね。線できちんと押さえるということで、裁判所としての雰囲気が出る。で、それがまあともかく佳作だけれども入選して、あとで当選したのを見たら、みな淡彩で、落選したやつは全部見るからにはなやかな最高裁やつた。あれは日本のパースの歴史のなかの、はっきりと転換期で、それからは刺激を受けてわりとストイックなパースを描く時代になっていったね。

渡辺——僕はね、さっきも言ったようにもうパースはしませんから。一度だけね、小さい地方工務店でね、これは出江さんやってないと思うけど、光明池の幼稚園ってあったんですよ。

出江——ああ、あれ僕やつた。

渡辺——やつたの？ ほんとう。

出江——あれは最優秀。

渡辺——で、建つた？

出江——いや、建たなかつた。なんか施主の方針変わって、残念ながら。

渡辺——僕なんか一次で落ちちゃつたけど。それでね、その時にしたのが、あのころからもちろん僕はずっと模型ですから模型ばかり作りましたけど。だけど内部は模型じゃできませんからパースなんですかね、そのパースはエッチングでした。それにね、陰惨なものを作りました。ちょうど絵にするとね、ルドンの絵のような。ルドンもエッティングになるとけつこう陰惨ですからね。色つけると非常にはなやかな絵ですけど。その内部のエッティングは僕自身じゃなくて彫刻家にやつもらつた。ある程度スケッチ描いて渡しました。パースとしてプレゼンテーションしたのはそれだけ。

出江——僕はねえ、その渡辺さんの、ものすごい印象強かったのね。細密画みたいな、徹底した、いやーすごい人がいるんやなあと。いまだに覚えてる。

渡辺——でも誰も認めてくれなくて、一次で落ちた。

出江——いやあ、それでね、絵はすごいと思ったけどね、幼稚園にしてはちょっとねえ。暗かったでしょう、あれ。

渡辺——だってあれば、子供はもう牢獄に入った方がいいっていう、そういうテーマですもの。(笑)もう見るだけでウンザリっていうような。

出江——えらいそれが出てた。

小西——われわれはどっちかというとけつこう将来に希望のもてるようなものをしますのでね。そのウンザリは、表現方法としてはおもしろいんですけどね。われわれもいつべんそういうウンザリだつていうのやつてみたいと思うんですけど、なかなか……。

渡辺——出江さんもさつきおっしゃったように、自分のために描かれるっていうでしょ。僕も、いや誰でもみなそうだと思いますね。自分の表現ってことでやっていますから。

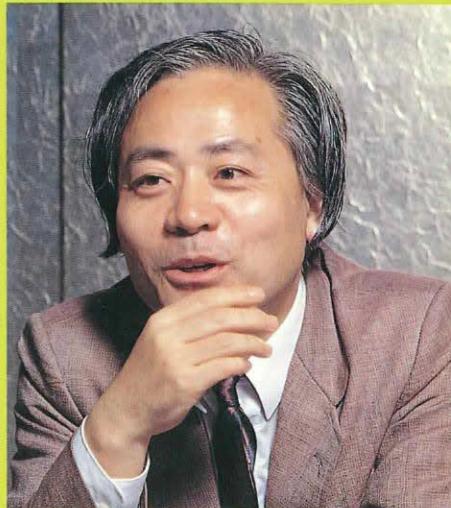
刈谷——自分のためにやって、あとは施主のための場合にのみ外注に出すとおっしゃいましたね。それを僕らの立場からしますと、もちろんそういう形がほとんどなんですけど、

できることならスタディの段階で、参加したことありますよ。そういう形で、僕らも、建築文化に貢献できないかっていうふうに思うんです。そのところでこう……、そうならない何か仕切りみたいなものが……。もっと僕らが溶け込んでいかなくてはいかんのか、それとも僕らが今やつてることが頭からもう毛嫌いされてるのか。

渡辺——いや、そういうんじゃないでしょうね。たぶんこういうことなんですね。模型でもね、外注はいっさいしないです。学校で、まあ出江さんは出江さんの事務所でやってらっしゃると思うけど、学生が卒業したばかりのやつにやり方教えてね。ところがやっぱりそれを直していくわけだ。ああせい、こうせいと。そうするとね、自分自身の設計したものの模型でしょ。しかも自分の事務所でやっているでしょ。その方がずっとムードがあるんですよ。だから精度はあらいんですけどねえ、同じことが僕は絵でもそうだと思う。絵もね、パースが必要ないとか、そういうことはいっさい言いませんけども、ただ施主のプレゼンテーションとして使うのは別でしかも、そうでない場合は、自分のイメージを定着する話ですから、だからどうしても、さつき言ったように極端な話例えば僕だと、陰惨になっちゃうとかね。

刈谷——コンペの場合、結局デザインがある程度決まった段階でパースを受注しますが、デザインが固まってから外注として参加するんじゃなくて、もっと前の段階から参加させていただいたら、もっと深く理解できるんじゃないかなと思うんですが。そういう形で、コンペだけではなく、他の仕事もですが。

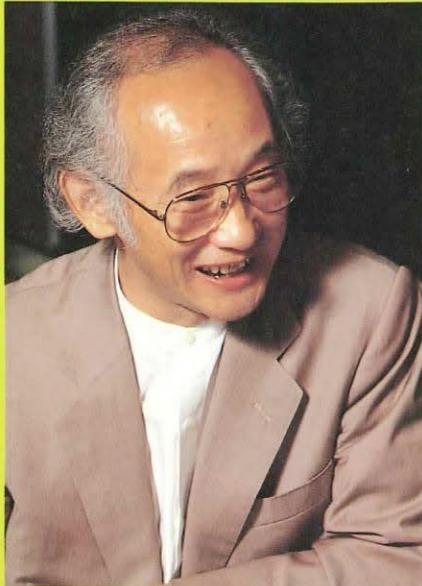
渡辺——ですから技法の問題だなって気がするんです。たとえば、ドローイングひとつするにしても、線をどういうふうに重ねていくかというようなことを僕なんかは学生によく言いますけれども。陰惨に表現したいとすると、陰惨に表現するという技法なんですね。そりや、明るくしたい時は出江さんがおっしゃったような、ぱーっと色彩をちりばめるとかね、そういう方法がありますけれども、そういう多様な技法をね、ひょとしたらおもちじゃないかもしれない、っていうこともあります。そういうものがいた。そのK君は、僕がしゃべっただけでね、平面渡しておいてエレベーションこんな感じ言うたらね、言葉が終わると同時に、これですか、言うてスケッチしてきた。だいたい僕のイメージが出てくる。でまた、会議の時に、こういうもんがやりたないと15分か20分しゃべって終わったとたんに、これですか、言うてスケッチが出てくる。もう間髪を入れずに。僕はね、これがプロやなと思ったね。頭の中だけのイメージだったやつが、しゃべっている間に建築のイメージができるやつだね。僕がしゃべったやつは、こんなやつかと。それはほんとうにもう助かるねえ。だからほんとうはああいうコンペティションは、たとえば刈谷君なら刈谷君と組



渡辺豊和 (わたなべ とよかず)

1938年秋田県生まれ
福井大学工学部建築学科卒業
RIA 建築綜合研究所、都市問題経営研究所を経て、渡辺豊和建築工房を創立主宰。現在に至る
京都芸術短期大学教授
著書に『地底建築論』(明現社)、『芸能としての建築』(品文社)、『天の建築・地の住居—空間のアレゴリー』(人文書院)などがある
主な建築作品としては、遺跡住居・杉山邸、西脇市立古窯陶芸館、龍神村民体育馆など

7



出江 寛 (いづみ かん)

1931年京都市生まれ
1957年立命館大学卒業
竹中工務店設計部を経て、
1976年出江寛建築設計事務所開設、現在に至る
大阪市立大学生活科学講師
万国博本部事務所設計競技入選、最高裁判所設計競技佳作、全労済建築設計競技入賞1位、第二回国際競技会競技入選などを受賞
主な作品に、心斎橋タワービル、丸亀の家、北摂の家、谷崎邸ゲストハウス、ホテルリバティなど

思想の表現としてのパース

んでイメージを固める段階からパースができるから……。だけどね、一等以外は設計競技というのはペイせんわけや。もう二等になつたらものすごい赤字んですよ。そのリスクを透視図の側に……レンダラーにおわすことはですね、気の毒やという気があるわけですわ。それはもしも、いや日本の建築文化に貢献するんだし、いい作品を作るならわれわれも無償ででも参加します、そのかわり当選したらくださいね、いうぐらゐの話のわかるレンダラーがいたらね、僕は喜んで参加してもらうんだけどね。(笑) そもそもいかんだろうということもあって、たどたどしいパースでやっていってるわけですか。

刈谷——僕らもね、そういう商業的なパースばっかり描いているでしょ。そうすると、たとえマイナスになっても赤字になつてもそういう仕事もやってみたいという気持ちになつてくるんです。そうでないと、自分の存在感というか、何してんのかなという感じがするんですね。

出江——すばらしいことやと思いますね。僕なんかもね、設計競技に参加してたとえ落選してもね、それを損とは考えないよ。それはええ勉強になつてるわけやから。当選したやつを見て、なるほどこう考えたらええのかと。応募しなかつたらそれを見ることもないし、興味ももたへんし。一回参加すると何かこう、問題が見えてくるというかね。透視図も同じことかもしれない。一緒に参加していって、その建築家の思想になりきつて絵を

描いていくわけでしょ。ところが、そういうコンペに参加していなかつたらね、今ストイックなやつをやりたいんだと、しかも晩秋の景色でなかつたらイカンのやという意識をどんどんもつて透視図を描いてもらうと、何気なくこうパッとできてから渡すのでは、精神の伝わり方が違うわね。精神不在の透視図になるわけで、その精神不在の透視図ではだめだと僕は思う。だから最初から参加してやろうという気持ちはたいへんうれしいことです。一緒にデザインポリシーを語り合いたいね。

小西——だからパース頼みたい時にパースだけが営業的にこられちゃうともうだめだ、と。そうじゃなくて、友達づきあいしてくれて、夜でもちょっと遊びにいくって形で一年つきあってくれれば、ということですね。

渡辺——うーん、そうだろうね。でもやっぱり出江さん、遠慮しちゃうもんなあ。やっぱり悪いって思っちゃうもんなあ。(笑)

出江——で、一等以外はあかんのやからねえ、もう二等以下は全然……。

刈谷——先程あかんかってもそれはマイナスにならないっておっしゃいましたね、それ僕らも同じです。マンネリのいままでのベースの仕事じゃなしに、コンペのベースは気持ちを取り組み方も全然変わります。それを一生懸命やって納品して終りますね。そうすると、次の仕事がすごく楽なんです。ベースは商業的に使われるものでけれど、たえず心することによって、いつか、それが高まっていき、芸術的価値のあるものにならないかと、そういう希望をもつてます。

出江——コマーシャルベースのベースから脱却する意味ではね、いい建築家とつきあうことやね。その人それぞれの個性にあった表現というのを研究して、君のつくる建築の表現はこうじゃないかというくらいに、レンダラーが逆に提案していく関係がいいと思うね。それはいまでもね、まあほんとうはそれじゃあかんので、建築家がベースに対して、こんなはやめてくれ、ここにもう青空は描くななど、今にも雨の降りそうな曇天でいいとか、嵐がくるような雰囲気でやってくれといふようなね。建築家の心が凝縮するとね、ええもんはこうやという、思想が出ないかんと思うね。だけど悲しいかな、日本の建築家でそういうことが言える人は10人もいない、おそらく4人くらいしか。だから、透視図を描く人も不幸やと思う。だけど、自分がこうだといふものは、要求されなくても同じものをもう一枚描いてね、逆にねこういう感じもあるというのをね。ようするに、建築のもつてている用途というものがあるでしょ。裁判所とか公民館とかパチンコ屋とか、用途に応じて違つてくる。この用途に対する絵の表現といふものはこうである、というものがないと、僕はだめやと思うね。コマーシャルベースのベースを見ていると、みな素人だましの、このだますという思想がだめや。建築家にあまりにもサービスしすぎるよ。下手くそな建築をね、あまりにもみなさん美しく描きすぎる。だからむしろ、できるだけ不細工に描いてね、おまえの建築は実際こんな悪いねんでと、もうちょっとがんばれといふくらいにね。それくらいの見識を建築に対してもつてもいいと思うね。

出江——たぶん出江さんが言ったように、絵画として成立するものと、ふつうの説明用のベースといふものとね。説明用の方はね、コンピュータの方がずっと可能性が高いといふことがあるから、新しい分野を開拓するといふことしないと、むずかしいんじゃない?

小西——透視図描いてるわれわれにそういうものが描けるかと言いますと、先生方のサジエスジョンみたいなものがあるとね。技法というわけじゃなく、メンタルな支えとして、非常にそういうものを期待しているわけですよ。



渡辺——まあそうね。たんに色がうまいとか、影のつけ方がうまいとか、イメージがおもしろいとかだけではなくて、ベースは、絵のもつてると宇宙原理というか、そういうものを体現する絵を描けないとね。

出江——精神の表現や。

渡辺——そう。

出江——李朝やったか明朝やつたか忘れたけれど、僕のところに軸があるんですよ。その軸にはね、王さんに対してささげものの絵を描いてるわけ。王さんがえらいわけですよ。だから向こうが大きくて、手前にくるほど小さいという逆遠近。ああいうのはやっぱり、尊敬するというひとつの表現になっているでしょ。

渡辺——権力の表現という形ですね。

出江——で、向こういくほど大きくなつてるのはおかしい、かと思ってその軸見てるとね、ちっともおかしいことないんやね。それなりになかなかちゃんと、透視図に見えてくるわけね。ああいうのもおもしろいやろね。

小西——透視図描いてるわれわれにそういう

ものが描けるかと言いますと、先生方のサジエスジョンみたいなものがあるとね。技法というわけじゃなく、メンタルな支えとして、非常にそういうものを期待しているでしょ。

渡辺——たぶん客観的表現は機械がするでしょうね。そうすると主観的表現をわれわれがどういうふうにするかという……。

渡辺——建築家ってまず時代の知識がないでしょう。建築家って、ルネッサンス? ああこういう建物かって、そういう認識しかないからね。それがどういう歴史的な構造をもつて成り立ってきたのかなんていふことは知らないわけだ、ほとんどの建築家が。だからベースやる方たちにも伝わらない。

出江——そうせんとね、今まで言われているようにね、失礼な言い方だけれども、ベース屋さんという職人になる。そうじゃなくてもうちょっと何か美学なり哲学なりがあって、そういうレベルで、絵のレベルというか、芸術のことはよく知らんけど……思想のあるベースを表現する必要があると。

デザインかアートかということを講演会でしょっちゅうやるんやけど、デザインといふのは商業デザインでしょ。デザインとアートの違いをはっきりさせろと言うわけや、建築やつてる時に、デザインは市場調査をしてそのニーズにうまいこと応えると売れる。アートはお金関係ない。ユトリロでも佐伯佑三でも売れずに死んでいった。自分の心を表現したために、彼らはあまりにも進みすぎて、そんなもん買うやつおらへん。藤田嗣治にしたつてそうや。アートってそういう厳しいものやと思うね。でね、ベースをアートにしたかったら、売れるとか売れへんとか、そんなこと離れてね、やっぱりみなさんさつき言ったように、新しい何かを拓いていくといふね。

小西——たぶん客観的表現は機械がするでしょうね。そうすると主観的表現をわれわれがどういうふうにするかという……。

渡辺——建築家ってまず時代の知識がないでしょう。建築家って、ルネッサンス? ああこういう建物かって、そういう認識しかないからね。それがどういう歴史的な構造をもつて成り立ってきたのかなんていふことは知らないわけだ、ほとんどの建築家が。だからベースやる方たちにも伝わらない。

小西——あの、絵として、頼む、という人がいるんですよ。それはけっしてベースでもないんですけどね。前のポートピアの時にエキゾチック・タウンというのがありましたね。



21世紀へむけての パースの新しい道

刈谷——やり始めて何年かは、技術を覚えることで、マンネリなどということを考えなくともやっていますけど、それが何年もたつていろいろな仕事をやっていくうちに多かれ少なかれレンダラーとしてそれぞれ危機感なり問題意識なりもっていると思うんです。

渡辺——それでね、もうひとつ、コンピュータ・グラフィックね。ある建築家なんか、それ使ってすごいことやってるわけよ、むちゃくちゃ金かけてね。精度の高いのを外注してるのはだな。で、それに対して、手で描く人がどういう差異、ディファレンスを出していくってことが、たぶん問題であると思うんです。だけど僕は、すごく頑固だからさ、俺は絶対使わないって言ってんの。手の方が好きなんだよ。手を通すとね、絶対違うわけよ。21世紀になれば、あの技術はもっと高度化しているわね、確実に。その時に手で描くって決心している人間は、どういうふうにしてサイコロを出していくかという……これはもう、パースだけじゃなくて建築家としても問題になるわけよ。

エキゾチック・タウンというコンテキストがあって、それを視覚的にどういうものにできるかという……その通りできなくていいんですけどね、こういうふうなイメージがほしいという絵を描いてもらいたいと。で、そういう絵を描くと、けっこう受けたりして……。ああいうのって描くのはやいですね。一晩で描いちゃう。ふつうは、約束事があって、それを理解するという……こう、いろいろと回路を通してわけですね。建築家の回路を。それはまた違ったもので、あなたのイメージで、ということでやるってことも、たまにはあるんですよ。それを持って行って、設計やってる人が図面をおこして、というような。そうしますとね、かなり本を読んだりとかそういうことも必要になってくるんですけど、そんなふうな、イメージのとらえ方みたいな発注の仕方も今後増えてくるとは思うんですけどね。

⑩

出江——建築にもようするに、建築家と建築屋と建築士と三つあるわけやね。それで、建築屋さんとか建築士とかいう人は、エンジニアやからね。そやから、絵心の部分、情感の部分というその部分はね、みなさんにものすごく期待しあるところやと思うんや。それで、自分の下手な建築をね、レンダラーのみなさんに頼って美しく見せたいというところはものすごくあるね。そういう建築の方が圧倒的に多いと思う。パースはね、基本的にはいい建築をつくるための元だと思うね。だからやっぱり、それも三つに分かれる。パース家とパース屋とパース士やね。パース屋でもパース士でもなく、パース家にならんといかん。それは建築家に対してもね、あなたが言った通りのパース描いたけれどね、こんな仕上げえことないんやうかと、忠実に描いたらこんな不細工なものやと、こんなもん作って建築家として恥ずかしくないのか、というぐらいに言うたらいいと僕は思うね。そこでいったら逆にね、建築家からも信頼されるようになってくると思うね。

渡辺——だからね、最後に言おうと思ったことがね。僕の設計って相当ごつくて複雑なやつです。もう複雑で、どうなってるのか……、そういうのをね、目つむってじっとしてたら、できるんですよ。全部頭の中で。本来、僕そういうものだと思う。それができないのは、出江さんに言わせると建築家っていうのかな？（笑）ふつうならできるもんですよね。ただね、優秀な建築家なんですけども、口で

僕思うね。

小西——まあ、だけど、平面的な話はそうですけれども、立体的なね、上下方向ということも、かなりそのへんはみんなついていると思うんですよ。昔、大阪城の梅園を描いた時に、描いていると本当に鼻に匂ってくるんですよ、もう夜中の3時ぐらいですが、そういう構造がやっぱり人間のなかにあるのかな、と。

渡辺——都市計画みたいなことあるでしょう。巨大環境のパースなんて描いてなかつた？

小西——ええ描いてますね。

渡辺——これはあなたたちの仕事としてやつてるわけ？

刈谷——やってますね。たとえば臨空タウンとか……。

小西——都市計画の人ってだいたい建築にうといですから、建築をどういうふうにしていいかっていう……形をまとめるのに非常に時間がかかりますからね。そういう都市計画の範囲では、やりたいほうだい、フリースタイルですよ。

渡辺——じゃ仕事としたらこっちの方がおもしろいわけだ。僕もね、昔はそういう仕事あったの。でも、最近は全然こないね。なんですか。すぐ文句いうからねえ。で、僕の場合、都市計画といつても、技術やってるわけじゃないから、イメージですかね。だから、道？道はこっちの方にこう曲がっていくとか、そこまでやっちゃんわけよ。そうするとほんとうは困っちゃうわけだな、頼む方は。そこまで描いてもらわんでもいいっていうわけよ。まさか、そのあれがパースの方に移ってるとは夢にも思わなかった。

刈谷——そのへんは小器用にやってしまいますからね。

小西——最近は、プローカーのようなね、コーディネーターがすごく増えたと思うんです。それで、プロジェクトだけの話って多いんですね。この前も、結局実施にならなかつたんですけど、あるプロジェクトに参入しようとして、パースを80枚描いたんですよ、10日間で。「なんでそんなにいるの？」って聞いたら、老人向けのリゾート型の療養施設だから、サウナだのなんののと、項目で80あるっていうんです。それ全部描かない企画書ができないって。企画書のためだけのパースで、企画が通ったあとにしか、建築の仕事がないわけですね。

渡辺——言葉が絵におきかえられてる場合が多いですね、埋め尽くすために。

出江——「百聞は一見に如かず」で、絵の方がね、読まんでもね。

小西——で、そこでパース描きとしては、昔問題になりましたよね、チラシに描いたのと違うじゃないかという……。あれ以来パース描きでけっこう臆病になってるところがあるんですよね。なんで建ちもしないものを描いて、という気持ちも若干あるんですね。やっぱり僕らにしてみると、ちゃんとした建築家が入った仕事だったら、仕事はしやすいんで……。

渡辺——そういうビジネスのフィールドでは建築家がすごく弱くなっているんだよね、たぶん、そう思う。それこそ、出江さん流に言うと、屋さんと（笑）士さんか……。（笑）

出江——だいたい今、もう屋と士がほとんど家はないという……。

刈谷——今さっきから出てた話とちょっと関連するんですけども。今僕らの協会で、著作権の問題を何回かに分けて勉強しているんです。著作権を確立したいという要望が出てき



刈谷拓爾 (かりや たくじ)
1941年高知県生まれ
京都市立伏見工業高等学校卒業
1959年株式会社日建設計に入社
1965年デザインコーナータナ、
1965年株式会社レンダリングリヤ設立
現在に至る
JARA 会員

ているんですけど。そのへんはどうお考えですか？

出江——著作権を認めさせないかというのね、やっぱりいくらレンダラーが言うてみても、世の中が認めるか認めないかというのが先になってくると思うのね。で、著作権というのは、その人のひとつの作風とか個性とかがあってね、それで著作権ということになるのであって、誰でも描いているようなものはね……。僕ら建築家でも著作権というのがあったらすぐに真似されて文句も言われん、というふうになってしもてるわね。そういうの、ほんとはいかんのやけども、そやけど、少なくとも僕や渡辺さんみたいな個性のあるものは著作権あるべきやと思う。そやけどそこらにいっぱいあるようなものにまで、著作権あったって、法律的にあったって、世の中認めないわね。それと同じで、ふつうの透視図ではなかなか著作権というのは認められないね。

渡辺——同感だと思うね。だからやっぱり個性なんでしょうね。強烈な個性があるとね、真似しようと思ったって真似できないものなんですよ。どれだけ個性をもつかということに、単純に言うとそこしかないね。

刈谷——それはさっき言っておられた、思想がないとあかんという……。

出江——そやね、だから思想がなかったらあかんわけよ、建築家もパースも。それがすべてやね。結局は話がここにもどってきたね。これが結論とちがいますか。（笑）

⑪

JARA設立10周年を祝賀する

韓国透視図作家協会会長／㈱安建社代表理事

安容植

現代建築文化の変化及び多角的形態への発展は、人間定住環境の概念をいっそう分化して専門化させ、その建築文化を適切に受容し表現する建築美術(透視図)の分野まで新しき視覚の認識を要求するに至った。

例え、過去には、建築家(あるいは Designer)の意図を充分に反映し実際の建築物の形態と Volume 等、設計図どおりの意図だけを表現すれば十分だった。しかし現在は、構成された建築物特有の個性と建築家自身の Identity、一步進んで透視図作家固有の感覚を大勢の人達の認識と共感帶に表出させることにより、秀れた Renderer としての資格を備えたと言える。

このように新しき思潮の流れに歩調を合せ、大韓民国にも1989年の夏頃から国内透視図作家達の集合により協会構成を準備するに至り、1989年12月16日、韓国透視図作家協会が創立。韓国の透視図文化を継る中軸的核心作家達で構成された多くの会員の大同団結は、韓国建築美術分野発展に明るい曙光を及ぼした正しい伝統確立及び育成しなければならぬ我々の精神をいっそう固くし、大韓民国作家自からの整頓された姿を確立し、内的には透視図文化の資質向上、透視図作家の権益擁護等を図った。また、次元高き作家精神の涵養を目的として設立された韓国透視図作家協会は、対社会的イメージ提高にも一翼を担当、透視図事業と関連ある各種分野に於いて水準高き発展のために努力を傾注する。

⑫

企画、広報、教育、財政、総務、監事、各全国地域支会の運営委員会と団長、顧問、等で構成された韓国透視図作家協会は、90年度国内事業として全国の全会員が参与する第一回透視図作家協会展を1990年7月23日～28日までの6日間、ソウル Dong bang Plaza 美術館にて開催、作品集を発刊、会員間の親善及び透視図の質的発展を図る計画であり、後輩養成のための公募展開催等、国内事業を活発に進行する予定である。

今般、JARA(日本透視図作家協会)10周年記念事業の展示会及び作品集発刊を機会にして国際的な交流並びに成長の基礎になる心がまえを固くし、再三設立10周年を祝賀する。

❖韓国見聞録・1990年春❖

年が明けた2月の初旬、急に韓国を訪問することになった。私にとってはあまりに急だったので、何の予備知識もなく機上の人となる。一言ぐらい韓国語を覚えなくてはと、豆辞典を取り組んではみたものの、何も覚える間もなく、もうソウルに着いてしまった。空港で安容植氏、数名のレンダラーの出迎えを受け、すぐ車に乗せられる。

さあ、Seoul sight seeing の始まり！ ソウルを訪れた目的はレンダラーの国際親睦と JARA10周年・国際展の部に参加していただきたい旨を伝えるためである。われわれが訪れた次の夜、昨年12月に設立した KOPR(Korea Perspective Renderers Association)の方々が交歓会の席を作て下さった。

たくさんの韓国料理のついたテーブルを挟み、KOPR と JARA の面々グッと対峙するのもつかの間、アッと言う間に打ち解けてテンヤワニヤの大騒ぎ……？ 不思議でしたね。安容植氏以外の方々は初対面なのに、まるでずっと以前からの友人のように打ち解け会話に花が咲き（？）、それはもう楽しい集いでした。

今まで、香港・中国・台湾などは旅しても、韓国へ行ったことはなかった。知人もいないせいか、興味もわからなかった。欧米文化を学ぶことにのみ慣れさせていたせいか、東アジアのことについては、簡単な歴史をサラッと学んだくらいの知識しかない。たまに文化人類学を通じて、特定の民族についてのみ知ることはあったが……。

今宵の出来事は私の心に革命をもたらしたい。今ここに集うている方々はもとはみな同じ人種なのだ、と。私たち皆モンゴロイドでしょう。

酔い潰れる前に、昼間見たことを少し……。安氏の案内で、オリンピック公園、種橋氏にとっては見逃すことのできない焼き物工場、ロッテワールド民族館、建築家のオフィス見学。

そして安氏の自宅へお邪魔して、お茶を御馳走になりながら現在のお国事情をきく。平和な日本国民にとっては、この現状はなかなか理解しがたい。ガイド役の若い女性まで、国防予算の正確な数字から軍隊の人数までキッチリ知っている。私は日本の自衛隊が何人いるのか知らないが交歓会の席を作て下さった。

夕方街を案内され店をのぞいて見ると、コビ

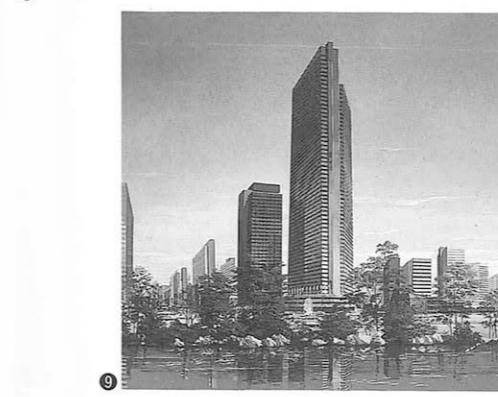
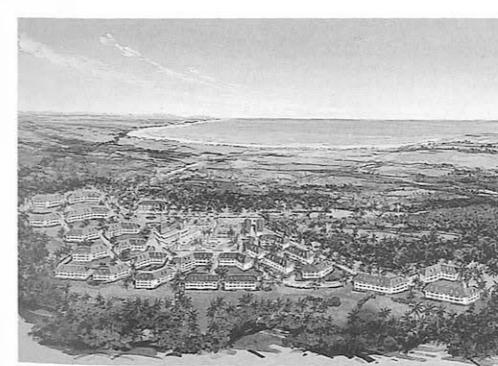
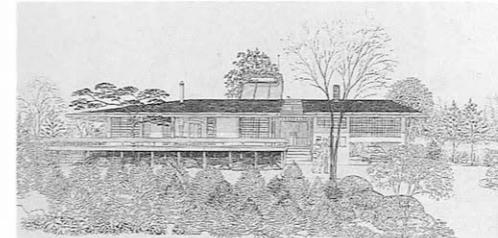
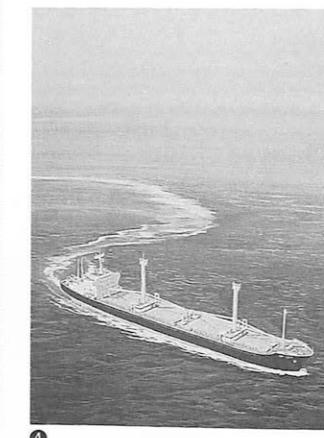
ー商品があふれているのには驚いた。お世辞にもあまり良い品とは言えないシロモノばかり……。失礼！

あれやこれやと、初めて訪れた国のことについてお尋ねしているうちに、夜もふけお別れする時がきた。

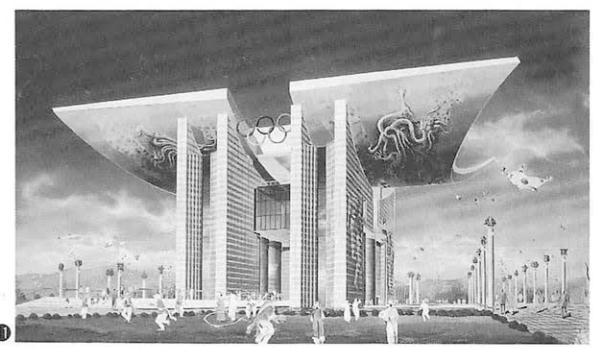
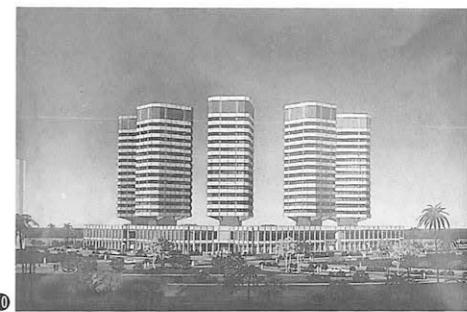
次は東京でお会いしましょう。必ず！

そして約半年、日本と韓国のは大きく進展した。この時流に何のためらいもなく賛同できたのは、彼ら KOPR の人達の心に触れた賜物に他ならない。KOPR の皆様の発展をお祈り申しあげます。

(JARA 理事 平原明子)



安容植氏の玄関前で



- ①韓国透視図作家協会会長・安容植氏
- ②韓国透視図作家協会創立総会
- ③独立記念館鳥瞰図(安容植)
- ④多目的貨物船(金元龍)
- ⑤三下里A氏宅(安容植)
- ⑥(姜乘善)
- ⑦西橋ホテル室内透視図(安恒恵)
- ⑧(安恒恵)
- ⑨K・商業ビルディング(李善護)
- ⑩LIBYAアパートメントハウス(郭敬雅)
- ⑪世界平和の門(李正求)

(国際交流 | ASAP(米国))

JARA10周年記念によせて

ASAP会長

フランク・コスタンティーノ

JARA創設10周年記念式典にあたり、アメリカ・パースペクティヴィクティスト協会(ASAP)の役員、理事及び会員より、エネルギー・ギッシュで勤勉で、才能あふれる仲間に心からのお祝いを申し上げます。

皆さんの努力で今後とも引き続き発展されることを深く望んでおります。

ASAPとJARAは過去数年間にわたる交流から多くの利益を得ています。特にASAPはその先輩であるJARAよりたくさん学んでおり、わたしたちはこの友好関係を続けていきたいと思っています。たんにレンダラーを代表する職業組織としてだけでなく、一社会人、アーティスト、そして何よりも一人の人間として。この個人単位の交流がわれわれの仕事、文化、そしてお互いのよき理解への助けとなることでしょう。

この交流を基盤としてASAPはJARAとともに発展し続けます。JARAの未永い活動を祈ります。そしてこの10周年の喜びをともに分かちあいたいと思います。

1990年4月1日 ASAPを代表して



【プロフィール】

フランク・コスタンティーノは独学のレンダラーで建築ベースを専門としており、水彩画や鉛筆画において秀逸である。建築ベース会社の代表としておよそ20年の実績があり、アメリカのおもだつたディベロッパー、建築家、施工会社や他の民間、官公庁に顧客を持っている。多くの彼の授賞作品はアメリカ国内にとどまらず、諸外国の多数の展示会に出演され、そのカタログや建築ジャーナルにとりあげられている。また、ハーバード大学大学院デザイン科、ボストン建築センター、ロードアイランドデザイン学校で教鞭を取ったり、他の学校で客員教授をしていたりした。アメリカ建築透視図画家協会(ASAP)の創設者の一人として、アメリカ、カナダ、イギリス、日本、中国、そして諸外国との交流の確立に貢献してきた。今回ASAP会長となり、さらにこれららの国々の組織との国際交流をはかっている。またボストンのマサチューセッツで開催されるASAP1990年度国内展をとりまとめている。

① 90 Tremont Street (© Frank M. Costantino)

② © Frank M. Costantino

③ Proposal: Madison Square Garden Redevelopment (© Thomas W. Schaller)

④ Valhalla of the Americas (© Thomas W. Schaller)

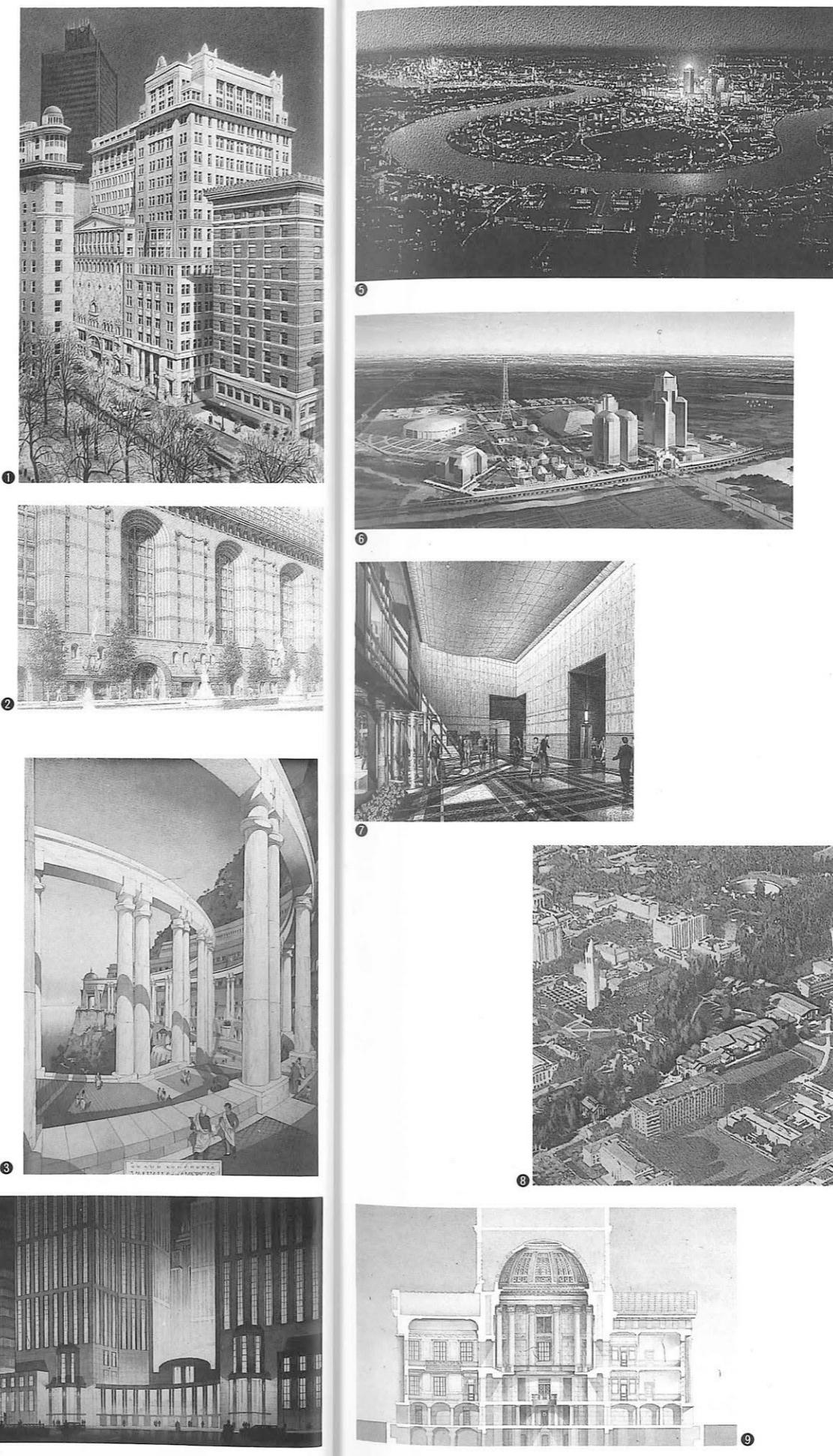
⑤ © Steve Oles

⑥ © Robert Cook

⑦ © Slutsky & Assoc.'89

⑧ Morrison Hall Expansion (© Christopher Grubbs)

⑨ U.S. Custom House (© Robert Commazzi)

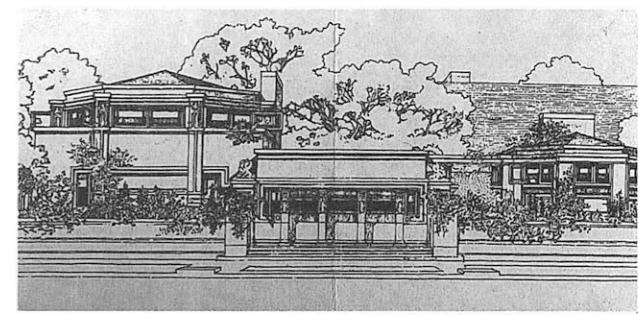


シカゴ・オークパークのライトを訪ねて

JARA シカゴツアー余聞 (1989年10月4日~12日)

光藤俊夫

フランク・ロイド・ライト (Frank Lloyd Wright 1867~1957) は装飾ということについて、どんな考えをもっていたのだろう。有機的建築の推進者としての彼の作品の数々に見られる、ほとんど過剰な装飾が、近代主義の尖兵とも言えるアドルフ・ロース (Adolf Loos 1870~1933) の「装飾と罪悪」(1908) と並行しながらの仕業であったことに、かつていろいろな疑問が投げかけられたように思うが、ロースの主張をいったい彼はどう受け止めていたのか、その辺のところが知りたい。何を今更——なのだが、この秋改めてシカゴのオークパークを訪れ、彼のかつての自邸をつぶさに鑑賞しているうちに、これまた改めて感じたことだ。そしてこの家が、意外や暗い印象のもとにあったことにも驚かされた。もちろん私の偏見に違いないのだが、こうした過剰な装飾や、例えば鎖で吊られたバルコニー、階段室の吹抜けにその鼻先を隠してしまっているグランピアノなどに見る仕掛け、恐らくは『自叙伝』で述べているよう



オークパークにおけるライト旧自邸(パンフレットより)

に「幼児期の体験によって得られた」ことに違いない「フリードリッヒ・フレーベルの玩具——積み木、棒切れ、くねくねした」そんなものにおける「組織的順序」、そして「形態や構造の秩序や統一感覚」(以上「」内はD. ゲバード/D. ネヴィンズ著、谷川正己/増山博文訳『図面で見るアメリカの建築家』鹿島出版会、1980)からの発露には相違ないだろうか。それでいてどうしてこうも暗いのか、まさか訪れたそのときが、インディアンサマーであったにもかかわらず、雨模様だったせいだとは思えない。

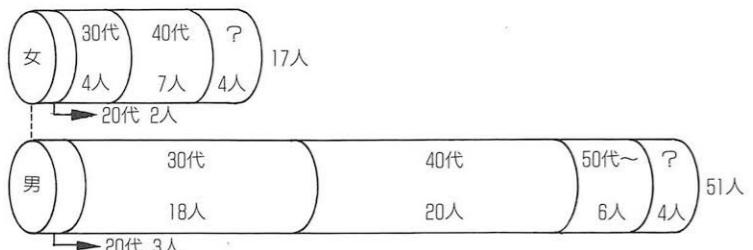
それはともかく、ここで見るかぎりでは、ライトは通常装飾と言えるものを装飾としていなかった節がある。それがなくては人の生きる空間ではないと断じていて、そんなことからはロースの見解など何のことか解せなかった。あるいは問題にもしていかなかったと言えよう。その意味では彼が手がけた装飾を、通常の装飾と考えるのは間違いであり、いわんや過剰と判断しては、多分ならないのだ。もっとも、それでは通常の装飾とは何かということになるのだが、通常は通常であって特別難しい意味合いがあるわけもない。何かに付加することで、多少ともアメニティを得ることのできる、ささやかなエレメントだ。「装飾の復権」が唱え出されてから久しい。そしてライトがどう考えていたか、その「装飾」がいま、手探りながら見直されつつある様子だ。そこでこの際、「通常の装飾」のほうも素直に見直してみてはどうだろうかと思う。

(「建築文化」1989年12月号より転載)

アンケート'90

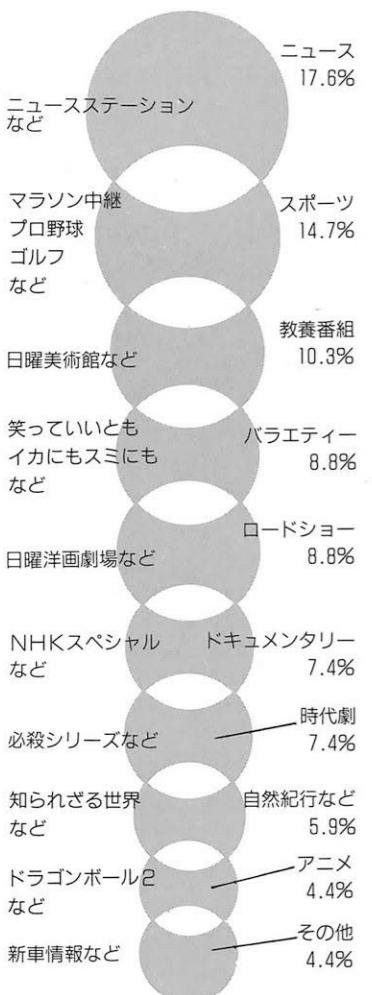
今どきのレンダラー

◆性・世代別構成人数



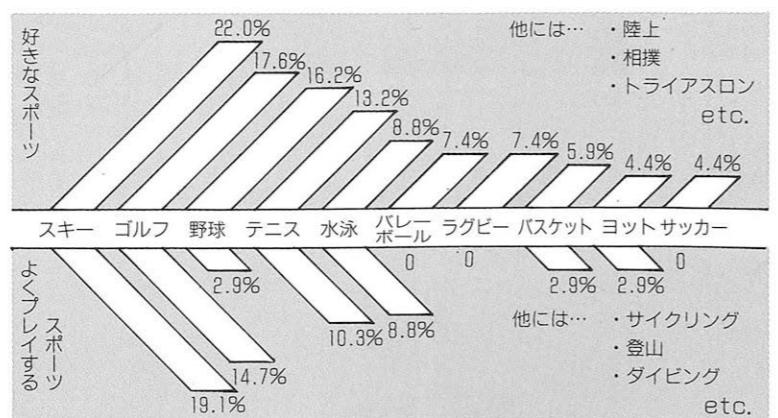
※これは、JARA会員の皆さんにご協力ををお願いしたアンケートの回答をもとにまとめたものです。

◆どんなTV番組をよく見ますか?

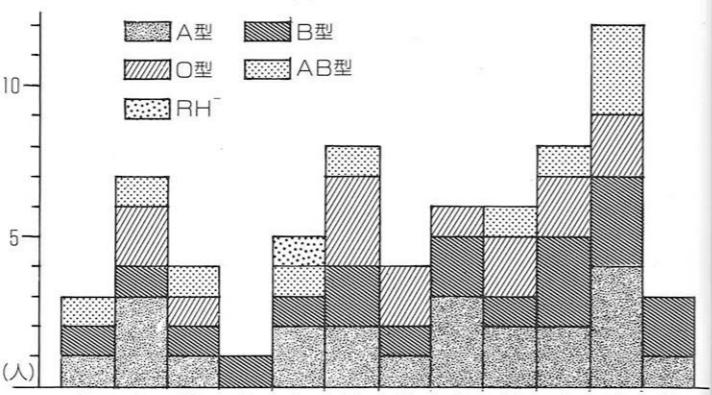


◆好きなスポーツ、よくプレイするスポーツは?

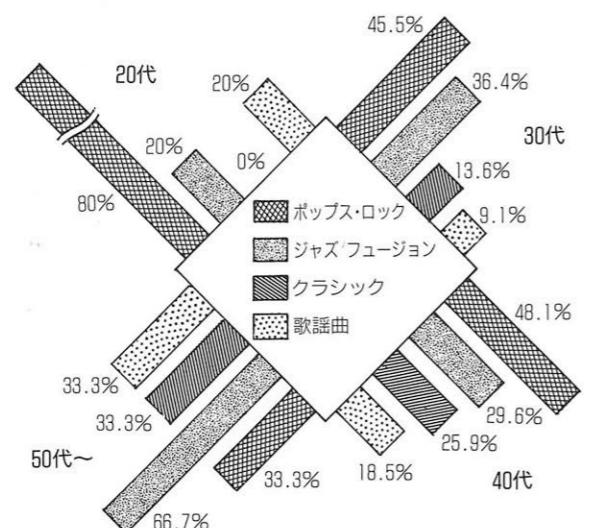
(複数回答)



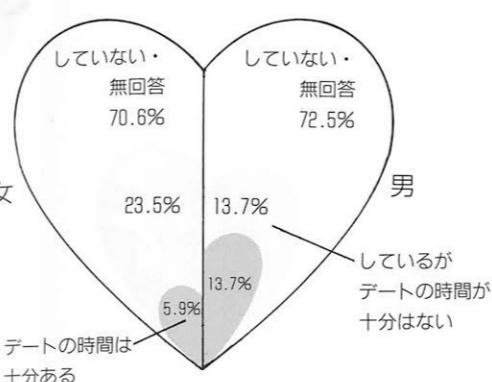
◆星座と血液型



◆好きな音楽のジャンルは? (複数回答)

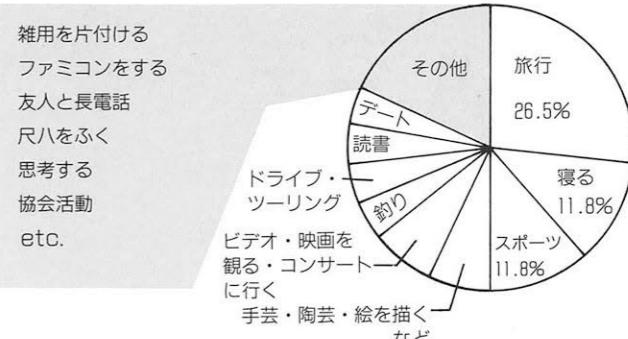


◆いま恋をしてますか?



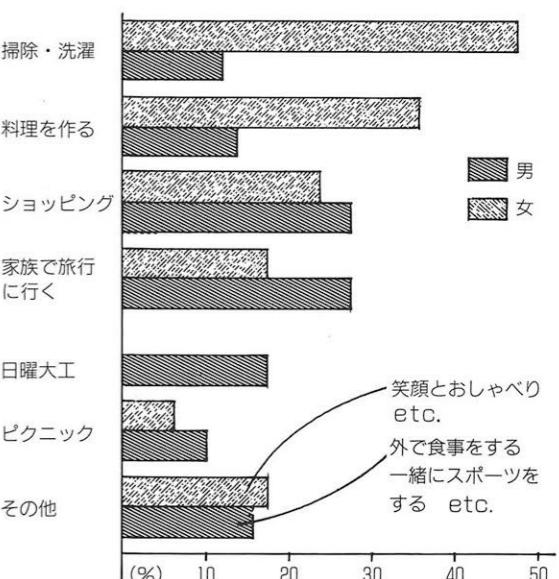
◆もしヒマな時間ができたら何をしたいですか?

雑用を片付ける
ファミコンをする
友人と長電話
尺八をふく
思考する
協会活動
etc.



プライベート

◆家庭サービスには何をしていますか?(複数回答)



17

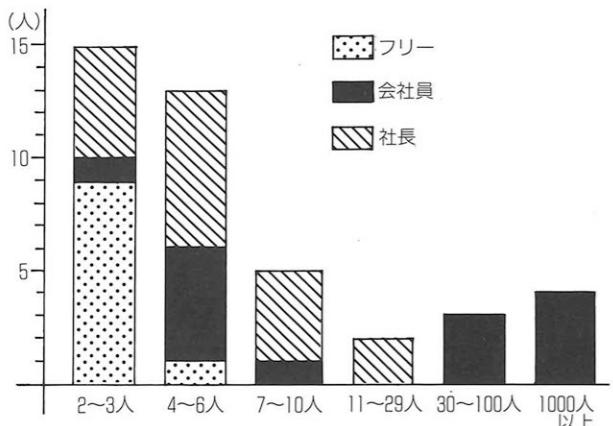
◆自由にマイホームを建てられるとしたら、どこに建てますか?

日本 北海道／瀬戸内 港区／宮城 etc.	オーストラリア・ ニュージーランド バース市	アメリカ ニューヨーク郊外	カナダ ハワイ	その他の国 スペイン／スリランカ	その他 田舎／四季のある所 住めば都／ etc.	南洋 都心	海・山・湖の 近く
12人	10人	4人	4人	3人	9人	3人	3人
							8人

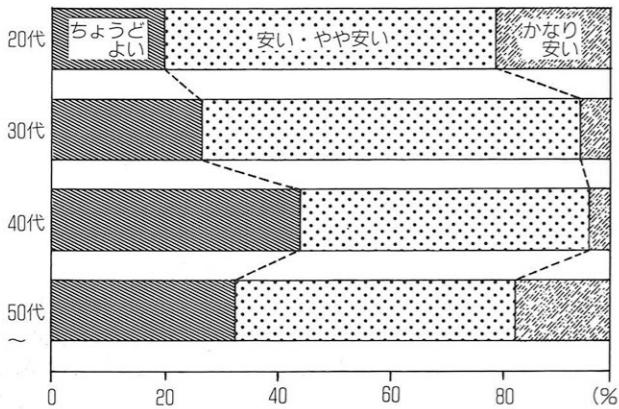
◆常日頃、あなたのこだわっている事は?

社会的には	トップに立ちたい／国際的に役に立ちたい／仕事を通じて枠を広げる／自由であること／一匹狼を全うする／良い人と思われたい／忙しそうで意識していない…… 民主主義を支援／政権交替／ゴルバチョフの進退／男女不平等・差別への憎悪…
経済的には	豊かになりたい／出ていくばかりで楽にならない／ぜいたくに慣れすぎない／好きなことにはどんどん使う、ムダと思うものはケチる／結婚しても自立する… 日本の経済力は衰えていくべき／持金主義に嫌悪／好景気がずっと続いている…
文化的には	知的でありたい／常に最先端のものに接する／参加する方に力を入れる／生活＝文化、日常生活を充実させる／水準高くなりたい／文化人とよばれたい／後世に誇れるようなものを残したい／日本の伝統を見直す／日本は文化にこそ金を使うべき…
環境問題	このままでは地球はおしまい／経済優先の社会がよくな／快適な暮らしを生む害をもっと考えるべき／バースを描くことは環境破壊に一役かっていないか？／ゴルフ場の仕事は気が重い／フロンガスを使っていない／無農薬食品を利用している…
著作権	がんばって勝ちとろう／現実としては難しい、長期的に考えるべき／主張できるだけの仕事をまずるべきだ／規制よりもモラルを望みたい／協会でマニュアルを作ってほしい／バースに関しては必要だと思わない／あまり気にしていない…

◆会社・事務所の規模と身分



◆仕事に対する報酬を自己評価すると?



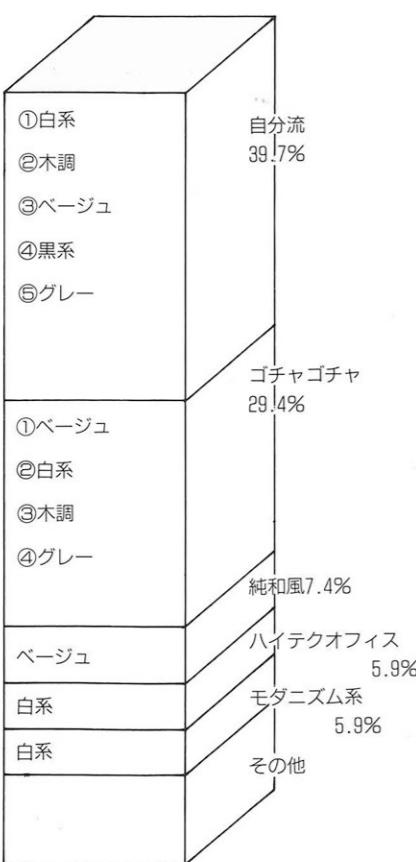
18

◆建築に関する資格を持っていますか?(複数回答)

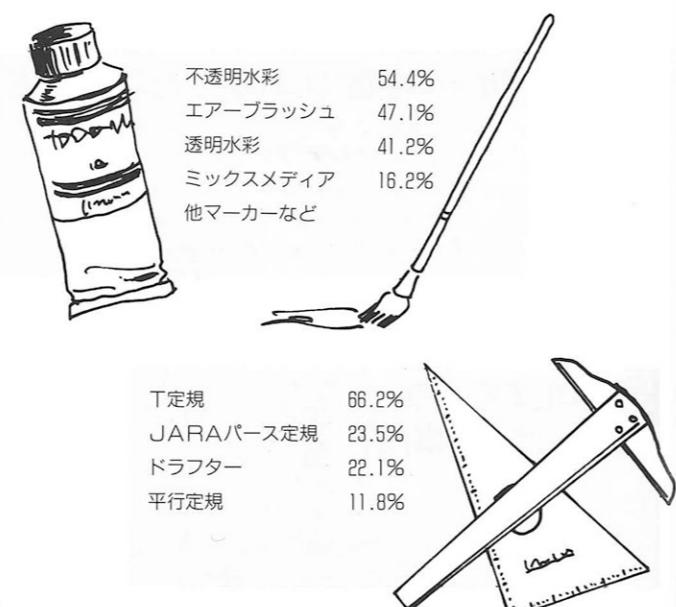
二級建築士	13人	宅地建物取引責任者	3人
一級建築士	12人	その他	4人
二級技能士(透視図)	4人	一般施工管理技師	
インテリアプランナー	4人	商業施設士	
一級技能士(透視図)	3人	建築設備士	など

二級建築士	13人	宅地建物取引責任者	3人
一級建築士	12人	その他	4人
二級技能士(透視図)	4人	一般施工管理技師	
インテリアプランナー	4人	商業施設士	
一級技能士(透視図)	3人	建築設備士	など

◆仕事場のインテリア、カラーコーディネイトは?



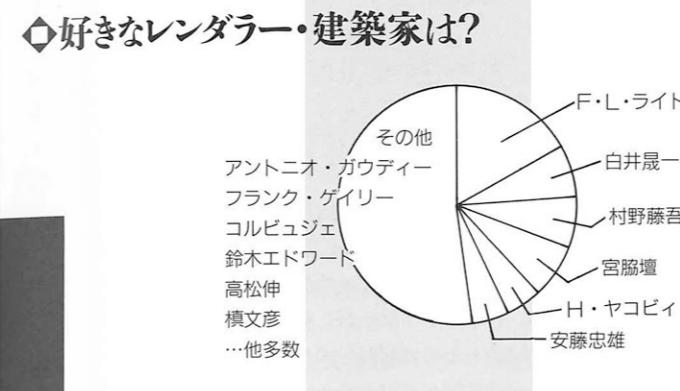
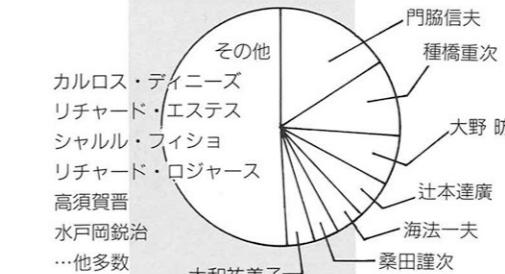
◆どんなものを使って描いていますか?(複数回答)



◆コンピューターは使っていますか?

下描き	7.4%
アングル検討	8.8%
下描きとアングル検討	19.1%
その他	7.4%
使っていない	58.8%

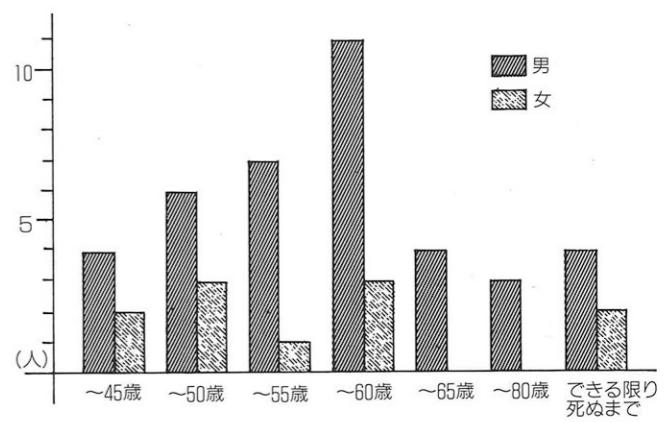
◆好きなレンダラー・建築家は?



◆好きな建築物

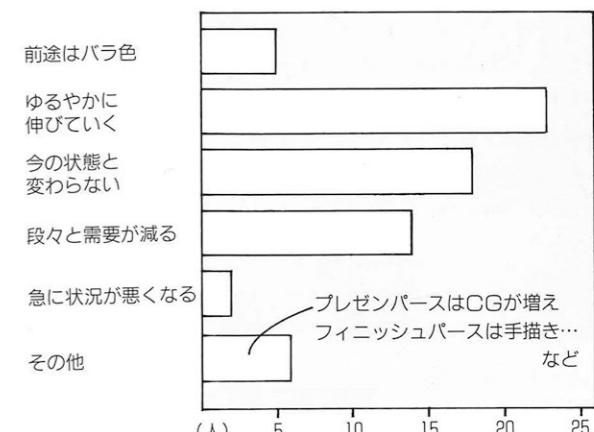
国 内	国 外
桂離宮	シドニーオペラハウス
箱根プリンスホテル	サグダラファミリア
帝国ホテル	サンピエトロ寺院
唐招提寺金堂	カーンの作品
姫路城	ロジャースの作品
大阪中央公会堂	アルハンブラ宮殿
ヤマトイントナショナル	ノートルダム寺院
歌舞伎座	パルテノン神殿
庭園美術館	
堂本印象美術館	

◆何歳までパースの仕事を続けますか?



19

◆パースの将来は……どうなる?

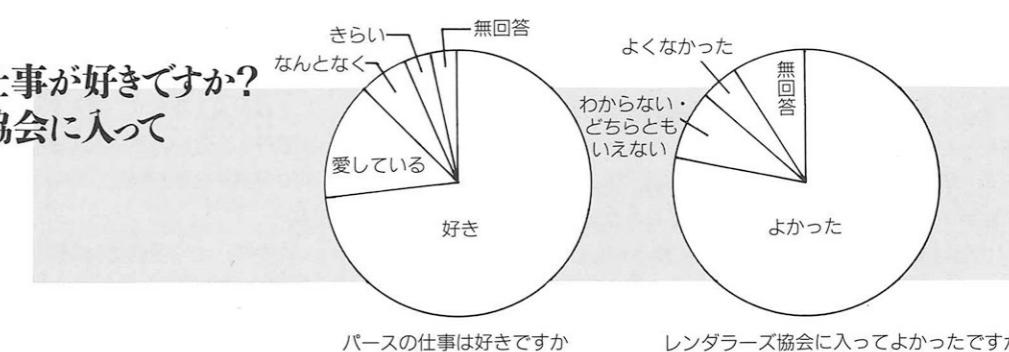


◆どんなパースが最も良いと思いますか?

自然なタッチでいやみのないもの／商業臭がないもの／臨場感のあるもの／説得力のあるもの／空気(雰囲気)を感じられるもの／リアリティーを追求したもの／心の入った、テクニックに流されていないもの／個性、ポリシーの息づいているもの／絵画的レベルの高いもの／ごまかしのないもの／設計者の意向をよく理解し表現されたもの／クライアントが喜ぶようなもの／図面に忠実なもの／環境との調和の表現に腐心しているもの …etc.

◆最後に……

あなたはパースの仕事が好きですか?
また、レンダラーズ協会に入ってよかったです?



伦

うまや 厩橋城天守閣復元バース

生松秀樹

……城を描いてみたい——それは単純な思いつきであったようだ。

いつだったか、悪友との茶話で、子供の頃県庁のまわりにあった水堀でザリガニ釣りなどをして遊んだことをなつかしく語り合ったことがある。その夢のような少年時代の思い出が、今回の作品への入り口だったのだろう。

大それた志があったわけでもない。しかし、それが他の城郭であっては意味がないように思えたのは、わずかに現存する当時の土壇上に繁り立つ数本の老松（ちなみに、私の姓は生松という）の風情のせいかもしれない。

この一年半ほどは、個人レベルでの資料集めと研究を楽しんだ。視界ゼロからのたった一人での挑戦には、現実の仕事では得られないような胸踊る充実感があった。愚妻は若干冷ややかであり、子供は「ふーん」のみ……。得意先へは、あの手この手の言い訳ざんまい。図書館通いに書店のはしご。

しかし、楽しいとはいっても、所詮個人レベルでの調査には限界があり、思うようにはかどらない。そんなある日、友人でもあり先輩でもある須賀晴雄氏に酒席でばやくと、須賀氏曰く「生松さん、それはすばらしいことだよ。ぜひ完成させてほしいね。資料は私がなんとか当たってみるよ」私曰く「そうですか、お願いします。でも目次がつくまではご内密に」。彼は市のお役人なのであった。

これを機に、事態は急進する。元橋市立図書館長、佐藤虎雄氏（永年、城郭や、とくに石垣の研究をされている）と出会い、指導を受ける。さらに、これはまったくの偶然なのであるが、期を同じくして、市教育委員会・文化財保護課では、厩橋城のパンフレットを制作中であった。須賀氏の計らいで、佐藤先生、そして文化財保護課の協力も得られることとなったのである。

こうなってくると、めざす方向が変わってきた。仕上がった作品を自分の部屋に飾って眺めているわけにはいかない……。ちょうど

数か月前に、群馬美術家連盟主催の連盟展があり、そこに出展することにした（当初、連盟展用には別の作品を用意していたのだが）。急がねばならない。なんと言っても、基になる図面がないのである。

古文書、絵図、専門書からの知識・情報収集が急がれた。天守閣が三層であったことは、江戸時代の絵図や当時の五代藩主、酒井忠挙が藩士に造らせた「前橋風土記」などから確認できたのであるが、最も重要な建坪がまったく解明できない……。佐藤先生との意見交換にも熱が入った。全国に散在する同時期に築造されたと思われる層塔風三層櫓を、天守閣・隅櫓にこだわらずできるかぎりのチェックを重ね、一階平面の大きさ約5間×5間もしくは5間×6間の結論に達した（当時の1間は6尺5寸である）。高さは、他の城の現存築造図や当時の様式などより判断、適減率を考慮し、やっとバースにできる最低限の平面・立面図ができあがった。連盟展の1週間前のことである。仕事もそうないがしろにはできない、そんな状態のなか、作品が完成したのは展覧会搬入日の昼頃であった。

5月13日、読売新聞の取材を終え、私と須賀氏はお互いの労をねぎらうというわけでもないのだが、展覧会のことも忘れ、新潟の銀山湖へ大岩魚を求めて釣りに出かけたのである……。

わずか300年くらいの間に、築かれ栄枯盛衰していった城郭建築は、世界に類を見ない建築様式なのである。



東京駅復元バース

桑田謹次

太平洋戦争で内部を全焼した東京駅は、終戦直後に応急修理されて今まで使われてきた。しかし、3階部分の撤去と屋根の簡素化で原形とはまるで違った姿となっている。

私は、大手町と丸の内に20年来のクライアントがあり、この駅舎を利用することも度々であるが、かつて建築的に何の魅力を感じたことは無かった。

ところが、昭和58年だからもう7年前の話、御茶ノ水の交通博物館で2階ホールの高い壁に所在無げに懸けられた東京駅の着彩立面図（1/100エレベーションバース）と私は出会った。

4m×0.75mのやたらと長い額、1910年と設計事務所のサイン、

古色蒼然たる画面、然し大変威厳に満ちた堂々たる建て物。何といってもファサードのバランスが良い。西欧の様式建築でありながら、共感を呼ぶこの親しみは設計者辰野金吾がもつ日本人独特の美意識を感じさせる。ヨーロッパ人が建てたクラシック建築の姿の良さとは一線を画しているように思う。

すっかり魅せられてしまった私は、博物館で参考となりそうな写真と簡単な平面図を借りてきた。素晴らしいバースを描いて、故辰野氏に敬意を表したいと思い立ったのだ。

それから1年余り、おりを見ては資料探しに努めたのだが、これが意外と少ない。平成元年までの出版物8種8冊の内容を見ても、同じ写真や図版が繰り返し掲載されており、タネの乏しさがうかがえる。

次の年、全くの偶然から国鉄OBのO氏から不揃いだが平面図、立面図、矩計図のコピーをお借りすることができた。バース制作の



作業は先ずこれらの資料から1/600の一般図を起こすことから始まった。図が大きくなれば取り扱いが困難であるからこのスケールにしたが、1/200図に匹敵する緻密なもので、この図もいざれ清書して、何かに役立てたいと考えている。

バースの下絵に取りかかると、装飾的な造形の細部は、資料写真をループで覗きながら他の写真と照合したり、推理を働かせたりしながら形造っていった。現存する建物ももちろん参考となるが、改修された部分を見分けていく必要があった。

61年には下絵ができて、62年は主要部分の習作を描いた。これを同年のバース展に出したところ、会員の下村浩氏の御案内で森物介先生のお目に止まり、おりから東京駅のペーパーモデル出版を企画していた集文社に紹介してくださった。

工作とか模型は暇さえあればというほど好きな道である。結局、バースの仕事を随分犠牲にして、しかし心ゆくまで手を掛けてこれ

を完成、63年の12月に出版された。

バースは西南から見て描いていたので、模型の制作に当たっては東面を新たに描き起こさねばならなかった。しかし、東面外壁の資料としては八角部分の矩計図があるのみで、他には戦災で焼けただれた姿の写真と遠景とらえた写真しかないように、現存する部分も改修されたところが多く、他の部分の様式をたどりながら推察しても解明できない部分が残った。

それで、本命の東京駅復元バースの制作は64年に持越されたわけだが、完成したのは発心以来6年目のことであった。鉄骨包積煉瓦造厚さ60cmの外壁、45cmの仕切壁に、9,266,000個の煉瓦を1枚1枚積んでいった職人たちの心を偲べば時間を惜しまず描くことでのいたたった1枚のバースである。

（原画1,700×600ワトソン紙に鉛筆淡彩）

«バースの魅力»

自分の楽しみのために描くバース

——佐々木明子さん（佐々木信也氏夫人）に聞く

——私たちのやっているバースを描く仕事というのは、建築家とか設計者とか、一部の人しか知らないような専門的なもので、一般の方でバースにかかわっている方というのは少ないわけです。そこで、佐々木さんがどのようなきっかけでバースを始めたのか、またそれをやられたメリットとか楽しさといったものがどのあたりにあるのか、お話をうかがえればと思います。

「小さい頃から家に関することが大好きで、家の平面図なんかをしようと見てたんですね。それで、今の家を建てる前にちょっと時間があったので、インテリアスクールに入ったんです。とにかくとても興味があったのですから。でもまったくの素人で、それまでバースという言葉も知らなかったし、そういうこと（バース）を勉強する学校だとうことも全然知らなかった。そこではじめて、ああこんな風にして平面図から立体的な絵が出てくるんだなって」

「初めてバースを作ったのは卒業制作のときで、初めはこんなむずかしいことが私にできるのかしらって思いました。講師の先生がとても簡単にお書きになるのを見て、あんな風に描けたらいいなって。そのときの課題が、一つの平面の中にリビング、ダイニング、キッチン、この三つを作るというもので、まず平面図を描いて、1/30か1/50の模型を作って、それをバースにおこした。それが初めて描いた一焦点バースです。作図にずいぶん時間がかかりました。線が何本もあって、進めていくうちにわからなくなっちゃって……。次に水彩絵具で着色したんですが、むずかしいですね。薄い色から濃い色を重ねていくのがなかなかうまくいかなくて、下描きのコピーや何枚もとておいて着色の練習をしたんですけど、なかなかね。その上のクラスに進めば二焦点バースも描けるようになりますよって言われてすごく魅力を感じたんですけど、ちょうどそのとき引つ越しがあって、その後も忙しくて、結局2シーズンぐら空けてしまい、これはもう、いきなり上のクラスに入つてもついていけ



ないだろうと思って、それで諦めちゃったんですよ。あのまま続けていれば、もっと楽しかっただろうなって思いますね」

「でも、学校でバースを習っただけのことはありました。今家の建てるときに、設計者の方の言わんとしていることが、かなり理解できるんですよ。だから仕事がやりやすかったって言われました。私が基本的な平面図を引いて、それを元にきちんとしたものを作つてもらいました。平面図を見ると立体的な像がすぐ頭に浮かびますから、建つ前にもうある程度家のイメージができるっちゃうのね」

「学校行ったときにおもしろかったのは、若い人たちって頭が柔らかいかから、私なんか想像もしないようなものを作るのがね。色使いからデザインから全然違う。かなわないなって思いましたね。でも、さあ家を建てようと、具体的に考える段階になると、私のような年代の人のほうが、生活を営んできた経験があるから強いというところはありましたね。あまり奇想天外なものは作らないというか」

「今でもやってみたいですね。バースの勉強だけでも。だけど眼がね、もう全然ダメです。あまり細かいところだと、ふつうに線引いてるつもりでも、1ミリずれたりするんです。1/30とか1/50で1ミリ狂うと大変でしょう。もう20年若かったらなあ……。今度生まれ変わったら、絶対建築の仕事についてるだろうなって思いますね」

（1990年6月／佐々木氏自宅にて）

10周年記念事業ダイジェスト

建築パース作品展

JARA会員の作品80数点を、東京・大阪・名古屋の各会場で展示する。

パース公募展

レンダリングとは、建築物を正確に、そしてその持つ雰囲気を環境もこめて表現すること。

描き手の理解の仕方によって表現も変わること。

今回は、一般の人間が周知の建築がテーマです。あの建物が、こんなふうに見えるのか、表現できるのかという驚きを与えるような作品があればと思います。

(審査委員長 宮脇 檀)

当協会設立10周年記念事業の一環としてパース公募展を企画しました。これは当協会の活動項目にもあるように、後進の育成のひとつとして、新人の发掘および隠れた逸材を世に送り出す役目もあります。

10年の間広く日本中からレンダラーの参加を募り、現在会員170名を数えていますが、まだまだ大勢のレンダラーが、またその頃たちが未参加の状態です。公募展の開催により、当協会の存在を世に知らしめるとともに、パースが一般の方々にも解りやすく親しく接して頂ければと、またより多くのすばらしいレンダラーの参加を期待しています。

名称▶JARA大賞コンペティション (JARA設立10周年記念建築パース公募展)
主催▶日本アーキテクチャル・レンダース協会
賞▶賞金総額100万円
JARA大賞(50万円)1名、金賞(20万円)
1名、銀賞(10万円)1名、銅賞(5万円)1名、佳作(3万円)5名、入選20名以上、入選者は協会作品集に掲載
受賞式▶1990年8月18日建築会館でのJARA10周年記念レセプション

建築パース'90展

作品展／サムシング・ニュー展／公募展
国際展／歴史展／シンポジウム・セミナー

東京展
8月11日[土]～8月31日[金]
銀座・伊東屋9Fギャラリー
平日9:30AM～7:00PM 白日10:00AM～7:00PM
三田 建築会館(歴史展会場)
平日9:30AM～7:00PM 白日休館
8月18日[土]シンボルハーベスト

大阪展
9月6日[木]～9月11日[火]
大阪駅前第2ビル2F アートプラザ
10:00AM～6:00PM(8月9日～10:00AM～4:00PM)

名古屋展
9月17日[土]～9月27日[木]
愛知県美術館(新四郎7丁目サインセンター)
平日9:00AM～4:30PM 土日祭休館
後援 日本建築学会・新日本建築家協会

JAPAN ARCHITECTURAL RENDERERS ASSOCIATION

対象▶学生(高校、大学、専門学校等)及び一般(プロ、アマを問わず)。JARA正・準会員は除く

募集内容▶応募者は各自、自由なアングル及び作風で、1課題1～3点として建築パースを作成し提出

課題▶

1.法隆寺東院夢殿(奈良)

2.仁科神明宮(長野)

3.旧グラバー邸(長崎)

作品サイズ▶A2版 イラストボード

審査委員会▶

委員長 宮脇 檀(建築家)

委員 出江 寛(建築家)、黒川雅之(建築家)、半澤重信(文化庁・文化財調査官)、高須賀晋(建築家)、JARA名誉会員)、光藤俊夫(建築家)、JARA会長)

展覧会場▶

東京 銀座・伊東屋9Fギャラリー

大阪 アートプラザ(大阪駅前第2ビル2F)

名古屋 愛知県産業貿易館西館7Fデザイナーセンター

会期▶

東京 1990年8月11日～8月31日

大阪 1990年9月6日～9月11日

名古屋 1990年9月17日～9月27日

賞▶賞金総額100万円

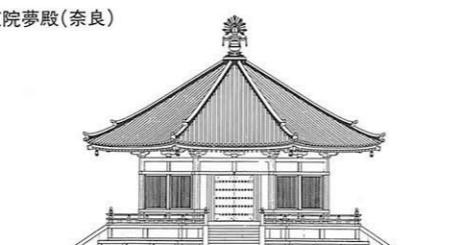
JARA大賞(50万円)1名、金賞(20万円)

1名、銀賞(10万円)1名、銅賞(5万円)1名、佳作(3万円)5名、入選20名以上、入選者は協会作品集に掲載

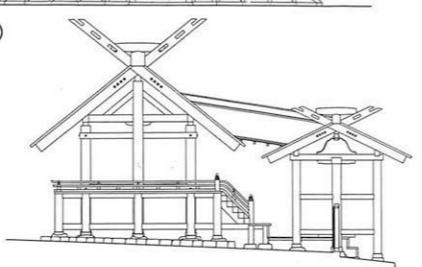
受賞式▶1990年8月18日建築会館でのJARA10周年記念レセプション

◆課題

1.法隆寺東院夢殿(奈良)



2.仁科神明宮(長野)



3.旧グラバー邸(長崎)



◆審査委員



宮脇 榎(みやわき まゆみ)
1936年名古屋市生まれ
1961年東京大学大学院数物系研究科建築学専門課程修了
1964年宮脇建築研究室開設・主宰
日本建築学会員作品賞、緑の都市大賞建設大臣賞などを受賞



半澤重信(はんざわ しげのぶ)
1930年生まれ
1956年東京工業大学大学院建築学計画系修了
現在、文化庁文化財保護部副主任調査官
建築設計競技審査員をつとめるほか、文化財保護施設・文化財防災施設の設計・監修・指導に当たる



出江 寛(いはず かん)
1931年京都市生まれ
1957年立命館大学卒業
竹中工務店設計部を経て、
1976年竹中工務店設計事務所開設・主宰
全効率建築設計競技入賞1位、第二回立劇場設計競技入選など



高須賀晋(たかすが すむ)
1933年東京生まれ
1951年安田学園建築科卒業
清水建設設計部を経て、
1970年高須賀晋一級建築士事務所開設・主宰
建築学会賞などを受賞



黒川雅之(くろかわ まさゆき)
1937年名古屋市生まれ
1967年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了
1967黒川雅之建築設計事務所開設・主宰
量産住宅国際競技設計賞等、西独・IF賞、毎日デザイン賞などを受賞



光藤俊夫(みつじゅうふ)
1930年大阪生まれ
1953年、京都市立美術大学(現芸大)美術学部西洋画科卒業
竹中工務店設計部を経て、
1985年光藤建築研究室開設・主宰
昭和女子大学教授、JARA会長

サムシング・ニュー展

企画パース展“サムシング・ニュー”について

従来、建築設計図書の一部として、設計図面をもとに制作・作図されたのが、そもそものパースの始まりでした。そして現在でも、その方式による製作は量的にかなりの割合を占めていることは事実ですが、一方パースの視覚的影響力は、単に図面の視覚化(着色透視図)という仕事のみにとどめておくべきではないとの判断からか、最近ではしばしば図面に先行したパース製作も要求されるようになりました。

長年パース製作に携わるものにとって、それは各人の経験則的に充分可能なことであり、また場合によっては建築の世界の制約を離れた自由な表現ができる場でもあったりするのです。そしてそんなパース製作を更に進め、単に「言葉」「概念」のみをスタートのキーとして受け取り、そこから一つの世界をパースペクティブに描く、という試みにチャレンジいたしました。それがサムシング・ニュー展です。

この企画の第1回である今回は、ナチュラリストであり、探検家作家のC.W.ニコル氏にキーワードとしての言葉を依頼いたしました。建築の世界には全くの門外漢である氏の言葉にどう反応し、どんなパースが描けるかがレンダラーに問われるサムシング・ニューというところでしょうか。

私の理想の家

「私の理想の家」という題で作文を書かされたのは、12のときだった。その作文が学校で1番になったのをいまでも覚えている。あれから38年たった今、理想的な家なるものに要求する部分も少しだけ増えているけれども、それでも根本的なところは変わっていない。

12歳の私にとっての理想の家、それはウェールズの山の中にあった大伯母の家だった。古い小さな石づくりの家で、ガスもなければ、電気もない、水道さえなかった。トイレも家の外だった。けれども、その家はまわりの自然に完全にとけあっていたし、この家を愛して集まくる人々の笑い声はけっして絶えることがなかった。

近代建築についてのチャールズ皇太子の考えに、私はもう手をあげて賛成するものだ。近代建築なるものの大部分、ことに今日の日本で見られる建築物などは、私にとっては醜悪を絵に描いたようなものでしかない。

私の理想の家は、まずまわりの環境ととけあつたものでなくてはならない。耐久性のある自然の材料で出来た家が理想である。コンクリートやスチール、プラスティックなどの材料は出来る限り避ける。公害を出すことがあってはならない。出来るだけ天然エネルギーを使うようにする(私の住む地域では太陽エネルギーと一緒にマキの利用がもっとも実際的である)。人々が集まってこれるようだなでなくはないし、それでいて家族や親友同士のプライバシーが保たれる必要がある。冬暖かく、夏は涼しく、何よりも快適でなくてはならない。

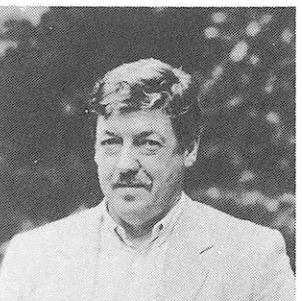
巧みな設計によって、「雪おろし」のような馬鹿馬鹿しい習慣とはさよなら出来るような家でなくてはならない。マキ、ワイン、食料、道具などを貯蔵するためだ。伝統的な日本家屋のデザインはとても好きだけれど、昔の上に長いことすわっているのは疲れてしまうから、ちょっと遠慮したい。家の中央で一番重要な部屋はおそらく台所と、バックヤード、そしていくつかのトイレになるだろう。

私のような人間のために家を設計するというのはきわめて難しいことだろ

う。私には自分の好みがはっきりしているし、実用的でないものだと、自然の本性に反したもののは何でも軽蔑するからである。

幸運を祈る!

C. W. Nicol
C. W. ニコル



C. W. ニコル(Clive William Nicol)
1940年7月17日、南ウェールズに生まれる。

17歳でカナダへ渡り、北極地域の野生生物調査を行なう。以後、北極探検12回、越冬2回。そのうち、探検隊長を5回務める。65年から延べ12年間にわたって、カナダ政府環境庁職員。この間、北極研究所研究員、捕鯨監視員等を務めるほか、エチオピア政府の依頼に答えて同国北部山岳地帯の国立公園建設を指揮(67～69年)。75年には沖縄海洋博のカナダ館副館長を務める。

最初の来日は、62年、22歳のときで、空手を体得。69年からの2年間は日本で水産学を学ぶ。また、日本語学校にも通う。78年からは捕鯨の町、和歌山県太地町に腰を下す捕鯨の歴史を調査。

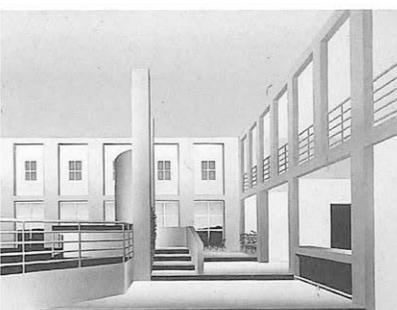
81年から長野県黒姫に住む。

国籍はカナダ。著書に、『ティキシー』(松田鉄・葉井義雄訳/クロスロード社)、『バーナードリーチの日時計』(松田鉄訳/角川選書)、『風を見た少年』(日本語書き下ろし/クロスロード社)、『野生の呼び声』(開高健氏との対談集/集英社文庫)、『勇魚』全2巻(村上博基訳/文藝春秋)、『C. W. ニコルの黒姫日記』(講談社)、『TREE』(竹内和世訳)など多数がある。

国際パース展

国際パース展では、1990年8月11日～21日まで銀座・伊東屋にて米国(ASAP)、韓国(KOPR)、英国、オーストラリア、中華人民共和国、台湾など、海外からの作品約40点が展示される。また、8月18日のレセプション会場ではパブルジェットによる展示がなされる。

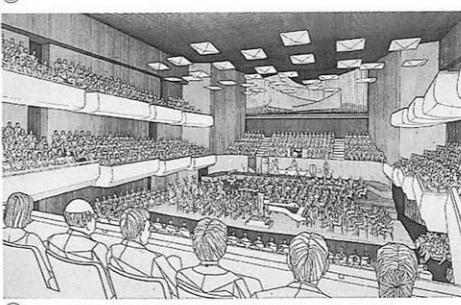
米国と韓国の参加作品の一部については「国際交流」のところで紹介したので、ここではそれ以外の国からの参加作品を取り上げた。



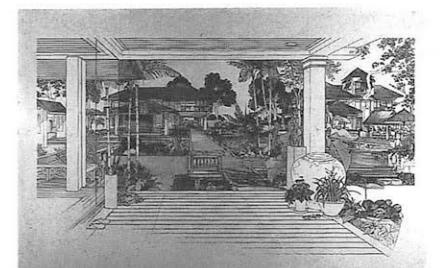
①



②



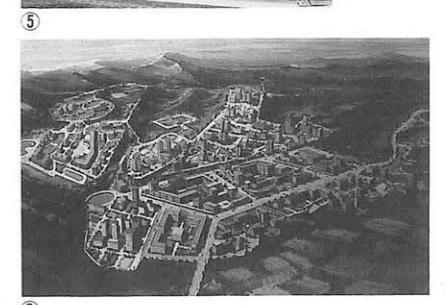
③



④



⑤



⑥

会員名簿

今回のテーマである「私の理想の家」について考える。

先のC・W・ニコル氏の寄稿によれば、「理想の家」が目指すのは、まさに大自然との協調であり、家の存在による自然破壊、文化歴史の破壊は許すことができない、という地球的発想から述べられたものであると考えられる。それは北極、および野生動物の保護、自然環境の保護を訴える姿勢を若き時代から今日に至る長い年月にわたって貫き通してきた、そして、近代社会が地球を破壊してゆく様を目で見、肌で感じ、それを憂い、警鐘を送り続けている氏の思想を端的に反映しているものであるといえよう。たしかに素晴らしいことではある。また彼がいま英国で論議を醸している「チャールズ皇子の近代建築批判」に共鳴しているのもうなづける。

戦後40年、荒地とされた愛する国土、そして奇跡とも言える再生を果たし、経済大国となった愛する国、日本。乱立する様々な主張と統一性のない多様な建築物……。その多くは確かに、ただ利潤追求のためだけに立てられた建築でしかないように見える。だがそれもまた歴史ではあるまい。

しかし今、21世紀を考え地球を考えるときが来ている。

私共レンダラーは、私共に投げかけられた「私の理想の家」というテーマに答え、私共の小さな一言が、そして一枚の絵が、日本文化の上にたって、地球の自然環境との調和をふまえ、都市・建築・土木構築などを守り愛することをバースペクティヴな表現で主張したいと考えるのである。

◎名古屋

日時▶1990年9月17日(月)13:00~15:00

会場▶愛知県産業貿易会館西館6Fホール
パネラー▶安藤清(竹中工務店名古屋支店)、市川国夫(日建設計名古屋事務所)、鈴木利明(日本設計名古屋支社)、大野助(オズアトリエ)、辻本達廣(辻本デザイン事務所)、長谷川和男(ケーエーデザイン) / 司会=村井謙介(謙スタジオデザイン事務所)

テーマ▶“バースの現在と未来の展望”

◎大阪

日時▶1990年8月22日(火)18:30~20:00

会場▶大阪国際交流センター小ホール
パネラー▶フランク・コンスタンチーノ(ASAP会長)、トマス・シャレー(ASAP副会長)、ラエル・スルスキー(ASAPシカゴ支部長)、安容植(KOPR会長)、辻本達廣(辻本デザイン事務所)、刈谷拓爾(RIYA)、芳谷勝瀬(日建設計)、津田勉(アップルデザイン研究所)、宮後浩(大阪バースアカデミー)、小西久雄(ARG建築画工房)

テーマ▶“現代建築バース”

歴史展

建築文化とバースの歩みを図面パネルと歴史的作品によって展観する。また、ダイヤグラム“バースの歴史”を印刷し、会員に配布する。

会場▶建築会館

記念式典

10周年記念事業の一環として、東京展の中日8月18日に記念式典及び祝賀会を開催する。

当日は、当協会のためにご助力・ご協力を下さった方々を招いて、ささやかな感謝の意を表すとともに、記念の品の贈呈、公募展入賞者の表彰等がなされる。日時▶1990年8月18日(土)17:30~会場▶建築会館

シンポジウム

◎東京

日時▶1990年8月18日(土) 15:00~17:00
会場▶建築会館ホール

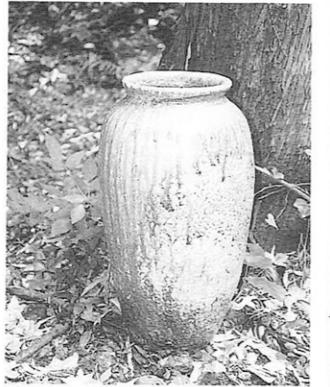
講師▶松葉一清(建築評論家・朝日新聞学芸部記者)



テーマ▶21世紀の展望“パリ・グランプロジェに都市の未来図を見る”

講演内容▶1980年代におけるポスト・モダンの普遍化は、图像の時代を開いた。图像表現にタブーはなくなり、都市は多彩な造形で埋めつくされた。しかし、現実に、もたらされたのは、都市空間の模擬祭り化で、ひとびとの心には图像が躍れば躍るほど、空疎さが増している感も否めない。

1990年代には、この「模擬」を越えねばならない。本当に豊かで「実体」のある都市とはどんなものか。それを構成する建築はどうあるべきかを、パリにおける都市開発の事例を引きながら論じていく。(その時、紋切り型でない建築家の想像力が要求される。バースの持っている幻想の力が求められるのである)



大賞の記念品・信楽大壺
(JARA会員 稲橋重次・作)

【新人会員紹介】(入会順)

山田 紀夫	横浜(正)	阪本 一史	大阪(準)
柳沢 英樹	名古屋(準)	根岸 佑伎	東京(正)
宮村 幹子	東京(正)	長谷川和男	名古屋(正)
諏訪 利弘	前橋(正)	亀崎 敏郎	名古屋(正)
相沢 功	東京(正)	折井 健	長野(準)
宮本 和朗	島根(準)	松永 茂	名古屋(正)
森田 恵広	東京(正)	森山 雅彦	大阪(正)
長谷川 久彦	新潟(正)	藤井 悅子	大阪(正)
大崎 俊広	静岡(正)	山田 久仁夫	名古屋(正)
渡辺智子	札幌(正)	千葉 稔	東京(正)
白川 雅之	名古屋(正)	野田 容子	名古屋(正)
林 光也	東京(正)	坂井田 将齋	名古屋(正)
古川俊一郎	大阪(正)	小沢 香織	東京(準)
相沢恵美子	東京(準)	小笠原 茂	東京(準)
柿沼道夫	鎌倉(正)	古川 常夫	名古屋(正)
森田忠安	高知(正)	庄司 澄子	仙台(正)
下村 浩	東京(準→正)	渡辺 康史	堺(正)
寺内英夫	東京(正)	丹野 晶子	東京(正)
生野正己	東京(正)	佐藤 朱美	福島(準)
佐藤一正	京都(正)	阿智邑 隆	東京(正)
寺岡智恵子	東京(正)	石田 千秋	帯広(正)
三谷智弘	名古屋(正)	藤村 美千子	名古屋(正)
山我浩章	東京(正)	馬場 智士	西宮(正)
桜木 守	大阪(正)		

【平成2年度担当理事選出】

[10周年記念事業]

理 事 長	大平善生	東前	総括委員長
関東支部長	中野俊章	東○	歴史展担当
関西支部長	辻本達廣	西元	
中部支部長	坂井田優実	中○	
会計担当理事	平原明子	東前	式典 祝賀会担当
理 事 事	津田 勉	西	総括副委員長
"	大野 昭	東○	シンポジウム担当 (東京)
"	大山記糸夫	東○	記念出版担当
"	海法一夫	東○	会員作品展総括担当
"	門脇信夫	東	公募展担当
"	刈谷拓爾	西○	大阪会場展担当
"	小西久雄	西○	国際展担当
"	安井誠一	中	名古屋会場展担当
"	尾上利香	東前	
"	堤内康雄	東新	会員作品展担当
"	松村範也	西	シンポジウム担当 (大阪)
"	芳谷勝瀬	西○	
監 事 事	壇上 則行	東新	東京会場展担当
"	宮後 浩	西前	
"	長谷川和男	中新	シンポジウム担当 (名古屋)
事 務 局 長	南 几代美	東○	

(○印は10周年記念事業が終わるまで任期を継続する理事)

【賛助会員】

(株)いづみや
樹建設(株)
CAP キャップ
キャンソンジャパン
(株)創樹社
(株)中部
なびす画材
(有)ニッカー
レイモンド建築設計事務所

【編集後記】

*バースについてレンダラーと建築家とか語り合う機会をもてたことは、大変意義深いことだったと思う。
大阪・竹葉亭(出江寛氏の設計になるもの)の独特的の雰囲気の中で行なわれた座談会は、出江氏と渡辺豊和氏のそれぞれの魅力あるお話により、話題がいろいろと展開して、充実した楽しい夜となつた。両先生には、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

*編集委員会では、PERSPECTIVEに掲載するテーマを募集している。ユニークなテーマがあれば、PERSPECTIVE編集委員会(事務局)までお送りいただきたい。

(細中記)
編集長 細中啓太郎
編集委員 大山記糸夫・宮崎岳彦・山岸和治・米倉三貴・平原明子

正会員



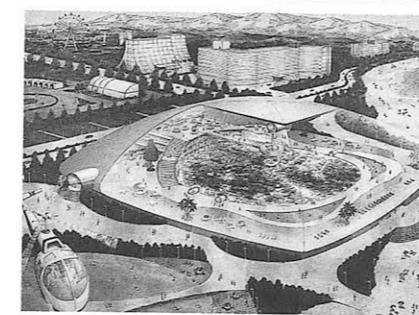
あいざわ いさお
相沢 功 Isao Aizawa

アイザワ デザイン
〒177 東京都練馬区関町南1-9-45-104
Tel. 03-5991-0432

Fax.03-5991-0432
AIZAWA DESIGN

1-9-45-104 Sekimachi-minami, Nerima-ku, Tokyo 177

▶北海道室蘭市出身／岩手大学特設美術科卒業／「3次元から4次元へ」「未知への挑戦」／趣味はスキー・ドライブ・乗馬

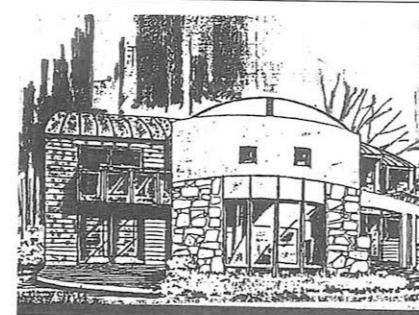


あきおか つとむ
秋岡 勉 Tsutomu Akioka

フリーランス
〒666-01 兵庫県川西市けやき坂2-37-8
Tel. 0727-99-5490

Fax.0727-99-5492
FREE LANLE

2-37-8 Keyakizaka, Kawanishi-city, Hyogo 666-01



あさだ よしお
浅田 能生 Yoshio Asada

株式会社 イシダ建築デザイン
〒601 京都市南区上鳥羽塔ノ森東向町84-1
Tel. 075-671-6150

Fax.075-681-3509
ISHIDA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE CO.

84-1 Higashimukai-machi, Tonomori, Kamitoba, Minami-ku, Kyoto-city, Kyoto 601

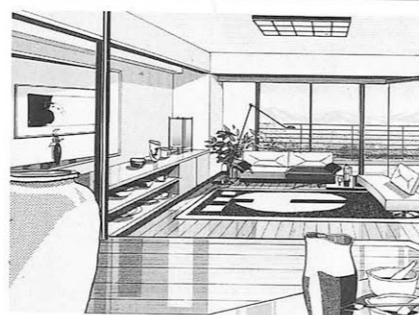


あちむらたかし
阿智邑 隆 Takashi Achimura

株アトリエ・アチムラ
〒112 東京都文京区音羽1-9-6 カトウビル 5F
Tel. 03-947-5646

Fax.03-947-7885
ATELIER ACHIMURA., INC.

Kato Bldg. 5F, 1-9-60 Otowa, Bunkyo-ku, Tokyo 112



あべ まさはる
阿部 雅治 Masaharu Abe

アベ・レンダリング
〒176 東京都新宿区西新宿7-19-22-515
Tel. 03-369-3722

ABE RENDERING

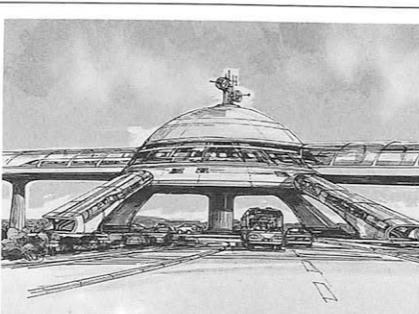
7-19-22-515 Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 176



いがらし しげき
五十嵐 茂樹 Shigeki Igarashi

五十嵐工学パース事務所
〒063 北海道札幌市西区発寒12条5-7
Tel. 011-662-5286

IGARASHI ENGINEERING PERSPECTIVE OFFICE
5-7 Hassamu 12jo, Sapporo-city, Hokkaido 063
▶常識の人間 $\oplus\ominus=0$



いくの まさみ
生野 正己 Masami Ikuno

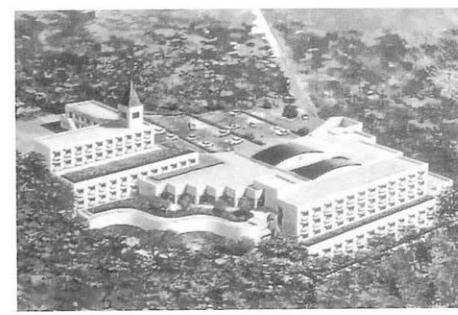
鹿島建設株式会社

〒107 東京都港区赤坂6-5-30
Tel. 03-5561-2111, 2462(直通)

Fax.03-5561-2462

KAJIMA CORPORATION

6-5-30 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107



いしだ ちあき
石田 千秋 Chiaki Ishida

イシダデザイン

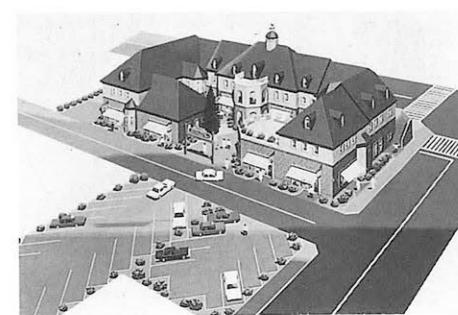
〒080 北海道帯広市稻田町1 線6-81

Tel. 0155-48-8511

Fax.0155-48-8511

ISHIDA DESIGN

6-81 Higashi-1sen, Inada-cho, Obihiro-city, Hokkaido 080



いしだ のりやす
石田 統雍 Noriyasu Ishida

ISHIDA ART

〒355 埼玉県東松山市石橋1784-20

Tel. 0493-24-5690

Fax.0493-24-5690

ISHIDA ART

1784-20 Ishibashi, Higashimatuyama-city, Saitama 355

26



いしばし りゅういち
石橋 龍一 Ryuichi Ishibashi

有行バース

〒150 東京都渋谷区桜丘29-33 渋谷三信マンション407

Tel. 03-464-9280

Fax.03-464-3803

INC. KOU PERS(perspective drawing office)

407 Shibuya Sanshin Manshion, 29-33 Sakuragaoka-cho, Shibuya-ku, Tokyo 150

▶“誠実”



いでの よしえ
井出野 芳枝 Yoshie Ideno

株バーススタジオ

〒102 東京都千代田区三番町7-10 NK 麻町コーナース707

Tel. 03-263-4813

Fax.03-263-5130

DRAWING PERSPECTIVE STUDIO

707 NK Kojimachi Quarters, 7-10 Sanbancho, Chiyoda-ku, Tokyo 102



いのうえ せいご
井上 正悟 Seigo Inoue

イノウエバース店

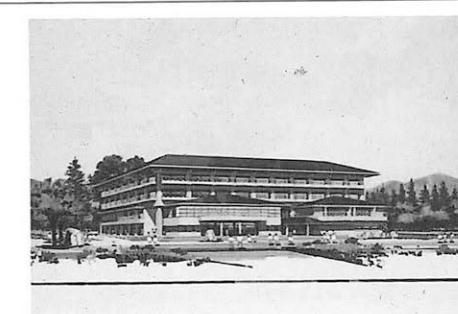
〒166 東京都杉並区成田東5-40-11

Tel. 03-392-5015

INOUE RENDERING OFFICE

5-40-11 Naritaigashi Suginami-ku, Tokyo 166

▶1948年岐阜県関市生まれ

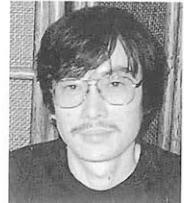
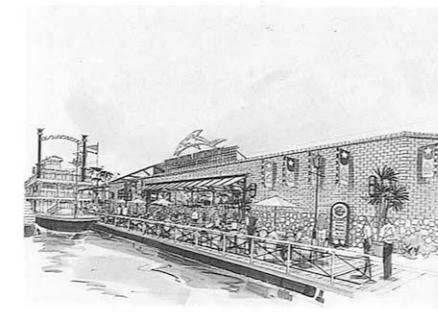


27



いのうち かずお
井内 一夫 Kazuo Inouchi

有限会社スタジオゼロ
〒662 兵庫県西宮市川添町14-12
Tel.0798-36-0287
Fax.0798-36-0287
STUDIO ZERO CO., LTD.
14-12 Kawazoe-cho, Nishinomiya-city, Hyogo 662



いまい よしあき
今井 義明 Yoshiaki Imai

今井パーススタジオ
〒176 東京都練馬区光が丘7-3-3-204
Tel.03-930-6090
Fax.03-930-6090
IMAI PERS STUDIO
7-3-3-204 Hikarigaoka, Nerima-ku, Tokyo 176
► Be natural & realistic



いわさき しようこ
岩崎 昇子 Shoko Iwasaki

有プリント・エクスプレス
〒131 東京都墨田区押上1-42-9
Tel.03-625-5827
Fax.03-614-2163
PRINT EXPRESS
1-42-9 Oshiage, Sumida-ku, Tokyo 131
►今や現役引退の観あり。21世紀のレンダーラーズの役目はどんな変化をたどるのか楽しみである。

28



おいまた ひでき
生松 秀樹 Hideki Oimatsu

デザインドール研究室
〒371 群馬県前橋市西片貝町5-9-1-301
Tel.0272-21-1722
Fax.0272-23-5259
DESSIN D'OR
5-9-1-301 Nishikatakai-machi, Maehashi-city, Gunma 371
►遊ぶ生活のある労働をモットーとする。自然大好き人間！



おおいし とし お
大石 敏雄 Toshio Ohishi

有限会社 敏デザイン事務所
〒170 東京都豊島区東池袋3-8-5 パレドール池袋202
Tel.03-983-6264
Fax.03-985-6426
BIN DESIGN OFFICE
3-8-5 Higashi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 170



おおくぼ まさと
大久保 真 Makoto Okubo

南アート・パレス
〒330 埼玉県大宮市南中丸606-7
Tel.048-686-9062
Fax.048-686-9062
ART PALACE
606-7 Minaminakamaru, Omiya-city, Saitama 330
►1951年長野県生まれ／1972年(株)ドム入社／1976年(有)桁パース入社／1988年独立後、(有)アート・パレス設立、現在に至る



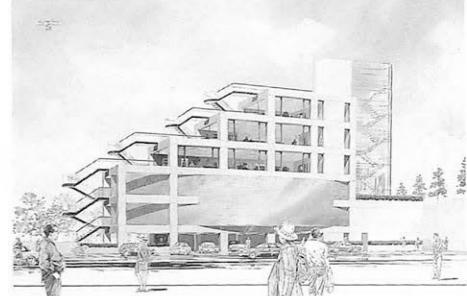
おおさき としひろ
大崎 俊広 Toshihiro Osaki

パース工房 Osaki
〒421-01 静岡市用宗4-5-10
Tel.0542-59-9025
Fax.0542-59-9025
PERS KOBOS OSAKI
Mochimune, Shizuoka-city, Shizuoka 420-01
►1962年静岡県静岡市生まれ／足利工業大学建築学科卒業／84年(株)ヤナイ店舗設計事務所入社、パース担当／88年フリーとしてパース工房 Osaki 設立。



おの の はじめ
大野 昝 Hajime Ohno

株式会社 オズ・アトリエ
〒107 東京都港区南青山2-5-9 パールビル南青山
Tel.03-408-4766
Fax.03-470-3159, 03-408-8510(分室)
OZU ATELIER INC.
Peal Bldg., 2-5-9 Minami-Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107
►1943年東京生まれ／武蔵野美術大学中退／株式会社オズ・アトリエ代表取締役



おおひら ぜんせい
大平 善生 Zensei Ohira

有アトリエ・ボノム
〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-9-24-306
Tel.03-405-5852
Fax.03-405-5865
ATELIER BONHOMME CO., LTD.
4-9-24-306 Sendagaya, Shibuya-ku, Tokyo 151
►見かけより実は若い



おおやま きし お
大山 記糸夫 Kishio Ohyama

アートファクトリー
〒162 東京都新宿区富久町2-19-202
Tel.03-359-4593
Fax.03-355-5596
ART FACTORY
2-19-202 Tomihisa-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162
►1952年東京生まれ／金沢美術工芸大油絵科卒業



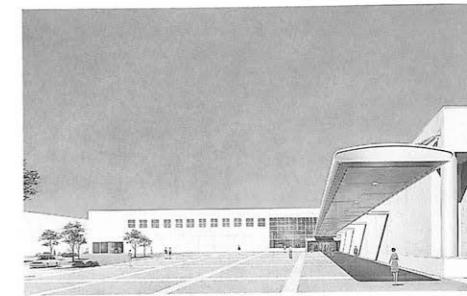
おか ようこ
岡 陽子 Yoko Oka

オカ・レンダリング
〒606 京都市左京区聖護院山王町43-2 パレスステート日生203
Tel.075-771-3296
Fax.075-751-2922
OKA RENDERING
43-2 Seigoin Sanno-cho, Sakyo-ku, Kyoto 606



おぎの たみ お
荻野 民雄 Tamio Ogino

株式会社 久米建築事務所
〒106 東京都港区西麻布1-13-11
Tel.03-403-0251
Fax.03-401-6130
KUME ARCHITECTS-ENGINEERS
1-13-11 Nishiazabu, Minato-ku, Tokyo 106



29



おくむら かずや
奥村 一也 Kazuya Okumura

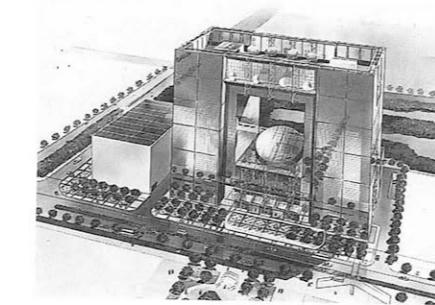
有)ヒューマン・ファクター
〒150 東京都渋谷区神宮前2-4-20 外苑アスペイア1F

Tel.03-402-2683

Fax.03-402-6629

HUMAN FACTOR LTD.

Gaien Aspeia 1F, 2-4-20 Jingumae, Shibuya-ku, Tokyo 150



おぐら みちこ
小倉 通子 Michiko Ogura

有)スタジオ・オーブル

〒158 東京都世田谷区等々力2-36-2 エクセル等々力404

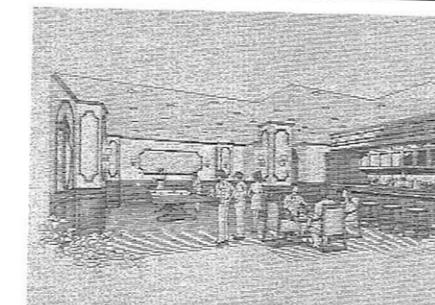
Tel.03-704-5307

Fax.03-705-4711

CO., LTD. STUDIO OVAL

2-36-2-404 Todoroki, Setagaya-ku, Tokyo 158

▶人生を楽しみたい、楽しみたいと願っているのですが、しかし……。



おだぎり としゆき
小田切 敏幸 Toshiyuki Odagiri

デザインスペース那由他

〒542 大阪市中央区南船場4-10-19 カワビル3F

Tel.06-245-1530

Fax.06-245-1605

DESIGN SPACE NAYUTA

Kawata Bldg. 3F, 4-10-19 Minami-Senba, Chuo-ku, Osaka 542

▶おもしろい人間です。



おのえ りか
尾上 利香 Rika Onoe

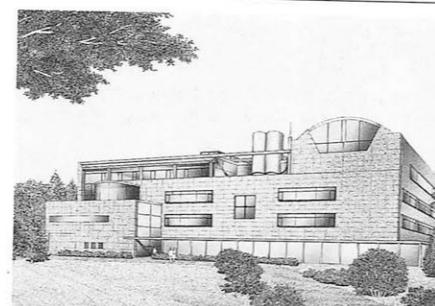
〒206 東京都多摩市豊ヶ丘3-5-3-303

Tel.0423-73-3553

Fax.0423-73-8498

3-5-3-303 Toyogaoka, Tama-city, Tokyo 206

▶そのイメージにあう表現をさがし、納得できるまでじゅうぶん時間をかける、そんな仕事をしたい。



かいほう いつお
海法 一夫 Itsuo Kaiho

南海法デザイン事務所

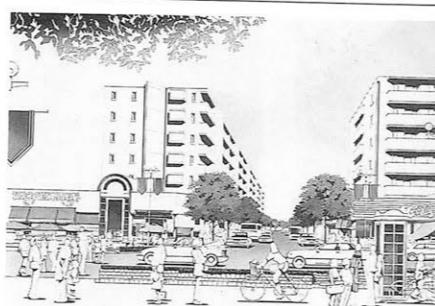
〒151 東京都渋谷区笹塚3-2-3

Tel.03-374-2455

Fax.03-374-2132

DESIGN ROOM KAIHO INC.

3-2-3 Sasazuka, Shibuya-ku, Tokyo 151



かがみ よしお
鏡 好雄 Yoshio Kagami

株式会社 鏡デザインプロ

〒001 北海道札幌市北区新琴似10条1

Tel.011-757-7579

Fax.011-757-7579

KAGAMI DESIGN PRO

1-4-10 Shinkotoni 10jyo, Kita-ku, Sapporo-city, Hokkaido 001

▶1938年生まれ、道産子ですので札幌でがんばっています。



かきぬま みちお
柿沼 迪夫 Michio Kakinuma

柿沼建築設計事務所

〒247 神奈川県鎌倉市梶原1-5-12 ピュア湘南302

Tel.0467-45-1140

Fax.0467-45-1140

KAKINUMA ARCHITECTURAL PLANNING OFFICE

1-5-12 Kajiwara, Kamakura-city, Kanagawa 247



かさはら まさと
笠原 征人 Masato Kasahara

K DESIGN

5-1-G508 Honmokuhara, Naka-ku, Yokohama-city, Kanagawa 231

▶1924東京生まれ／太平洋美術研究所卒



かとう あきら
加藤 昭 Akira Kato

株ビーデーカー

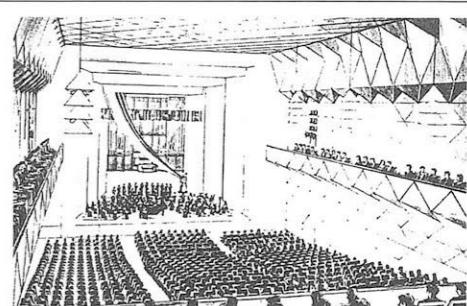
〒151 東京都渋谷区代々木3-31-12

Tel.03-370-8281

Fax.03-370-8282

P.D.K

3-31-12 Yoyogi, Shibuya-ku, Tokyo 151



かどわき のぶお
門脇 信夫 Nobuo Kadowaki

KVC 有限会社 カドワキ・ヴィジュアル・コミュニケーション

〒150 東京都渋谷区神宮前2-4-20

Tel.03-401-5877

Fax.03-402-7185

KVC : INC.

2-4-20 Jingumae, Shibuya-ku, Tokyo 150

▶90年6月より社名が変わりました。／新職域・ヴィジュアル・コミュニケーターを目指します。



かなざわ かつ
金澤 活 Katsu Kanazawa

株式会社 カフアドハウス

〒106 東京都港区西麻布2-13-12 早野ビル

Tel.03-407-2428

Fax.03-407-8977

KAFU AD HOUSE LTD.

Hayano Bldg., 2-13-12 Nishiazabu, Minato-ku, Tokyo 106

▶The best Perspectivist!



かねもと ただし
金本 正 Tadashi Kanemoto

有)金本デザイン事務所

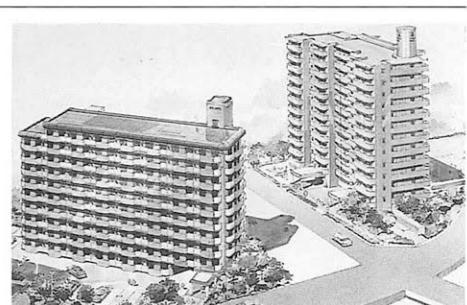
〒760 香川県高松市藤塚町3-4-6

Tel.0878-34-1765

Fax.0878-31-5636

KANEMOTO DESIGN OFFICE

3-4-6 Fujitsuka-cho, Takamatsu-city, Kagawa 760





かめざき としろう
亀崎 敏郎 Toshiro Kamezaki

(有)KEY デザイン事務所
〒460 愛知県名古屋市中区丸の内2-8-26
Tel.052-203-8551
Fax.052-203-8552
KEY DESIGN OFFICE
2-8-26 Marunouchi, Naka-ku, Nagoya-city, Aichi 460
►1949年長崎県松浦市生まれ／1974年、東京デザイナー学院名古屋校インテリアデザイン科卒／1978年、KEY デザイン事務所設立／1985年、(有)KEY 建築模型設立、現在に至る。／空手道2段



かりや たくじ
刈谷 拓爾 Takuji Kariya

株式会社 リヤ
〒534 大阪市都島区友渕町1-5-5-3405
Tel.06-924-3637
Fax.06-924-3287
RIYA CO., LTD.
1-5-5-3405 Tomobuchi-cho, Miyakojima-ku, Osaka 534



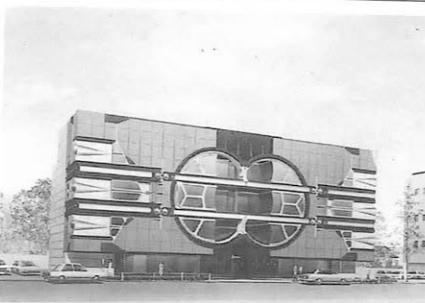
かわかみ かずこ
川上 和子 Kazuko Kawakami

パースルーム α (アルファ)
〒470-01 愛知県愛知郡日進町岩崎岩根159-1
Tel.05617-3-0441
Fax.05617-3-0441
PERS ROOM α
159-1 Iwana Iwasaki, Nissin-cho, Aichi-gun, Aichi 470-01



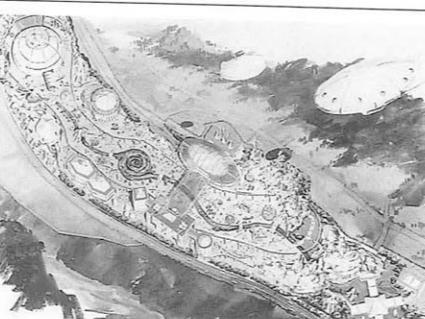
かわらさき よしお
川原崎 由夫 Yoshio Kawarasaki

スタジオ・アーク
〒530 大阪市北区松ヶ枝町6-17 第7新興ビル803
Tel.06-352-8890
Fax.06-352-8890
STUDIO AURK
803 Dainana Shinko Bldg., 6-17 Matsugae-cho, Kita-ku, Osaka 530



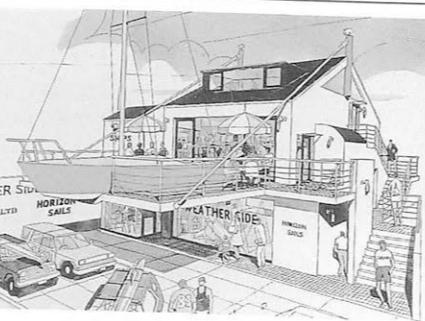
きたむら ふじえ
北村 ふ志江 Hujie Kitamura

南北村ふ志江バス・スタジオ
〒154 東京都世田谷区太子堂1-12-29-201
Tel.03-487-4539
Fax.03-487-4539
HUIJIE KITAMURA PERS STUDIO
1-12-29-201 Taishido, Setagaya-ku, Tokyo 154



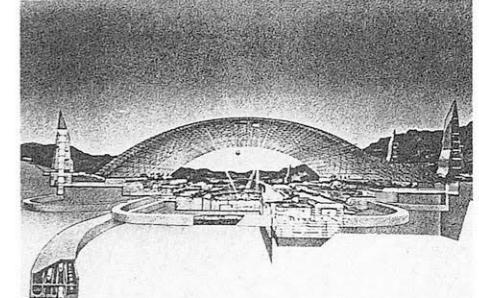
きたむら みのる
北村 稔 Minoru Kitamura

株式会社建築設計事務所
〒662 兵庫県西宮市六軒町7-22
Tel.0798-71-1337
PLAZA ARCHITECTURE CO., LTD.
7-22 Rokken-cho, Nishinomiya-city, Hyogo 622
►バスの早描き（図法）の研究と開発に燃える男



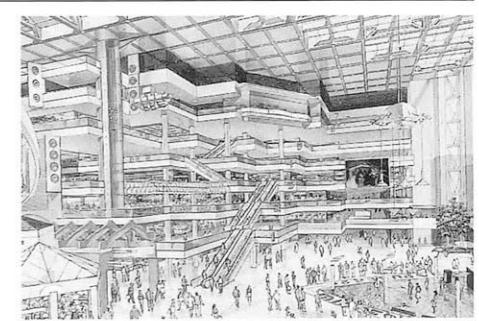
くわた きんじ
桑田 謹次 Kinji Kuwata

株式会社 アトリエ
〒152 東京都目黒区平町1-20-17-102
Tel.03-724-2382
Fax.03-724-2382
ATELIER INC.
1-20-17-102 Tairamachi, Meguro-ku, Tokyo 152
►自然と人間を信仰の対象としている。



こにし ひさお
小西 久雄 Hisao Konishi

ARG建築工房
〒604 京都市中京区岩上通六角下ル岩上町741-908
Tel.075-802-2291
Fax.075-802-2291
STUDIO ARG
741-908 Iwagami-cho, Iwagamidori Rokkaku Sagaru, Nakagyo-ku, Kyoto-city 604
►日本建築協会会員、A S A P会員／N H K大阪文化センター講師／二級建築士



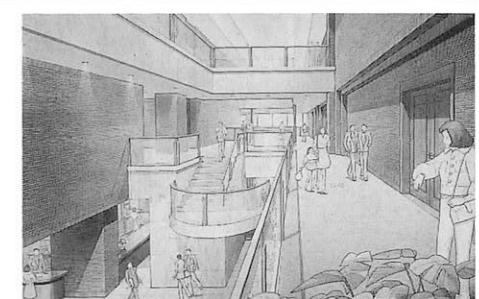
こんどう たかえ
近藤 喬枝 Takae Kondo

フリーランス
〒227 神奈川県横浜市緑区美しが丘4-32-23
Tel.045-901-6811
Fax.045-902-7009
FREE LANCE
4-32-23 Utsukushigaoaka, Midori-ku, Yokohama-city, Kanagawa 227



さいとう ともこ
斎藤 富子 Tomiko Saito

とみあたりえ
〒176 東京都練馬区中村南1-30-15
Tel.03-998-7349
Fax.03-926-7274
TOMI ATELIER
1-30-15 Nakamura-minami, Nerima-ku, Tokyo 176
►夢追い人



さいとう もとき
斎藤 元紀 Motoki Saito

パースワーク
〒180 東京都武蔵野市吉祥寺北町2-1-18 コスモ吉祥寺203
Tel.0422-20-4440
PERS WORK
2-1-18 Kichijoji Kitamachi, Musashino-city, Tokyo 180
►普通の人間



さかいだ まさなり
坂井田 将齊 Masanari Sakaida

有限会社 エルファ・アーキテクト
〒451 愛知県名古屋市西区新道1-17-18
Tel.052-581-0976
Fax.052-586-7360
ELFA ARCHITECT LTD.
1-17-18 Shinmichi, Nishi-ku, Nagoya-city, Aichi 451
►1959年愛知県生まれ／日本デザイナー学院卒／一級建築士事務所（株）創和を経て、1982年事務所設立





さかいだ ゆみ
坂井 優実 Yumi Sakaida

有限会社 エルファ・アーキテクト

〒451 愛知県名古屋市西区新道1-17-18

Tel. 052-581-0976

Fax. 052-586-7360

ELFA ARCHITECT LTD.

1-17-18 Shinmichi, Nishi-ku, Nagoya-city 451

▶1959年名古屋市生まれ／日本デザイナー学院卒／株式会社美術開発センターを経て、1982年事務所設立



さつまえ みのる
左津前 実 Minoru Satsumae

株式会社 サツマエ パース ルーム

〒106 東京都港区西麻布3-21-3

Tel. 03-408-1719

Fax. 03-408-3802

S.P.R.CO., LTD.

3-21-3 Nishiazabu, Minato-ku, Tokyo 106

▶趣味…ボート（一级小型船舶操縦士）、ゴルフ（JGA O.H.C 7）



さとう かずまさ
佐藤 一正 Kazumasa Sato

サトウ パース アーツ

〒536 大阪市城東区2-12-16

Tel. 06-969-2681

Fax. 06-969-2681

SATOH PERS ARTS

2-12-16 Joto-ku, Osaka-city 536



しまだ かずこ
嶋田 和子 Kazuko Shimada

アトリエ 積

〒179 東京都練馬区光が丘7-3-4-404

Tel. 03-939-8522

Fax. 03-939-8522

ATELIER BAKU

7-3-4-404 Hikarigaoka, Nerima-ku, Tokyo 179



しもむら ひろし
下村 浩 Hiroshi Shimomura

JR東日本開発事業本部

〒100 東京都千代田区丸の内1-6-5

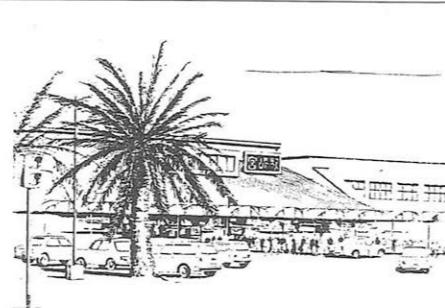
Tel. 03-212-6364

Fax. 03-212-6356

JR HIGASHI NIHON

1-6-5 Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo 100

▶異業種の方々といろいろな話をしてみたいと思っています。



しょうじ すみこ
庄司 澄子 Sumiko Shoji

株潤建築工房

〒983 宮城県仙台市宮城野区清水沼1-1-12

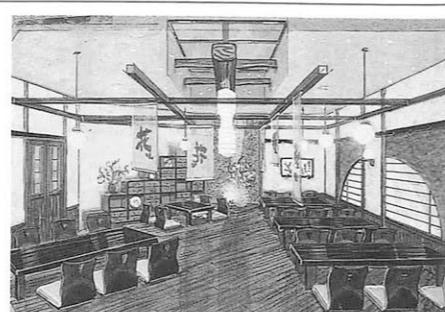
Tel. 022-293-4502

Fax. 022-293-4547

JUN ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE

1-1-12 Shimizunuma, Miyagino-ku, Sendai-city, Miyagi 983

▶好奇心が強い



しらい ひでお
白井 秀夫 Hideo Shirai

白井パースハウス

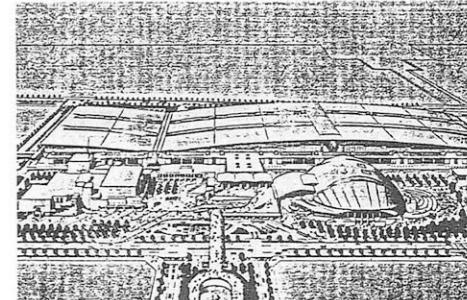
〒351-01 埼玉県和光市本町31-8-213

Tel. 0484-65-1615

Fax. 0484-65-1615

SHIRAI PERS HOUSE

31-8-213 Honcho, Wako-city, Saitama 351-01



しらかわ まさゆき
白川 雅之 Masayuki Shirakawa

有白川設計室

〒460 愛知県名古屋市中区丸の内1-2-9

Tel. 052-202-1773

Fax. 052-202-1773

SHIRAKAWA DESIGN ROOM

1-2-9 Marunouchi, Naka-ku, Aichi 460

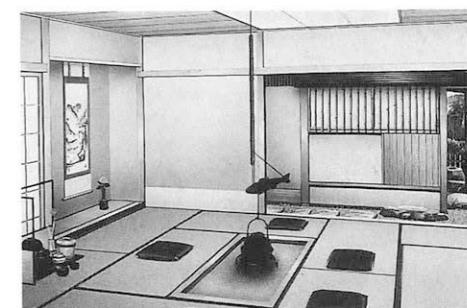


しんじ りゅういち
進士 龍一 Ryuichi Shinzi

〒113 東京都文京区本駒込5-67-1 クレール駒込511

Tel. 03-943-8345

511 Clair Komagome, 5-67-1 Hon-Komagome, Bunkyo-ku, Tokyo 113



すなやま ふみのり
砂山 文則 Fuminori Sunayama

有サン・レンダリング

〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-8-5

Tel. 03-793-7391

Fax. 03-793-7393

SUN RENDERING CO., LTD.

2-8-5 Ebisu-minami, Shibuya-ku, Tokyo 150



すわ としひろ
諏訪 利弘 Toshihiro Suwa

スワ・デザイン

〒371 群馬県前橋市南町2-18-15

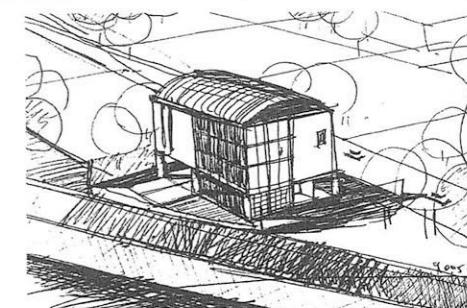
Tel. 0272-23-3855

Fax. 0272-23-3855

SUWA DESIGN

2-18-15 Minami-cho, Maebashi-city, Gunma 371

▶1958年群馬県佐波郡生まれ／1978年東京デザインアカデミー卒業／同年㈱亦野建築設計事務所入社／1982年、スワデザイン設立。現在に至る。



せきぐち ふみお
関口 文夫 Humio Sekiguchi

株ケイアート

〒181 東京都三鷹市下連雀3-41-14-701

Tel. 0422-49-5455

Fax. 0422-49-5455

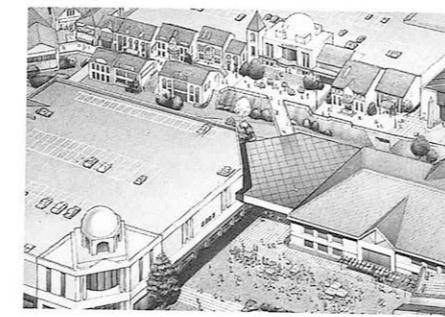
KEI ART

3-41-14-701 Shimorenjaku, Mitaka-city, Tokyo 181



瀬崎 和長 Kazunaga Sezaki

エアスタジオ
〒133 東京都江戸川区本一色町1-2-13
Tel.03-654-2730
Fax.03-654-2730
AIR STUDIO
1-2-13 Hon-Isshiki-cho, Edogawa-ku, Tokyo 133



添田 寿太郎 Jutaro Soeta

〒963-01 福島県郡山市安積町荒井字鎌ヶ池7-5
Tel.0249-45-9714
Fax.0249-45-9714
7-5 Arai Aza-Yarigaike, Asakamachi, Koriyama-city, Fukushima 963-01



高崎 千鶴子 Chizuko Takasaki

株アーキサイト
〒060 北海道札幌市中央区南3条西12 ダイアパレス南3条401号
Tel.011-281-2738/271-7393
Fax.011-281-2738
ARCHISIGHT CO., LTD.
401 Diapalace, 12 Minami 3 jyo Nishi, Chuo-ku, Sapporo-city, 060



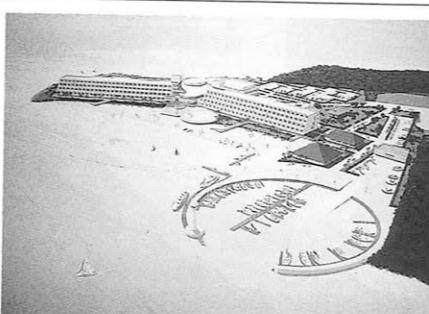
高橋 信男 Nobuo Takahashi

高橋レンダリング事務所
〒980 宮城県仙台市青葉区上杉3-4-7 山田アパート201
Tel.022-262-8040
Fax.022-262-8032
TAKAHASHI RENDERING OFFICE
3-4-7 Uesugi, Aoba-ku, Sendai-city, Miyagi 980
►もっとうまいペースやさんになれたらいいなと思います。



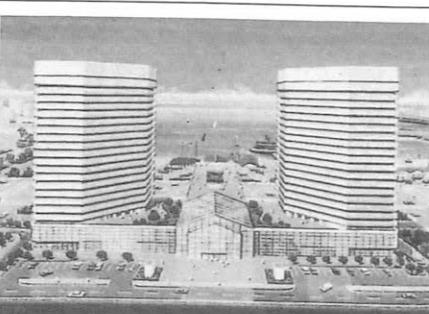
高橋 博幸 Hiroyuki Takahashi

タカハシ デザイン スタジオ
〒166 東京都杉並区阿佐谷北3-42-16-202
Tel.03-223-1840
TAKAHASHI DESIGN STUDIO
3-42-16-202 Asagaya-kita, Suginami-ku, Tokyo 166



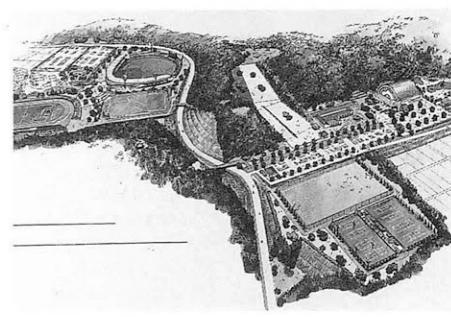
田中 啓子 Keiko Tanaka

株式会社 あおやま組
〒107 東京都港区北青山3-8-3-101
Tel.03-498-3507~8
Fax.03-498-3509
AOYAMAGUMI CO.
3-8-3-101 Kita-Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107



谷内 純美 Sumi Taniuchi

タニウチヒルズ
〒158 東京都世田谷区瀬田2-32-17-205
Tel.03-707-5264
Fax.03-707-5247
TANIUCHI HILLS
2-32-17-205 Seta, Setagaya-ku, Tokyo 158



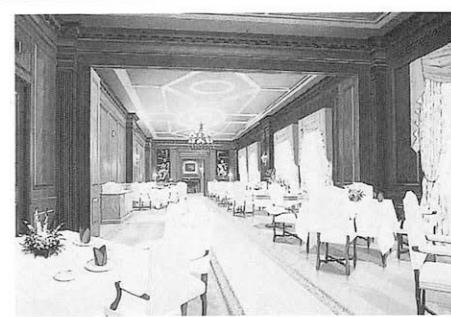
谷口 忠 Tadashi Taniguchi

清水建設株式会社
〒104 東京都中央区京橋2-16-1
Tel.03-535-4111
Fax.03-535-0998
SHIMIZU CORPORATION
2-16-1 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104



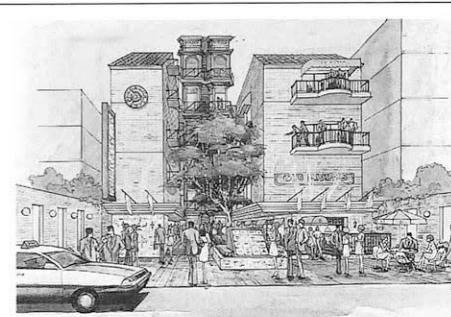
種橋 重次 Shigeji Tanehashi

種橋建築設計事務所
〒248 神奈川県鎌倉市腰越3-32-27
Tel.0467-32-2045
Fax.0467-32-2045
TANEHASHI ARCHITECT & ASSOCIATES
3-32-27 Koshigoe, Kamakura-city, Kanagawa 248



譚 少芝 Shauji Tan

〒273 千葉県船橋市行田3-2-16-410
Tel.0474-39-7243
3-2-16-410 Gyoda, Funabashi-city, Chiba 273
►一生懸命頑張って、国際的な一流デザイナーを目指す。



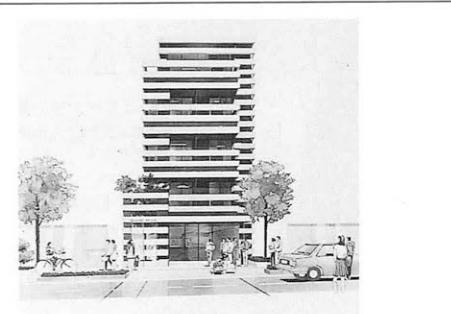
檀 上 則行 Noriyuki Danjyo

檀上バース・スタジオ
〒179 東京都練馬区水川台3-39-11-305
Tel.03-991-7606
Fax.03-991-7606
PERS STUDIO DANJYO
3-39-11-305 Hikawadai, Nerima-ku, Tokyo 179
►1948年広島生まれ／武蔵野美大卒／1989年鹿島建設退社後、フリーランス



丹野 昌子 Akiko Tanno

アトリエ タンノ
〒162 東京都新宿区早稲田鶴巣町566-403
Tel.03-207-1104
Fax.03-207-1104
ATELIER TANNO
566-403 Waseda-tsurumaki-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162





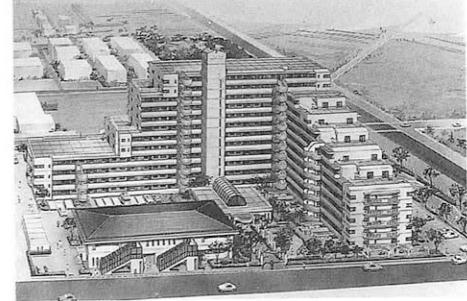
ちば みのる
千葉 稔 Minoru Chiba

(有)千葉稔建築設計事務所
〒170 東京都豊島区駒込3-23-14-1003
Tel.03-576-3113
Fax.03-576-1987
MINORU CHIBA ARCHITECT & ASSOCIATES
3-23-14-1003 Komagome, Toshima-ku, Tokyo 170
▶山藤章二似顔絵塾特待生／一級建築士



寺川 昌子 Masako Terakawa

パース・スタジオ・モノ
〒151 東京都渋谷区幡ヶ谷1-30-1-830
Tel.03-467-8960
Fax.03-485-1864
PERS STUDIO MONO
1-30-1-830 Hatagaya, Shibuya-ku, Tokyo 151
▶京都府京都市生れ／武蔵野美術大学造形学部芸能デザイン科卒業／1981年独立



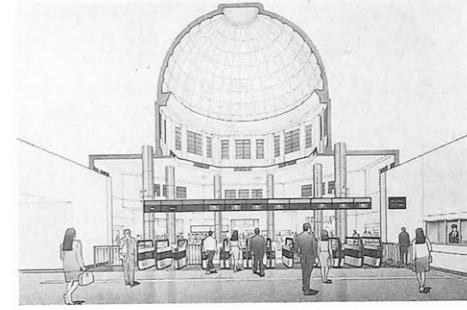
ちゅう ばち さちこ
中鉢 幸子 Sachiko Chubachi

(有)AZプロジェクト
〒005 北海道札幌市南区石山563
Tel.011-591-1683
Fax.011-591-1683
AZ
563 Ishiyama, Minami-ku, Sapporo-city, Hokkaido 005
▶北海道のいもおばさんです。



てる や てるみつ
照屋 輝光 Terumitsu Teruya

株ジェイアール東日本建築設計事務所
〒151 東京都渋谷区代々木2-2-6
Tel.03-5371-3381
Fax.03-5371-3387
JR EAST DESIGN CORPORATION
2-2-6 Yoyogi, Shibuya-ku, Tokyo 151



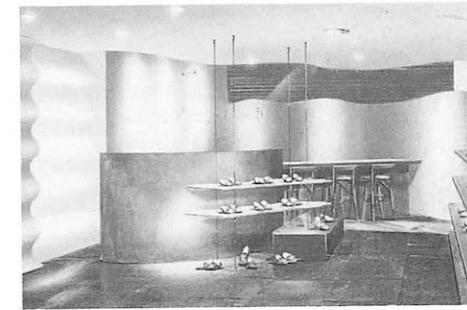
つじもと さとひろ
辻本 達廣 Satohiro Tsujimoto

株辻本デザイン事務所
〒543 大阪市天王寺区烏ヶ辻1-3-14
Tel.06-779-9111
Fax.06-779-9121
TSUJIMOTO DESIGN OFFICE CO., LTD.
1-3-14 Karasugatsuji, Tennoji-ku, Osaka-city 543



とくなが ゆみ
徳永 有美 Yumi Tokunaga

株東京宣美
〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-35-3
Tel.03-404-0177
Fax.03-408-9668
3-35-3 Sendagaya, Shibuya-ku, Tokyo 151
▶1958年生まれ／日本デザイン専門学校にてグラフィック専攻／現在、株東京宣美パース室長



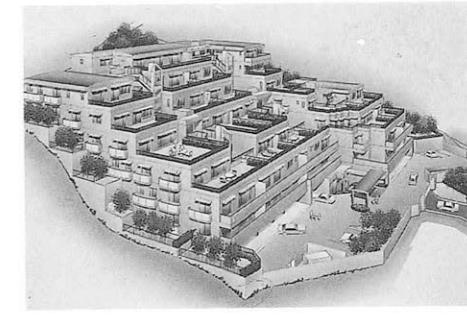
つだ つとむ
津田 勉 Tsutomu Tsuda

アップルデザイン研究所
〒541 大阪市中央区瓦町1-7-3
Tel.06-231-7128
Fax.06-231-7139
APPLE DESIGN LABORATORY
1-7-3 Kawara-machi, Chuo-ku, Osaka-city 541



とちき まもる
桝木 守 Mamoru Tochiki

SUN RORAN
〒542 大阪市中央区松屋町8-3
Tel.06-764-6230
Fax.06-764-6230
SUN RORAN
8-3 Matsuyamachi, Chuo-ku, Osaka-city 542



てらうち ひでお
寺内 英夫 Hideo Terauchi

鹿島建設株式会社
〒107 東京都港区赤坂6-5-30
Tel.03-5561-2462
Fax.03-5561-2463
KAJIMA CORPORATION
6-5-30 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107



どてうち やすお
堤内 康雄 Yasuo Doteuchi

パース工房II
〒151 東京都渋谷区富ヶ谷2-14-2
Tel.03-469-7576
Fax.03-469-7576
PERS KOHBO II
2-14-2 Tomigaya, Shibuya-ku, Tokyo 151
▶1952年東京生まれ、日本大学芸術学部卒業、(株)ハコ・スタジオを経て1981年独立後1986年にパース工房II設立



てらおか ちえこ
寺岡 智恵子 Chieko Teraoka

デン・プレゼンテーション研究所
〒270 千葉県松戸市金ヶ作408-115 ライオンズマンション常磐平802
Tel.0473-88-6640
Fax.0473-88-6679
DEN PRESENTATION LABORATORY
802 Lionzu Mansion Tokiwadaira, 408-115 Kanegasaku, Matsudo-city, Tiba 270



ながお えみこ
長尾 恵美子 Emiko Nagao

パース・スタヂオ
〒270 千葉県松戸市新松戸7-373
Tel.0473-45-0879
Fax.0473-45-0879
PERS STUDIO
7-373 Shin-matsudo, Matsudo-city, Chiba 270





なかかど しづこ
中門 静子 Shizuko Nakakado

レンダリング中門
〒180 東京都武蔵野市緑町3-4-16-305
Tel. 0422-55-1145
Fax. 0422-55-1145
RENDERING NAKAKADO
3-4-16-305 Midori-cho, Musashino-city, Tokyo 180
►誠実、自然を愛する。



はしもと ひであき
橋本 秀章 Hideaki Hashimoto

橋本デザイン事務所
〒540 大阪市中央区内淡路町1-2-9 中谷ビル501
Tel. 06-944-0333
Fax. 06-943-9799
HASHIMOTO DESIGN OFFICE
1-2-9 Uchiwajimachi, Chuo-ku, Osaka-city 540



なかの としあき
中野 俊章 Toshiaki Nakano

清水建設株式会社
〒104 東京都中央区京橋2-16-1
Tel. 03-535-4111
Fax. 03-535-0998
SHIMIZU CORPORATION
2-16-1 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104



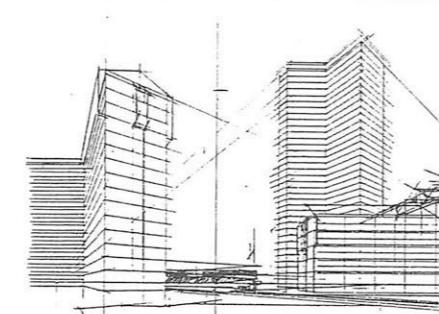
はせがわ かずお
長谷川 和男 Kazuo Hasegawa

株ケーエーデザイン
〒460 愛知県名古屋市中区丸の内3-7-25 ACAビル
Tel. 052-971-3171
Fax. 052-971-3250
K.A DESIGN CORPORATION
ACA Bldg., 3-7-25 Marunouchi, Naka-ku, Nagoya-city, Aichi 460



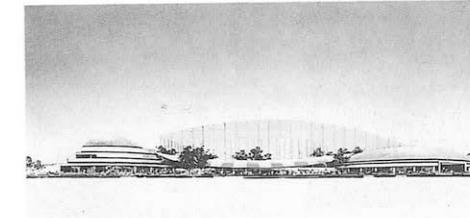
なかむら かつひこ
中村 勝彦 Katsuhiko Nakamura

プロト建築事務所
〒113 東京都文京区本郷2-40-13 中林ビル401
Tel. 03-811-9629
Fax. 03-818-5405
PROTO ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE
401 Nakabayashi Bldg., 2-40-13 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113



はせがわ ひさひこ
長谷川 久彦 Hisahiko Hasegawa

アトリエ ハセガワ
〒951 新潟市水道町2-5932-455
Tel. 025-228-4600
Fax. 025-228-4600
ATELIER HASEGAWA
2-5932-455 Suido-cho, Niigata-city, Niigata 951
►1946年新潟生まれ／新潟県立工業高校卒業／大成建設北信越支店入社／1969年独立してアトリエ設立、現在に至る。



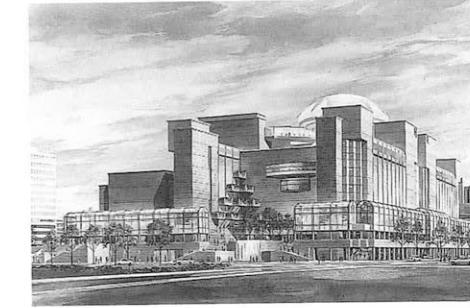
にしかわ ひでよ
西川 日出世 Hideyo Nishikawa

アトリエ TOKI
〒541 大阪市中央区平野町4-7-8 アベニュー淀屋橋507
Tel. 06-202-2755
Fax. 06-202-2755
ATELIER TOKI
507 Avenue Yodoyabashi, 4-7-8 Hirano-cho, Chuo-ku, Osaka-city 541



はたなか けいたろう
畠中 啓太郎 Keitaro Hatanaka

アートボックス
〒166 東京都杉並区和田3-3-10 Park. M. Wada 208
Tel. 03-317-0792
Fax. 03-317-0792
ART-BOX
208 Park.M.Wada, 3-3-10 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166
►1959年三重県名張市生まれ／三重県立上野工業高校卒業／㈱辻本デザイン、㈱ビジュアルアートセンターを経て1989年、アートボックスを設立



のだ ようこ
野田 容子 Yoko Noda

〒466 愛知県名古屋市昭和区塩付通3-1-5-607
Tel. 052-842-0680
Fax. 052-842-0680
3-1-5-607 Shiotukedori, Showa-ku, Nagoya-city, Aichi 466



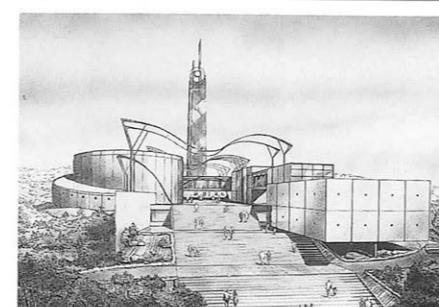
ばば さとし
馬場 智士 Satoshi Baba

株式会社 新井組
〒662 兵庫県西宮市池田町9-18
Tel. 0798-26-3111
Fax. 0798-23-5266
ARAI-GUMI LTD.
9-18 Ikeda-cho, Nishinomiya-city, Hyogo 662
►苦労してもあまりやせないタイプです。大先輩方を目指してがんばります。



はぎつか ともこ
萩塚 智子 Tomoko Hagitsuka

有限会社 萩パース・ルーム
〒115 東京都渋谷区富ヶ谷2-44-12-302
Tel. 03-468-1144
Fax. 03-468-1144
CO., LTD. HAGI PERS ROOM
2-44-12-302 Tomigaya, Shibuya-ku, Tokyo 115
►自由



はやし みつや
林 光也 Mitsuya Hayashi

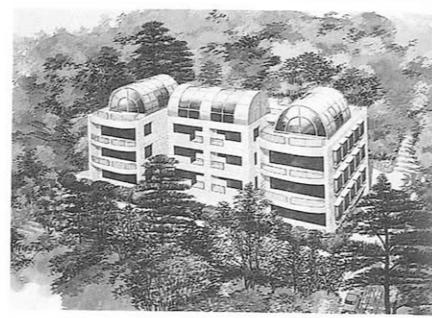
エーアンドエムパーススタジオ
〒136 東京都江東区亀戸4-52-12-802
Tel. 03-637-2641
Fax. 03-637-2641
A AND M PERSPECTIVE STUDIO
4-52-12 Kameido, Koto-ku, Tokyo 136
►1952年青森県八戸市生まれ／東京造形大学工業デザイン科中退／1977年エーアンドエムパーススタジオ設立、現在に至る。





ひらはら あきこ
平原 明子 Akiko Hirahara

株式会社 アキ・アトリエ
〒156 東京都世田谷区上北沢5-43-1-307
Tel.03-304-3968
AKI-ATELIER LTD.
5-43-1-307 Kamikitazawa, Setagaya-ku, Tokyo 156



ふか や たけし
深谷 彪 Takeshi Fukaya

〒248 神奈川県鎌倉市材木座3-17-8
Tel.0467-25-2850
3-17-8 Zaimokuza, Kamakura-city, Kanagawa 248



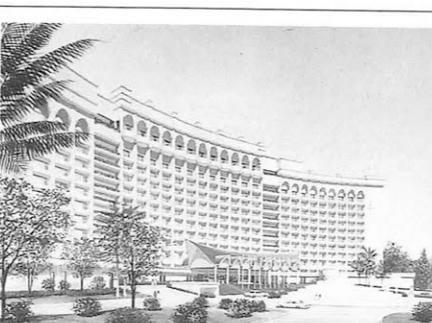
ふくしま のぼる
福島 昇 Noboru Fukushima

有限会社 アトリエ・フクシマ
〒141 東京都品川区北品川5-6-16-201
Tel.03-447-0609
ATELIER FUKUSHIMA INC.
5-6-16-201 Kita-Shinagawa, Shinagawa-ku, Tokyo 141
▶横浜市生まれ／一級建築士



ふくだ ひろし
福田 寛 Hiroshi Fukuda

株フクダデザイン
〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-12
Tel.03-354-1556
Fax.03-341-8670
FUKUDA DESIGN
5-21-12 Sendagaya, Shibuya-ku, Tokyo 151
▶頑張っています。元気です。



ふじむら みちこ
藤村 美千子 Michiko Fujimura

〒465 愛知県名古屋市名東区極楽5-127
Tel.052-703-9594
Fax.052-703-9594
5-127 Gokuraku, Meito-ku, Nagoya-city, Aichi 465
▶おっちょこちよいでのたまに10階建を11階にまちがえて書く事も…。でも仕事も遊びも本気でとりくんでます。



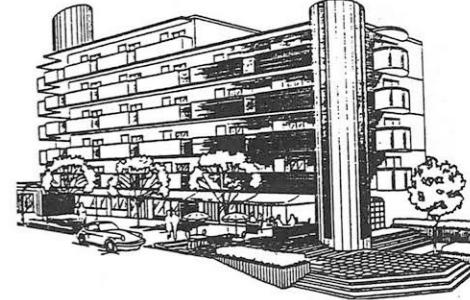
ふじもと まさとし
藤本 正敏 Masatoshi Fujimoto

株式会社 建築設計フジモト
〒671-02 兵庫県姫路市飾東町庄19-7
Tel.0792-53-1532
Fax.0792-53-1530
ARCHITECTS & ENGINEERS FUJIMOTO CO., LTD.
19-7 Sho, Shikito-cho, Himeji-city, Hyogo 671-02
▶何にでも興味を持ち、調べるのが大好きな187cmの長身者です。



ふるかわ しゅんいちろう
古川 俊一郎 Shunichiro Furukawa

株式会社 長谷エコーポレーション(大阪エンジニアリング事業部)
〒541 大阪市中央区平野町4-2-18
Tel.06-203-2604
Fax.06-203-1784
HASEKO CORPORATION
4-2-18 Hiranomachi, Chuo-ku, Osaka-city, Osaka 541



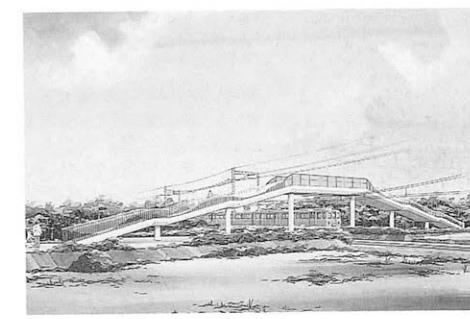
ふるかわ つねお
古川 常夫 Tsuneo Furukawa

有限会社 エスディープラン
〒460 愛知県名古屋市中区大須4-13-46 ウイストリアビル703号
Tel.052-261-5347
Fax.052-251-8339
SD-PLAN COMPANY
4-13-46 Osu, Naka-ku, Nagoya-city, Aichi 460
▶明朗・努力型人間



ほりぐち のりつぐ
堀口 憲嗣 Noritsugu Horiguchi

堀口デザイン事務所
〒543 大阪市天王寺区生玉町11-29-815
Tel.06-772-5253
Fax.06-772-7932
HORIGUCHI DESIGN OFFICE
11-29-815 Iketama-cho, Tennoji-ku, Osaka-city 543



まつたか かずみ
松鷹 一海 Kazumi Matsutaka

松鷹一海デザイン設計事務所
〒102 東京都千代田区二番町1
Tel.03-264-7055
MATSUTAKA KAZUMI DESIGN ARCHITECT OFFICE
1 Niban-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 102
▶1946年福岡県福岡市生まれ／武蔵野美術大学芸能デザイン科卒業／KKボスコーポレーション社長・KK軽井沢ホームズ社長・ボスコーポレーション USA 社長・軽井沢・六本木・ハワイと不動産・建築設計施工、レストラン経営。



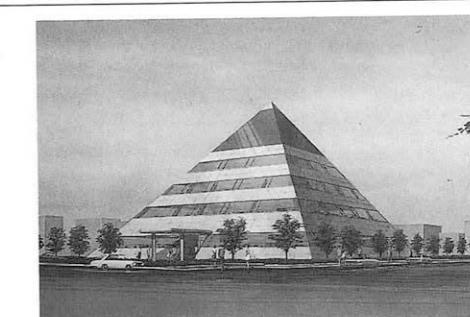
まつなが しげる
松永 茂 Shigeru Matsunaga

株式会社 日建設計名古屋
〒460 愛知県名古屋市中区栄4-15-32
Tel.052-261-6131
Fax.052-261-6136
NAGOYA NIKKEN SEKKEI LTD.
4-15-32 Sakae, Naka-ku, Nagoya-city, Aichi 460
▶誠実



まつむら のりや
松村 篤也 Noriya Matsumura

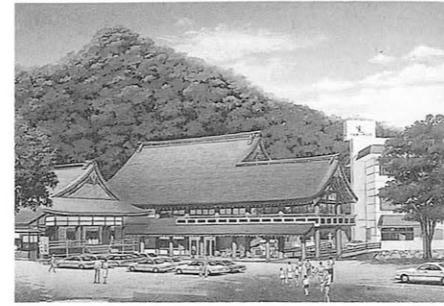
株レンダリング ウルフ
〒542 大阪市中央区西心斎橋1-13-5 サンダーコートビル1002号
Tel.06-243-3717
Fax.06-243-2717
RENDERING WOLF CO., LTD.
1-13-5 Nishi-Shinsaibashi, Chuo-ku, Osaka-city 542
▶長身短足・明快・出前迅速・好色肥満・猪突猛進・徹夜疲労





みたに ともひろ
三谷 知弘 Tomohiro Mitani

三谷デザイン建築事務所
〒462 愛知県名古屋市北区敷島町63
Tel.052-912-2912
Fax.052-912-2912
MITANI DESIGN ARCHITECT OFFICE
63 Shikishima-cho, Kita-ku, Nagoya-city, Aichi 462
▶ Simplicity, Sincerity, Sensibility



みやむら みきこ
宮村 幹子 Mikiko Miyamura

〒194 東京都町田市高ヶ坂1038 ピクトリアハイツ町田2-12
Tel.0427-24-0580
Fax.0427-24-0580

2-12 Victoria Heits Machida, 1038 Kogasaka, Machida-city, Tokyo 194
▶1948年富山市生まれ／武蔵野美術短期大学芸能デザイン科卒業／1969年～76年乃村工藝社デザイン部に所属。1976年フリーとなり、現在に至る。



みちぞえ しゅういち
道添 秀一 Shuichi Michizoe

みちぞえベーススタジオ
〒271 千葉県松戸市南花島253-1 グリーンパーク205
Tel.0473-61-1854
MICHIZOE RENDERING STUDIO
205 G.P., 253-1 Minamihashima, Matsudo-city, Chiba 271
▶1952年鹿児島県生まれ／東京デザイナー学院・商業デザイン科卒業／朝日アド、三和広告社、日本クリエイティビティセンターを経て、57年以降フリー。



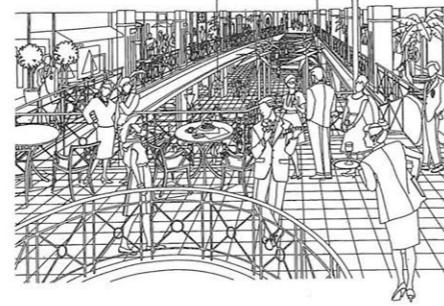
むとう あつみ
武藤 渥巳 Atsumi Muto

フリーランス
〒194 東京都町田市南成瀬1-2-1
Tel.0427-28-7068
FREE LANCE
1-2-1 Minaminaruse, Machida-city, Tokyo 194
▶1928年東京生まれ／日本大学理工学部卒／1960年テクニカルイラストレーターとして独立。現在、東京航空計器株式会社嘱託、東京デザイナー学院講師。



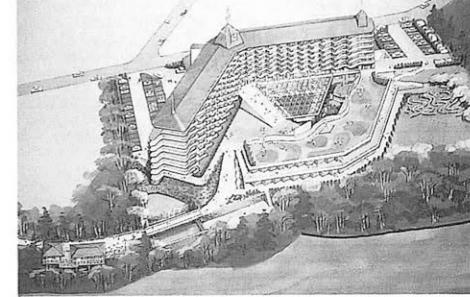
みとおか えいじ
水戸岡 鋭治 Eiji Mitooka

有ドーンデザイン研究所
〒173 東京都板橋区中丸町24-11 Mハウス201
Tel.03-955-2116
Fax.03-955-2117
DON DESIGN ASSOCIATES INC.
201 M-House, 24-11 Nakamaru-cho, Itabashi-ku, Tokyo 173



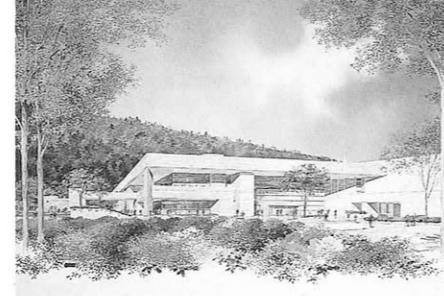
むらい けんすけ
村井 謙介 Kensuke Murai

謙スタジオデザイン事務所
〒198 東京都青梅市河辺町3-1092-8
Tel.0428-24-7760
Fax.03-350-6730(新宿)
KEN STUDIO DESIGN OFFICE
3-1092-8 Kabe-machi, Ohme-city, Tokyo 198
▶文武両道、面白・真面目人間



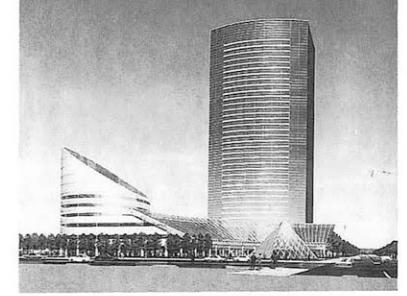
みなみ きよみ
南 几代美 Kiyomi Minami

株アール・エム
〒171 東京都豊島区高田2-18-15-329
Tel.03-984-4026
Fax.03-984-4026
R.M.
2-8-15-329 Takada, Toshima-ku, Tokyo 171



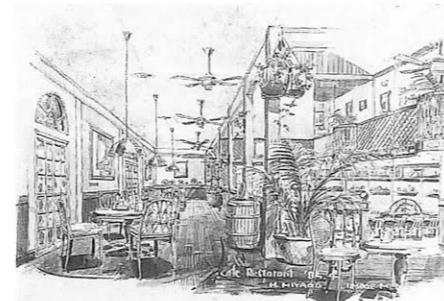
むらさき しげる
村崎 茂 Shigeru Murasaki

ムラサキ・ベース・ドローイング
〒272-01 千葉県市川市塩焼2-20 1-922
Tel.0473-96-7595
Fax.0473-96-7595
MURASAKI PERS DRAWING
1-922, 2-2-20 Shioyaki, Ichikawa-city, Chiba 272-01



みやご ひろし
宮後 浩 Hiroshi Miyago

株コラムデザインセンター
〒542 大阪市中央区南船場4-13-15
Tel.06-245-4631
Fax.06-245-4654
COLUMN DESIGN CENTER INC.
4-13-15 Minami-Senba, Chuo-ku, Osaka-city 542
▶なるようにしかならんけど精一杯頑張りまっせ。



むらやま ぜんじろう
村山 善次郎 Zenjiro Murayama

村山デザインスタジオ
〒275 千葉県習志野市谷津5-28-12
Tel.0474-75-4355
Fax.0474-78-2509
MURAYAMA DESIGN STUDIO
5-28-12 Yatsu, Narashino-city, Chiba 275



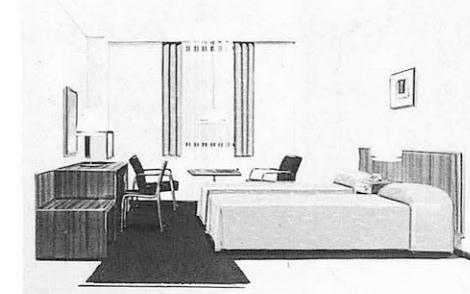
みやざき たけひこ
宮崎 岳彦 Takehiko Miyazaki

アトリエ・アルム
〒151 東京都渋谷区代々木1-13-9 アン・クロイワ501
Tel.03-375-2947
Fax.03-379-9065
ATELIER A.R.M.
1-13-9 Yoyogi, Shibuya-ku, Tokyo 151



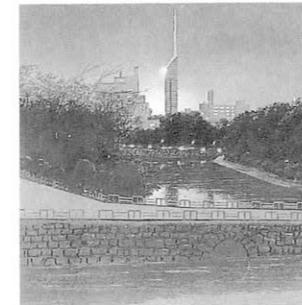
もり せいいち
森 聖一 Seiichi Mori

森聖一デザイン事務所
〒560 豊中市北緑丘3-1-10-202
Tel.06-854-4392
Fax.06-854-4038
SEIICHI MORI DESIGN OFFICE
3-1-10-202 Kita-Midorigaoka, Toyonaka-city, Osaka 560
▶ロングディスタンスのスイミングに連日励んでいます。

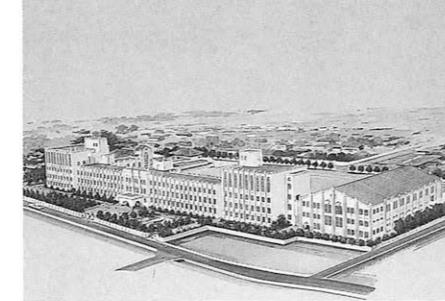




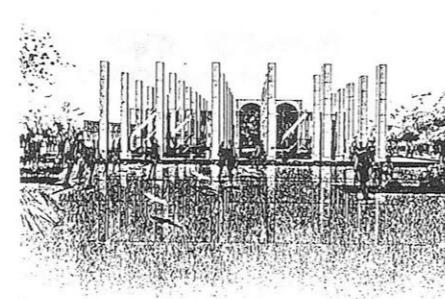
もり よしのぶ
森 芳信 Yoshinobu Mori
株式会社 東京技術センター・バース室
〒112 東京都文京区後楽1-4-27
Tel.03-813-3361
Fax.03-817-7070
NIKKEN SEKKEI LTD.
1-4-27 Koraku, Bunkyo-ku, Tokyo 112



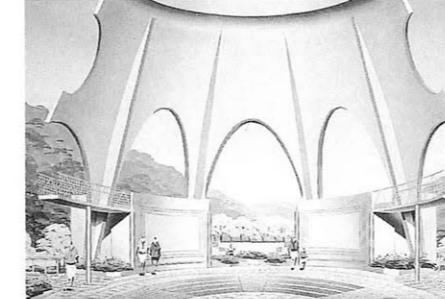
もりた ただやす
森田 忠安 Tadayasu Morita
有限会社 モリタ建築デザイン
〒780 高知市大谷106-4
Tel.0888-40-3515
Fax.0888-43-4188
LIMITED COMPANY MORITA ARCHITECTURAL DESIGN
106-4 Otani, Kochi-city 780
▶人好のあかんたれ。



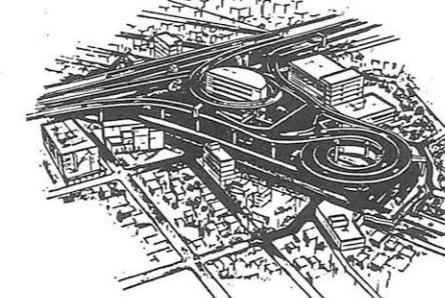
もりた のりひろ
森田 奕広 Norihiro Morita
株式会社 森田工芸MC事業部内
〒108 東京都港区港南3-8-1 森永乳業港南ビル8F
Tel.03-5479-2166
Fax.03-5479-2294
NOMURA CO., LTD.
3-8-1 Konan, Minato-ku, Tokyo 108
▶人好のあかんたれ。



もりやま まさひこ
森山 雅彦 Masahiko Moriyama
TERRA アート工房
〒550 大阪市西区新町1-8-1 スワビル
Tel.06-536-0291
Fax.06-536-0923
1-8-1 Shinmachi, Nishi-ku, Osaka-city 550
▶B型人間



やすい せいいち
安井 誠一 Seiichi Yasui
デザインスタジオ れい
〒462 愛知県名古屋市北区楠町味鋺御林25
Tel.052-901-6677
Fax.052-902-0046
DESIGN STUDIO REI
25 Ajima Ohayashi, Kusunoki-cho, Kita-ku, Nagoya-city, Aichi 462
▶自然派志向。趣味はランドナー（ツーリング自動車）を駆ってのスケッチ旅行。



やすかわ しょうじ
安川 昭二 Shoji Yasukawa
ヤスカワレンダリング
〒272-01 千葉県市川市塩浜4-2-11-702
Tel.0473-99-0297
Fax.0473-99-0297
YASUKAWA RENDERING
4-2-11-702 Shiohama, Ichikawa-city, Chiba 272-01



やなぎだ えみこ
柳田 恵美子 Emiko Yanagida
アトリエ she
〒107 東京都港区南青山6-1-6-207
Tel.03-400-0371
Fax.03-498-1623
ATELIER SHE
207-6-1-6, Minami-Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107
▶武蔵野美術大学卒業／株式会社建築研究所を経て、アトリエ she



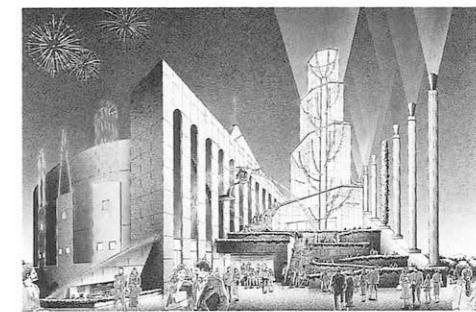
やまが ひろあき
山我 浩章 Hiroaki Yamaga
清水建設株式会社
〒104 東京都中央区京橋2-16-1
Tel.03-535-4111
Fax.03-535-0998
SHIMIZU CORPORATION
2-16-1 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104



やまがし かつじ
山岸 和治 Katsuji Yamagishi
株式会社 竹中工務店
〒104 東京都中央区銀座8-21-1
Tel.03-542-7100
Fax.03-542-7744
TAKENAKA CORPORATION
8-21-1 Ginza, Chuo-ku, Tokyo 104



やましろ よしひこ
山城 義彦 Yoshihiko Yamashiro
株式会社 山城デザイン
〒150 東京都渋谷区恵比須西2-3-15
Tel.03-770-1501
YAMASHIRO DESIGN INC.
2-3-15 Ebisu-nishi, Shibuya-ku, Tokyo 150
▶株式会社山城デザイン代表取締役・東京バース造形学院学院長



やまだ くにお
山田 久仁夫 Kunio Yamada
株式会社 山田デザイン事務所
〒466 愛知県名古屋市昭和区南山町9-1
Tel.052-833-9880
Fax.052-833-9880
YAMADA DESIGN OFFICE CO.
9-1 Nanzan-cho, Showa-ku, Nagoya-city, Aichi 466



やまだ のりお
山田 紀夫 Norio Yamada
有限会社 ヤマダデザインルーム
〒221 神奈川県横浜市神奈川区台町16-4 神台ハイム
Tel.045-312-0961
Fax.045-312-4171
YAMADA DESIGN ROOM CORPORATION
Jindai haim, 16-4 Daimachi, Kanagawa-ku, Yokohama-city, Kanagawa 220
▶自分としてはとりわけ才能もあるわけでなし平凡な人物なのに、何處か幸運の星の下に生まれて来たようで、いつもラッキーな人生を歩んでいる。皆様にはただただ感謝。





やまと ゆみこ
大和 祐美子 Yumiko Yamato

ビーアイズ
〒153 東京都目黒区目黒2-4-28-1203
Tel.03-791-0568
Fax.03-791-0568
B/EYES
2-4-28-1203 Meguro, Meguro-ku, Tokyo 153



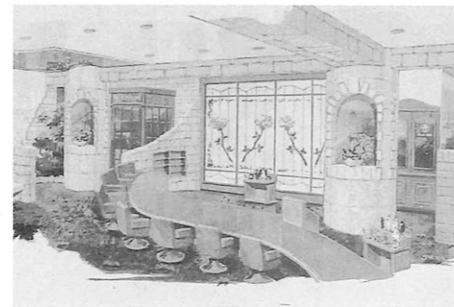
やまなか りつお
山中 律男 Ritsuo Yamanaka

Y.P.S. ヤマナカパーススタジオ
〒106 東京都港区赤坂2-12-13 ぬのうらビル5F
Tel.03-586-6349
Y.P.S.
2-12-13 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 106



やまもと やすのり
山本 靖則 Yasunori Yamamoto

ヤマデザインオフィス株
〒150 東京都渋谷区渋谷3-6-4 金王高桑ビル1101
Tel.03-407-0465
Fax.03-486-9504
YAMA DESIGN OFFICE CO., LTD.
1101 Konnou Takakuwa Bldg., 3-6-4 Shibuya, Shibuya-ku, Tokyo
150



やまもり ただし
山森 正 Tadashi Yamamori

山森建築設計事務所
〒491 愛知県一宮市丹陽町多加木1871-2
Tel.0586-24-1707
Fax.0586-24-1707
YAMAMORI ARCHITECT
1871-2 Takagi, Tanyo-cho, Ichinomiya-city, Aichi 491



よしざき としひさ
吉崎 俊久 Toshihisa Yoshizaki

フリーランス

FREE LANCE
▶1948年埼玉県大宮市生まれ／県立大宮工業高校建築科卒業／1975年鹿島建設退社後フリー。現在鹿島建設設計本部契約。



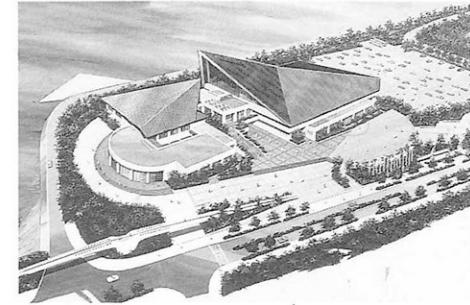
よしだ かつよし
吉田 勝義 Katsuyoshi Yoshida

㈲建築パース事務所キャップ
〒460 愛知県名古屋市中区葵1-27-37 新栄シティハイツ606
Tel.052-937-7616
Fax.052-937-7624
KENCHIKU PERS OFFICE CAP
1-27-37 Aoi, Naka-ku, Nagoya-city, Aichi 460
▶なまけ者デス



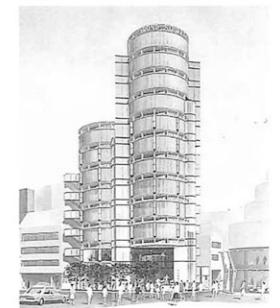
よしだ ともなり
吉田 友則 Tomonori Yoshida

アトリエインジゴ
〒460 名古屋市中区丸の内2-15-5
Tel.052-204-2145
Fax.052-204-2146
ATELIER INDIGO
2-15-5 Marunouchi, Naka-ku, Nagoya 460



よしだ ふじお
吉田 富士夫 Fujio Yoshida

パース・プランニング
〒533 大阪市東淀川区瑞光4-7-11 本多ビル301号
Tel.06-327-4947
Fax.06-327-4947
PERS PLANNING
4-7-11 Zuko, Higashiyodogawa-ku, Osaka-city, Osaka 533



よしたに かつみ
芳谷 勝瀬 Katsumi Yoshitani

株日建設計
〒541 大阪市中央区高麗橋4-6-2
Tel.06-203-2361
Fax.06-227-1533
NIKKEN SEKKEI CO., LTD.
4-6-2 Kouraibashi, Chuo-ku, Osaka-city 541
▶1943年奈良県吉野で出生／日建設計・大阪技術センター技術長



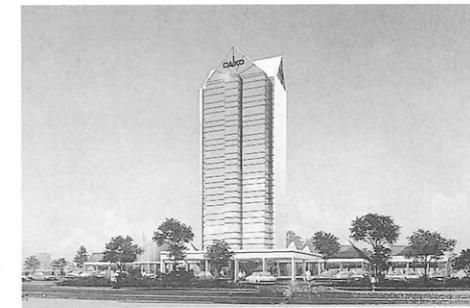
よしの あきら
芳野 明 Akira Yoshino

よしのデザイン事務所
〒532 大阪市淀川区西中島4-8-20-102
Tel.06-303-5448
Fax.06-303-5448
YOSHINO DESIGN OFFICE
4-8-20-102 Nishinakajima, Yodogawa-ku, Osaka-city, Osaka 532
▶何でもやりたがる方ですが仕事が第一の方で、よう遊び切れない男。趣味はスキー・ソシアルダンス・ラジコン飛行機製作・油絵 etc.



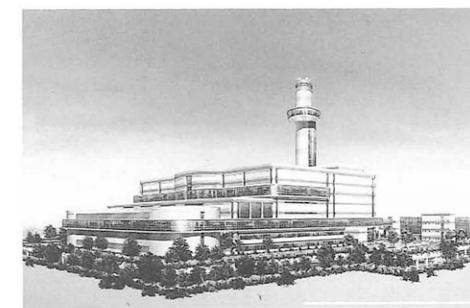
よしむら いさお
吉村 勲 Isao Yoshimura

アトリエノヴァ
〒641 和歌山市和歌浦西1-4-51 セジュール雑賀203号
Tel.0734-45-5871
Fax.0734-45-5871
ATELIER NOVA
203 Sejuru Saika, 1-4-51 Wakauranishi, Wakayama-city 641
▶つかれた40男の趣味の多い田舎者



よそざわ たけふみ
四十澤 健文 Takefumi Yosozawa

アートスタジオ画楽
〒100 東京都千代田区永田町2-17-5-412
Tel.03-592-0810
ART STUDIO GALLAC
2-17-5-412 Nagata-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 100
▶1950年東京生まれ／'73～'85年伊藤喜三郎建築研究所勤務。'85年4月アートスタジオ画楽を設立



◆準会員



よねくら みき
米倉 三貴 Miki Yonekura

アトリエ・ライト
〒156 東京都世田谷区松原6-31-7-101
Tel.03-321-2424
Fax.03-327-9308
ATELIER LIGHT
6-31-7-101 Matsubara, Setagaya-ku, Tokyo 156



あいざわ えみこ
相沢 恵美子 Emiko Aizawa

アイザワ デザイン
〒177 東京都練馬区関町南1-9-45-104
Tel.03-5991-0432
Fax.03-5991-0432
AIZAWA DESIGN
1-9-45-104 Sekimachi-minami, Nerima-ku, Tokyo 177
►岩手県盛岡市出身／岩手大学特設美術科卒業／「世界中を旅してみたい」／趣味はスキー・旅行・バードカービング・陶芸



いぐち えいいち
猪口 栄一 Eiichi Iguchi

有アトリエ ポノム
〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-9-24-319
Tel.03-405-5852
Fax.03-405-5865
ATELIER BONHOMME
4-9-24-319 Sendagaya, Shibuya-ku, Tokyo 151



いちば ふじこ
一場 富士子 Fujiko Ichiba

フリーランス
〒359 埼玉県所沢市向陽町2104-70
Tel.0429-23-2720
FREE LANCE
2104-70 Koyo-cho, Tokorozawa-city, Saitama 359



えんどう かずみ
遠藤 一己 Kazumi Endo

エンドウ・レンダリング スタジオ
〒211 神奈川県川崎市中原区下小田中437-2-105
Tel.044-777-9086
Fax.044-777-9086
ENDO RENDERING STUDIO
437-2-105 Shimokodanaka, Nakahara-ku, Kawasaki-city, Kanagawa 211
►1951年生まれ／岡山県立岡山朝日高等学校卒業



おおた しげこ
太田 成子 Shigeko Ohta

フリーランス
〒223 神奈川県横浜市港北区日吉本町2-16-20
Tel.045-563-0351
Fax.045-563-0351
FREE LANCE
2-16-20 Hiyoshihoncho, Kohoku-ku, Yokohama-city, Kanagawa 223
►好奇心をエネルギー源に、橋・歩道・公園など公共施設のデザイン、またハイテク商品のイメージ化などにも間口が広がっています。



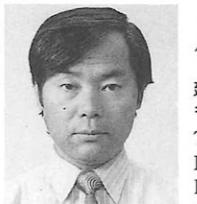
おがさわら しげる
小笠原 茂 Shigeru Ogasawara

プロデュース ドローイング フロム・ジー
〒166 東京都杉並区高円寺南3-6-10-301
Tel.03-315-4569
Fax.03-315-4569
PRODUCE DRAWING FROM g
3-6-10 Koenji-minami, Suginami-ku, Tokyo 166



おざわ かおり
小沢 香織 Kaori Ozawa

プロデュース ドローイング フロム・ジー
〒166 東京都杉並区高円寺南3-6-10-301
Tel.03-315-4569
Fax.03-315-4569
PRODUCE DRAWING FROM g
3-6-10 Koenji-minami, Suginami-ku, Tokyo 166



おのぎ つかさ
小野木 司 Tsukasa Onogi

建築造型
〒501-11 岐阜市中西郷436-30
Tel.0582-34-0554
Fax.0582-34-0554
KENCHIKU ZOKEI
436-30 Nakasaigo, Gifu-city, Gifu 501-11



わだ たくむ
和田 宅矛 Takumu Wada

有限会社 造研
〒430 静岡県浜松市野町218-1
Tel.0534-63-7637
Fax.0534-63-7633
ZOKEN CO.
218-1 Noguchi-cho, Hamamatsu-city, Shizuoka 430
►1950年生まれ／趣味はヨット・スキー



わたなべ こうじ
渡辺 廣史 Koji Watanabe

株式会社 竹中工務店
〒541 大阪市中央区本町4-1-13
Tel.06-252-1201
Fax.06-263-0705
TAKENAKA CORPORATION
4-1-13 Hon-machi, Chuo-ku, Osaka-city 541
►1949年名古屋市生まれ／名古屋造形芸術短期大学卒業／1971年竹中工務店名古屋支店設計部意匠課入社／1986年同社大阪本店設計部意匠課に転勤、現在に至る



おりい けん
折井 健 Olli Ken

M クリエイツ
〒380 長野市川合新田555
Tel.0262-21-1346
Fax.0262-21-1346
M CREATES
555 Kawaishinden, Nagano-city 380
►娘です。



かいふ けいこ
海部 啓子 Keiko Kaifu

アトリエ セピア
〒770 徳島市助任本町2-42
Tel.0886-53-3602
Fax.0886-26-3994
ATELIER SEPIA
2-42 Suketouhoncho, Tokushima-city 770



かわかみ ひろおみ
川上 裕臣 Hiroomi Kawakami

株ダイフク
〒105 東京都港区芝2-14-5
Tel.03-456-2231
Fax.03-456-2258
DAIFUKU CO., LTD.
2-14-5 Shiba, Minato-ku, Tokyo 105



こがさとし
古賀 哲 Satoshi Koga

フリーランス
〒494 愛知県尾西市起字与三ヶ巻44-1 尾西団地1-514
FREE LANCE
44-1 Yosagamaki, Okoshi, Bisai-city, Aichi 494

◆協賛者リスト

JARA 設立10周年記念事業に協賛くださいました皆様方、また資料の提供や掲載許可をくださいました設計者、設計事務所およびクライアントなどの皆様方に、誌面を借りてお礼を申し上げます。

◆設計事務所

株青島都市住宅設計室
浅井謙建築研究所
株雨宮建築設計事務所
砂子沢建築設計事務所
イマージュ建築企画設計株
上野山都市建築事務所
株S D企画設計研究所
有鎧建築工房
株金津一級建築士設計事務所
株環建築設計事務所
有K E Y建築模型
株久米建築事務所
株現代建築研究所
株佐藤総合計画
株サン・アキテクト
サンプロダクト株
株シグマ開発計画研究所
有翔建築設計事務所
株創元設計
株創造社
株創和設計事務所
タクト建築事務所
株中部
東芝ライテック株
有長島商業建築設計事務所
株日建設計
株日邦工芸
株ポリテクニック コンサルタンツ
松田・平田・坂本設計事務所
三菱地所株
株山下設計
株UG都市設計
株レーモンド建築設計事務所

西松建設株
株日産建設
株間組
株長谷工コーポレーション
村本建設株
Y・K・Kアーキテクチャルプロダクツ株

◆画材店等

株伊東屋
アートG21山田画材
株いづみや
梅田ガクブチ
蟹江ガクブチ店
株カワチ
株土井画材センター
なびす画材株
ホルベイン画材株
ホルベイン工業株
マルマン株
安田精工株
キャンソン・ジャポン株
センターフォト
セントラル画材株
株フォトプレース
ターナー色彩株
有ニッカ一絵具製造所

◆学校・出版・書店・その他

有建築パース事務所キャップ
株コラムデザインセンター
職業能力開発促進機関ヒューマン・アカデミー
東京パース造形学院
福島昇パースデザイン研究所
株ライフマップC s Nインテリアスクール
ワコアインテリアスクール
有エースブック
株グラフィック社
株創樹社 ソウジュベストビジネススクール
大龍堂書店
株アイ・エス・ティ
日本タイプライター株
株ハウスインテリア
壁装材料協会
プロセスアーキテクチュア



ごとう ひろし
後藤 弘 Hiroshi Goto

フリーランス
〒165 東京都中野区大和町3-3-8
Tel.03-330-8858
FREE LANCE
3-3-8 Yamato-cho, Nakano-ku, Tokyo 165



やなぎさわ ひでき
柳沢 秀樹 Hideki Yanagisawa

フリーランス
〒450 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-4
Tel.052-564-2409
Fax.052-564-2407
FREE LANCE
1-1-4 Meieki, Nakamura-ku, Nagoya-city, Aichi 450
▶パースは勉強中です。早く自分として納得のいくパースが描ければと思います。



こばやしまこと
小林 誠 Makoto Kobayashi

信建産業株
〒336 埼玉県浦和市田島8-16-14
Tel.0488-864-8961
8-16-14 Tajima, Urawa-city, Saitama 336
▶パースが好きでしょうがない奴



さかもと かずし
阪本 一史 Kazushi Sakamoto

デザインオフィス アングル
〒564 大阪府吹田市豊津町29-2-202
Tel.06-337-7591
Fax.06-337-7591
DESIGN OFFICE ANGLE
29-2-202 Toyotsu-cho, Suita-city, Osaka 564
▶パースは万国共通の文化。ゆくゆくは、国際的に活動したいこうと思っています。

52



さとう あけみ
佐藤 朱実 Akemi Satoh

Aデザイン
〒963 福島県郡山市開成4-9-12-206
Tel.0249-23-5455
A DESIGN
4-9-12-206, Kaisei, Kooriyama-city, Fukushima 963
▶趣味は、水泳・パソコン・旅行・チェスなどです。



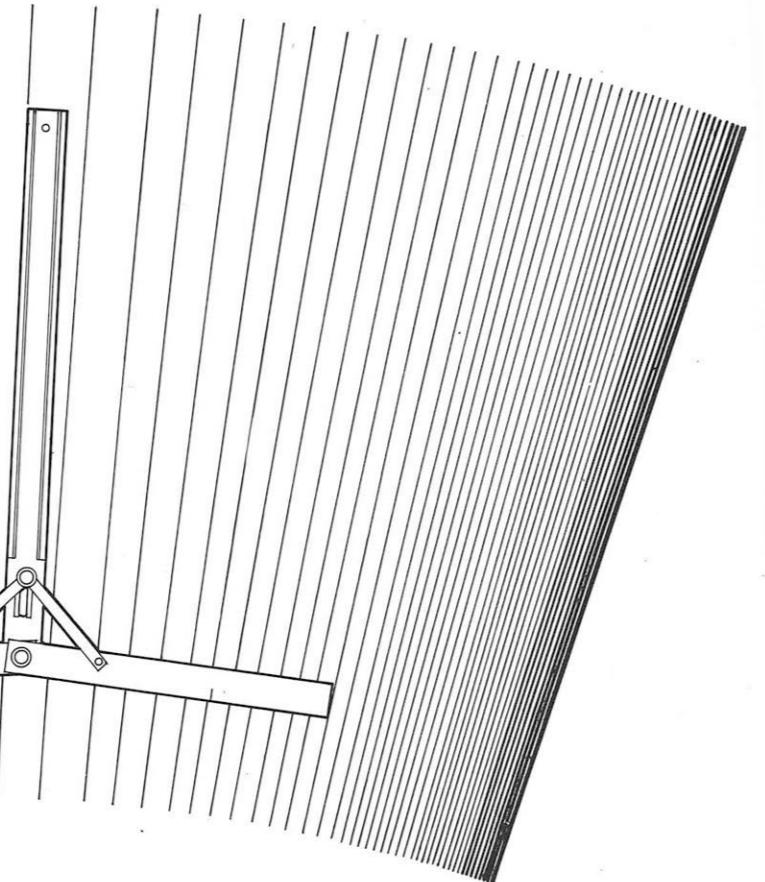
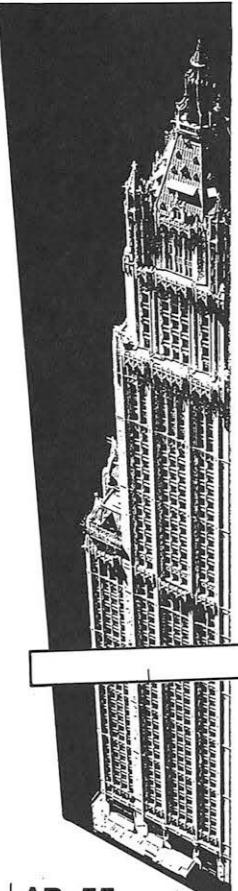
ふじしろ まさのり
藤城 勝範 Masanori Fujishiro

創 SHINKO 株式会社シンコー建創
〒444 愛知県岡崎市伊賀町西郷中86-2 デザイン・ネット・
ヴィレッジ
Tel.0564-21-5115
Fax.0564-21-5158
SO- SHINKO
86-2 Saigochu, Iga-cho, Okazaki-city, Aichi 444



みやもと かずろう
宮本 和朗 Kazuro Miyamoto

アートスタッフ
〒698 島根県益田市高津町イ-1592-111
Tel.0856-23-4488
Fax.0856-28-0028
ART STAFF
1592-111 Takatsu-cho, Masuda-city, Shimane 698
▶東京デザイナー学院を卒業後設計事務所に入社し、1988年にはARTSTAFF設立、現在に至る。



AR 定規 | AR-55 AR-90

AR-55／¥21,000、AR-90／¥23,000、製作／ABE RENDERING 阿部雅治
発売／日本アーキテクチャーレンダラーズ協会＊東京都港区南青山3-3-14-107 ☎03-470-5370
振替＝東京 4-52595



KIビル アトリウム

ドラマチック・アメニティ。

新たな潮流を生む、
鹿島の、オフィス理論。

私たち鹿島建設は、1日の約1/3を過ごすオフィスは、単なる空間ではなく、働く人々が自らの可能性を無限にひきだすことのできる空間でなければならぬ、と考えております。私たちが目指すオフィス環境、それは、インテリジェント機能を含めた「ドラマチック・アメニティ」。大自然のやすらぎをオフィス空間に創造、そして、ビジネスをスムーズに進行できる環境の創造をテーマとして、オフィスづくりに取り組んでおります。この度、完成した、KIビル(鹿島インテリジェントビル)はその一例です。

鹿島建設
KAJIMA CORPORATION

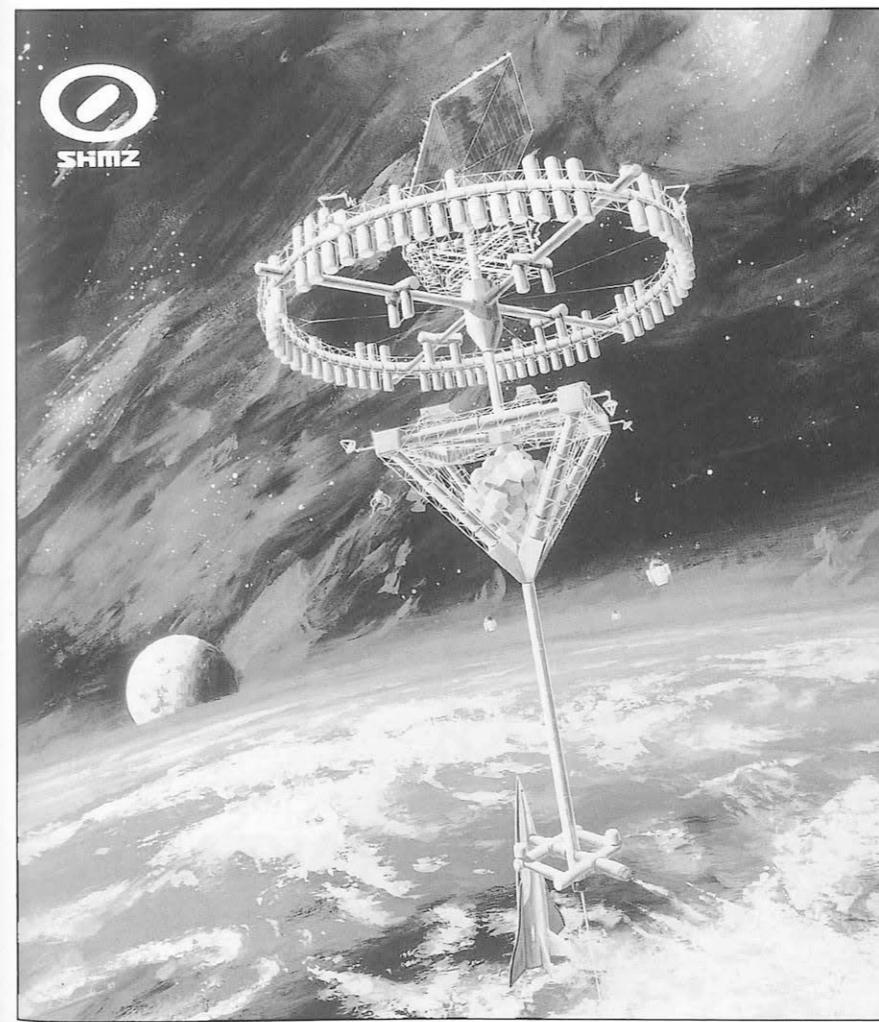
本社／〒107 東京都港区元赤坂1-2-7 TEL.(03)404-3311(大代)
お問い合わせは— 広報室へ

OBAYASHI

未来発快空間。

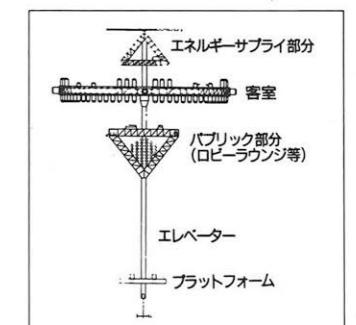
株式会社 大林組

東京本社／〒101 東京都千代田区神田司町2-3 ☎03-292-1111
本店／〒540 大阪市中央区北浜東4-33 ☎06-946-4400(電話番号案内)



シズが考へている
宇宙ホテルです。

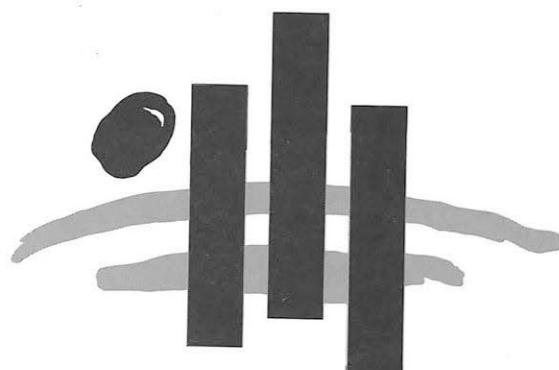
地球を見おろす次代のリゾート。
清水建設が宇宙を身近にします。



SHIMIZU CORPORATION の
清水建設

本社／〒104 東京都中央区京橋2-16-1 Tel.03(535)4111

「人がいきいきとする環境を創造する」そのネガイを形にしました。



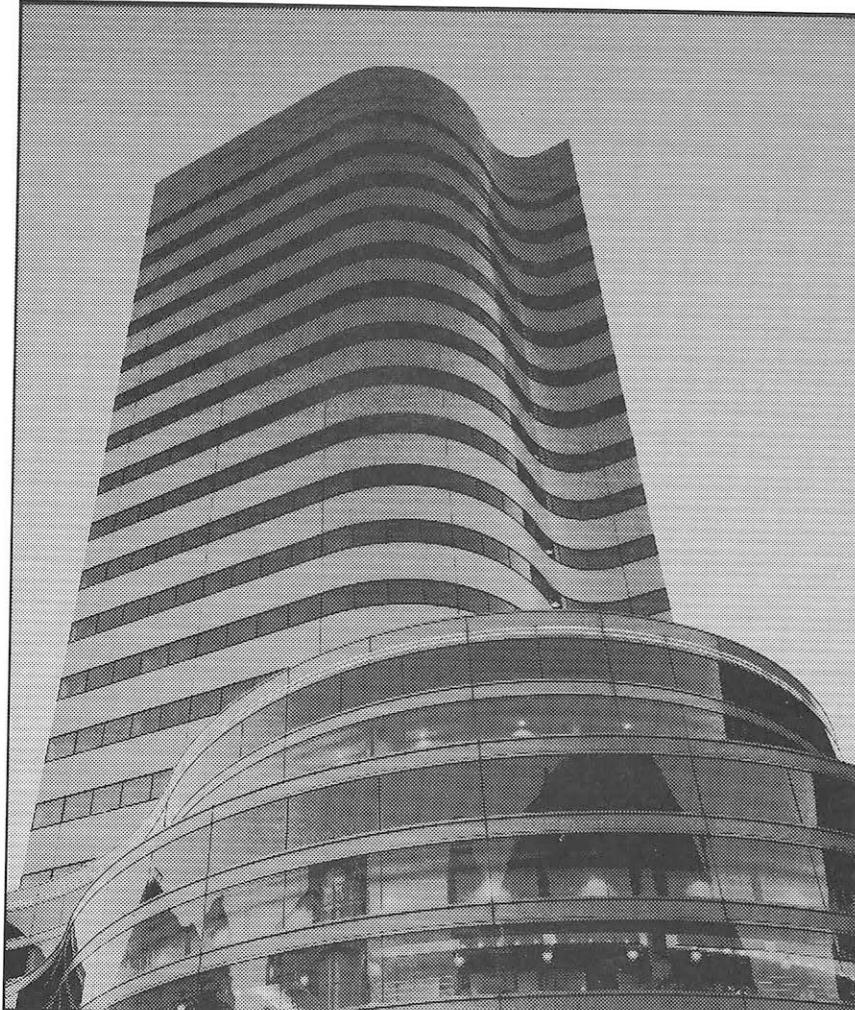
TAISEI

For a Lively World

文明と文化の融合を目指し、新しい経営の使命を「人がいきいきとする環境を創造する」という合言葉に集約しました。全社の行動の軸に据えることにしました。その決意を、人知の所産と広がる自然、太陽との組み合わせによる新しいシンボルマークに表現しました。21世紀に向かい前進する大成の活動とマークをお育てください。

大成建設株式会社

〒163 東京都新宿区西新宿1-25-1 ☎(03)348-1111



人にやさしい街づくり

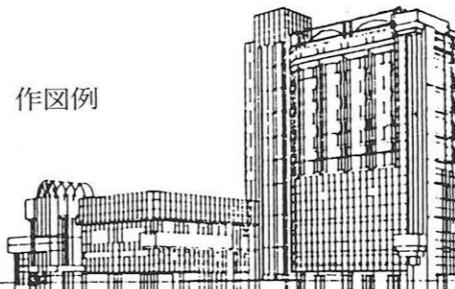
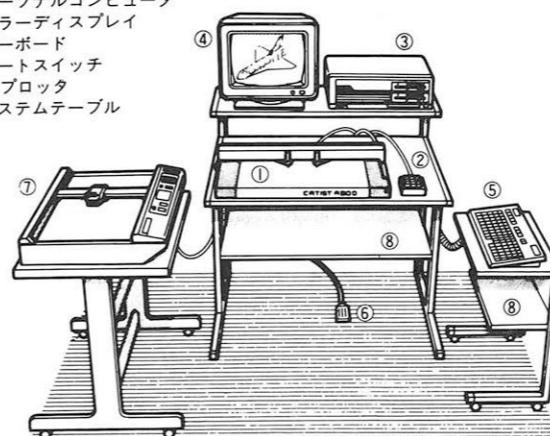


創業1610年
TAKENAKA
竹中工務店

お問い合わせは 総本店広報へ
〒541 大阪市中央区本町4丁目1-13 TEL 06(252)1201
〒104 東京都中央区銀座8丁目21-1 TEL 03(542)7100

CATIST A300 SYSTEM

- ①スリーダ
- ②ファンクションキーボックス
- ③パーソナルコンピュータ
- ④カラーディスプレイ
- ⑤キーボード
- ⑥フットスイッチ
- ⑦XYプロッタ
- ⑧システムテーブル



Easy 2次元図から3次元図を驚くほど
簡単に入力できるスリーダ。

Simple 実務的な作図機能をシンプルにまとめた
ファンクションキーボックス。

Dynamic

回転/傾斜/画法が自由自在
作図イメージをダイナミックに変換。

Multiple

さまざまな図形表現の要求に応えて…
用途は無限。



INTEGRATED SYSTEM TECHNOLOGY 株式会社 アイ・エス・ティ

〒130 東京都墨田区本所3-12-10-302

PHONE 03-829-3774 FAX 03-829-3775

常設展示場 PHONE 03-663-0208

ミ・タント カラーデッサン用紙・ボード



160 g/m²

Mi-Teintes[®]
カラーキャンソン・ミ・タント

注目のパステルカラーが加わって、全45色。
建築パース画用にご好評をいただいている“カラーキャンソン・ミ・タント紙”は、ラグをぜいたくに使用しているため品質が長期間安定し、パルプ繊維自体の染色により耐光性にすぐれ、色やけしにくいのが特長です。

ゼラチンサイズがほどこされた表面のほどよい目には、パステル、チョーク、コンテ、鉛筆などのタッチがよく映え、特にグッシュ、水彩、アクリルカラー、シルクスクリーンにおすすめいたします。

タイプ	品名	色	G/M ²	サイズ	包装	標準小売価格
	Sheet(シート)	全45色	160g	55×75	25・125枚	¥290
カラーべーパー	Sheet(シート)	全45色	160g	75×110	125枚	¥580
	Roll(ロール)	全45色	160g	1.52×10M	1本	¥10,400
フレーミング&ドローイングボード	アートボード	全45色	1,090g	80×120	5枚	¥1,980



キャンソン ジャパン 株式会社

〒102 東京都千代田区二番町10番5号 M・Yハウス202
Tel.(03)288-0121㈹ Fax.(03)288-0128

サンドーム(開閉式ドーム)

技術で未来を考える

熊谷組
〒162 東京都新宿区津久戸町2番1号 ☎03(260)2111

パースは建築物の『完成予想図』

Perse in Column

建物の外観、内装や店舗のインテリアをデザインするのもアーキテクチャルレンダラーに広く求められてきています。

COLOUR CO-ORDINATE

●造形の意義と本質を体得することができ、コーディネーターにとっての絶対条件、適確な表現力が修得できます。

●徹底した個人指導で、高度な知識、技術が短期間に修得できます。

●実技中心の指導です。

通信教育開校
大阪好評を得ている大阪パースアカデミーの教育システムをあなたの手もとへ!!
自宅で短期間でパース技術が身につく画期的システムです。
◎詳しい資料を用意致しておりますのでご請求下さい。

「実践パース」 宮後 浩著
「パーステック」 宮後 浩著
学芸出版社刊

■取得可能な資格等 詳しくはハガキで資料をご請求下さい。(案内書無料)

大阪パースアカデミー

あなたのために おしゃれなスクールです。

学校案内

養成講座

- パースペクティブ科 (8ヶ月)
(ラインパースから着彩まで)
- インテリアコーディネーター科 (20ヶ月)
(感性・華やかなクリエイティビティセンス)
- カラーコーディネーター科 (6ヶ月)
(言葉以上のコミュニケーション)
- フラワーデザイン科 (6ヶ月)
(おしゃれな技術)
- 総合トレース科 (6ヶ月)
(初心者からでも丁寧に指導)
- 一般旅行業務取扱主任者科 (10ヶ月)
(時代の花形職業)

※お問合せは、担当各校へ——
無料で案内書を送付いたします。

ソウジュニアビジネススクール名古屋校
(教室事務局) 〒461 名古屋市東区泉1-12-34 セントラルアベニュー1223 6F
☎052-961-6850代

ソウジュニアビジネススクール金沢校
(教室事務局) 〒920 金沢市尾山町3番26号 オリンピアビル3F(教室4F)
☎0762-24-9390代

ソウジュニアビジネススクール新潟校
(教室事務局) 〒951 新潟市新島町通一ノ町1977-2 ロイヤル健ビル3F
☎025-225-5771代

レンダラー協会の歩みと共に創立10周年!

業界のニーズに応え、活躍する卒業生700名。

東京パース造形学院は、住宅建築から商業建築、公共建築にわたる幅広い建築分野のイラストレーション、パースの領域で20数年の実績を持つ山城デザインの教育開発部門として昭和56年に設立、創立10周年を迎えます。お蔵さまでこれまでに数多くの卒業生を送り出し、各分野で目覚しい活躍を続けていると同時に、各方面から多大な評価を頂いて参りました。

時代の変化に柔軟に対応したカリキュラム。

パース科は全日制の昼間部、専門コースの夜間部、短期集中講座の土曜コースなど、すべて実技を中心に、現役プロによる小人数の懇切丁寧な指導体系。パース科の特長を生かしたインテリアコーディネーター科もユニークなカリキュラムが注目されています。

今後も世界全体が情報化、国際化の進む中で、人々の価値観の多様化にもフレキシブルに対応したカリキュラムと指導内容を目指し、新教材の開発導入、新たな表現スタイルの研究をも進めています。

生徒募集中

パース科
昼間部
本科 2年制・週5日／4月生
専科 1年制・週5日／4月生
夜間部
本科 1年制・週2日／4・10月生
専科 6ヶ月制・週2日／4・10月生
土曜コース
3ヶ月制・週1日／14・7・10月生
通信教育部
作画・鉛筆画・着彩コース/受講随時
夏期セミナー
毎年7月開催

インテリアコーディネーター科

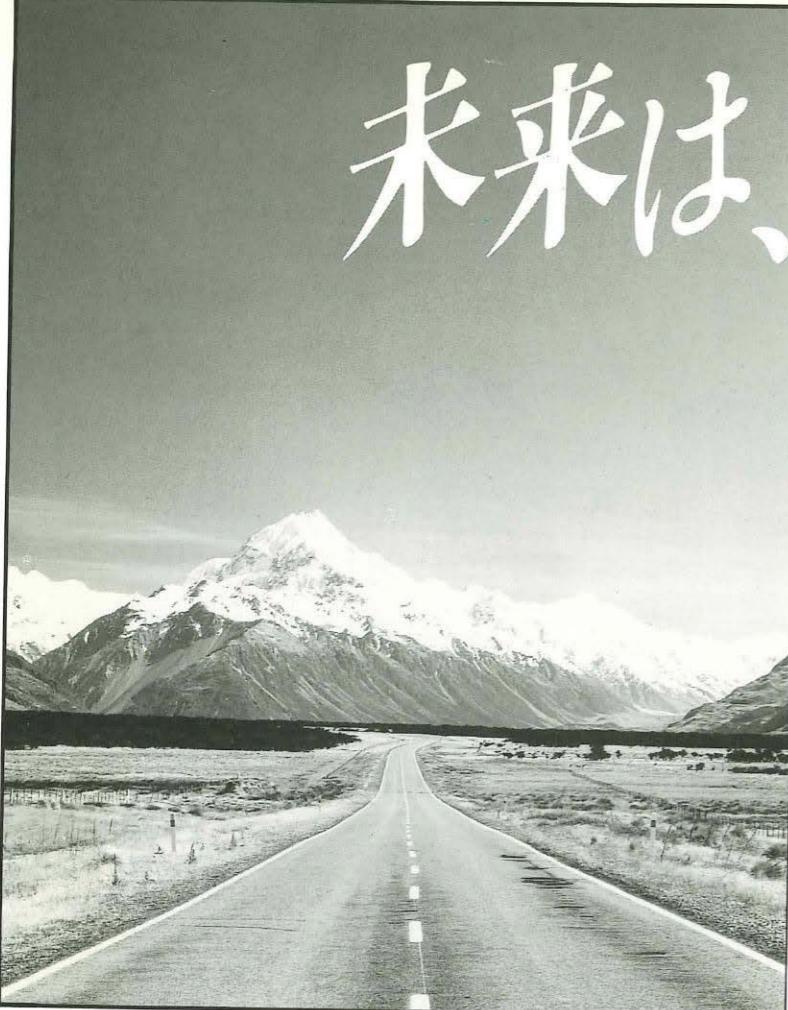
昼間部
本科 1年制・週2日／4・10月生
夜間部
本科 1年制・週2日／4月生

東京パース造形学院
〒150 渋谷区恵比寿西2-3-15エビスエイトビル ☎03(770)3840
*案内書ご希望の方は切手300円を同封の上、お申込み下さい。

国立大学及び専門学校のテキストとして採用され、海外版も刊行された注目のベストセラー! 全国有名書店にて発売中!
「現代パースの着彩テクニック」・「現代パースの基本と実際」 山城義彦著・グラフィック社刊



未来は、晴天なり。



雨の日もある。
雲りの日もある。

雪の日も、時には、嵐のような日もある。
でも、私たちの進む未来は、いつも晴れの日でありたい。
ハザマは、最先端の技術と豊富な人材を駆使し、
豊かな暮らしをバックアップします。
未来との確かな架け橋、ハザマ。

最良の品質と確かな信頼で、希望にあふれる未来を実現したい。

HAZAMA

間組

〒107 東京都港区北青山2-5-8 ☎03(405)1111(大代)

三菱地所株式会社

頼もしいパートナーがいれば、
難しい土地問題もみごとに解決。
名探偵シャーロック・ホームズが難事件をすら
りと解決できるのも、ワトソン君という名
パートナーがいればこそ。土地の問題において
ても、しかり。三菱地所の共同事業システム
パートナーが、総合力とキャリアを駆使
して、あなたの土地の難問にお応えします。

パートナー

三菱地所の共同事業システム

パートナー 03(287)5400 東京駅前
事業部 丸ビル7階 102室

〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1

建設大臣免許(7)第857号 建築物所有者登録

●詳しい資料をさしあげます。お気軽にパートナーまでお電話下さい。

※地域や敷地面積によっては、対応のむずかしい場合もあります 予めご了承下さい



難問解決の秘訣は、
パートナーにある。

シャーロック・ホームズ

感性で次代を拓く。



I.K.K.
樹建設株式会社

ITSUKI KENSETSU CORPORATION

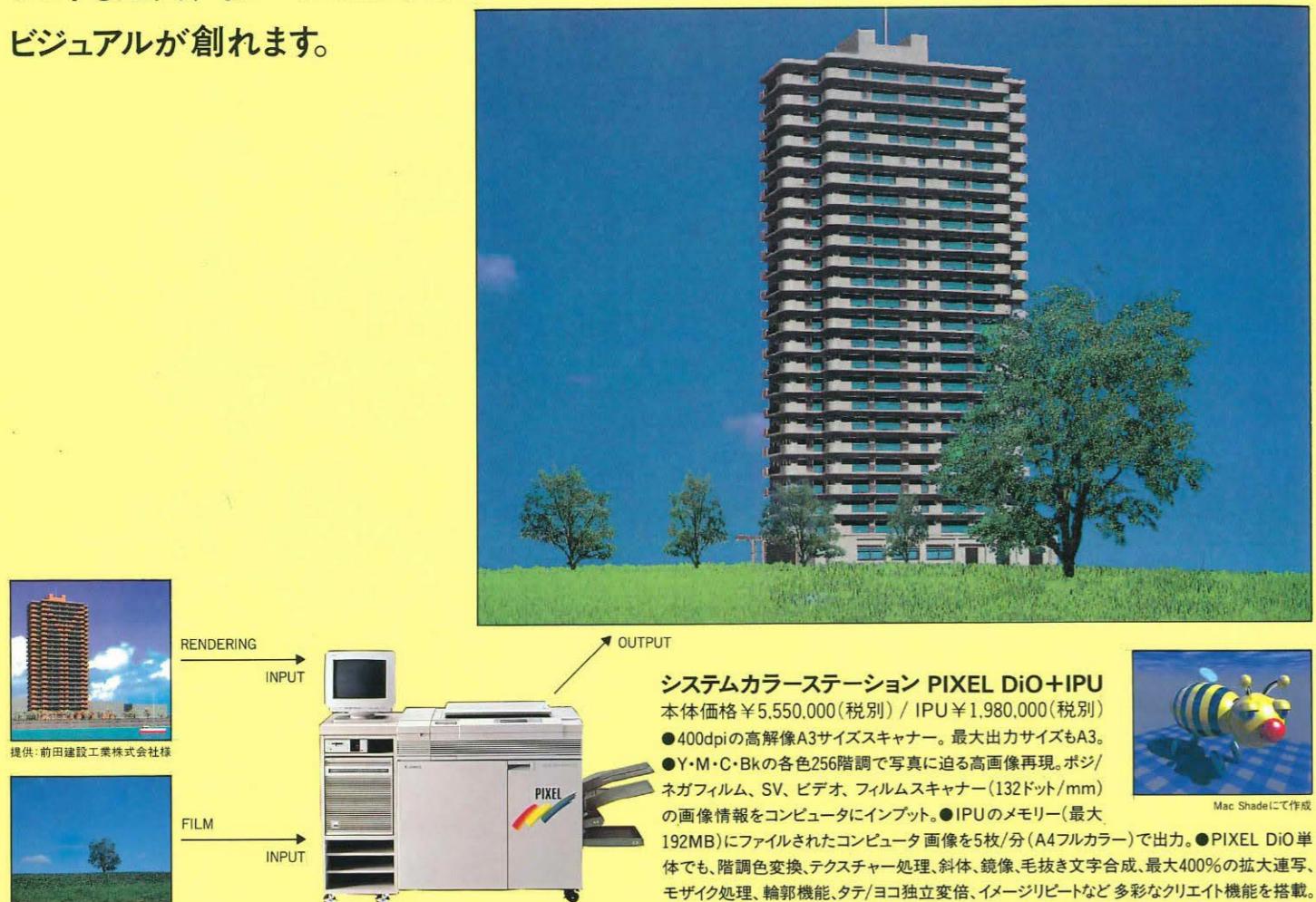
本社 〒143 東京都大田区大森西5-29-7 ☎03-766-5888 Fax 03-764-7285

営業所 〒104 東京都中央区八丁堀2-1 別途ビル ☎03-555-2907代 Fax 03-297-0829

誕生、ピクセル・グラフィ。

コンピュータが、これまでにない高精細で高階調な
デジタルフルカラーPPCとアクセス。
ソフトも充実、イメージどおりの
ビジュアルが創れます。

NTC
Canon グループ



PIXEL DiOとアクセス可能なソフトウェア

ソフトウェア/価格	使用ハードウェア	主な特長
HyPER 彩子 (株)デジタルアーツ/￥88,000	PC-9801シリーズ	●フルカラー2次元デザインソフト。●描画機能、各種の画像処理機能に加え3D的な表現も可能な多機能ソフト。
YUI pixel (株)テクネ/￥500,000	AXパソコン、AT互換機 PC-9801シリーズ	●フルカラー2次元デザインソフト。●描画機能、各種の画像処理機能を持ち、同時ペイント領域(640×480画素)にIPU上の画像の一部を取り出して編集が可能。
スーパータブロード・プレミアム (株)サビエンス/￥1,950,000	PC-9801シリーズ	●フルカラー2次元デザインソフト。●描画機能、各種の高度な画像処理機能を持ち、さらに豊富な他ソフトウェアと連動可能。
Mac Shade(※1) (株)イマジン/￥1,500,000	Macintosh IIシリーズ	●フルカラー3次元デザインソフト。●3次元モデリングや被写界深度効果で写真なみの精密レンダリングが可能。●アニメ機能、マック複数接続、4色分解などにも対応。
ダイナバース(※2) (株)ダイナウェア/￥800,000	PC-9801シリーズ Macintosh	●フルカラー3次元建築用グラフィックソフト。●大規模な都市計画からインテリア、オフィスレイアウトなどの内観パースもリアルに実現。

映像と情報のシステムインテグレーターを目指す

NTC 日本タイフライター株式会社

本社/東京都中央区京橋1-11-2 TEL (03) 562-4161

お問い合わせ・資料請求は、営業本部CG販売推進まで

札幌・鈴鹿・仙台・盛岡・山形・新潟・つくば・東京(京橋・三田・電戸・新宿)
船橋・横浜・静岡・浜松・名古屋・三重・金沢・富山・福井・大阪・京都・高松
神戸・広島・岡山・山口・鳥取・福岡・北九州・熊本・宮崎・鹿児島

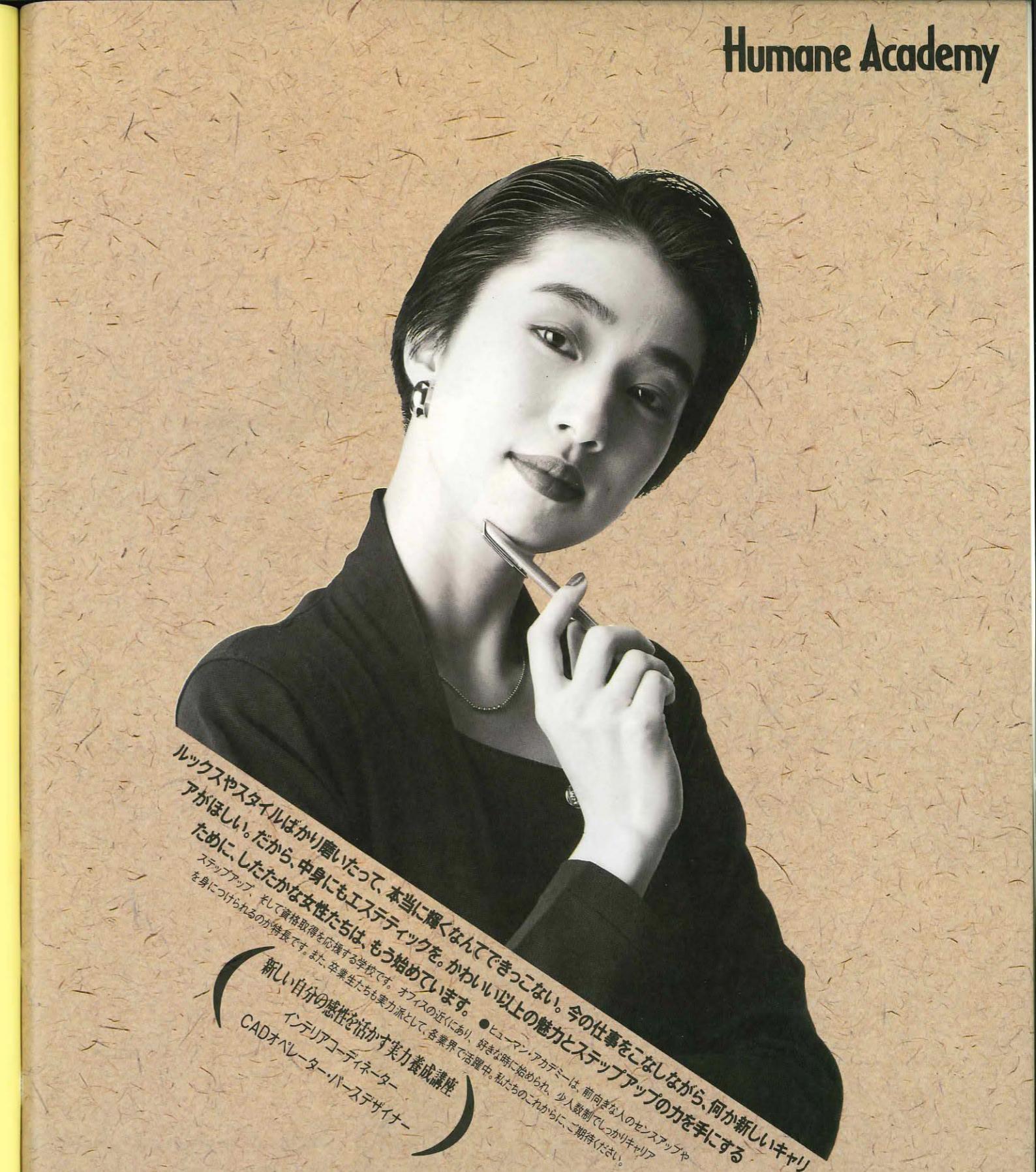
●「PIXEL(ピクセル)」は登録商標です。●Macintoshはアップルコンピュータ社の登録商標です。●記載の価格に消費税は含まれておりません。●記載の内容は1990年6月20日現在のものです。

そろそろ中身のエステティック。

社会人のための能力開発スクール

ヒューマン・アカデミー

お問合せは 0120-178222
●東京本部



NTCで実施しているオペレーション教育				
ソフトウェア	インストール	初級コース	中/上級コース	●各コースとも約6時間。●左記以外の時間。●各コースとも約6時間。●左記以外の時間。
HyPER 彩子	○	○	○	
スーパータブロード・プレミアム	○	○	○	ソフトウェアについて
Mac Shade	○	○	○	でも教育を実施しています。(予約制)
ダイナバース	○	○	○	

新宿校・札幌校・新宿駅前校・渋谷校・赤坂校・池袋校・横浜校・大宮校・千葉校・名古屋栄校・名古屋駅前校・梅田第一ビル校・梅田第二ビル校
梅田第四ビル校・天王寺校・西大寺校・三宮校・堺筋本町校・新大阪校・南森町校・心斎橋校・本町校・京都河原町校・京都三条校・広島校・福岡校

上への、引力。



都市の引力はあたかも空へと向かうかのように、一層、また一層と、ビルは高く伸びていきます。超高層時代のカーテンウォールへの要請に対して、YKK APは、超高層ビルにおいて世界でもっとも輝かしい実績をもつ、米国 CUPPLESとの技術提携により、世界レベルのデザイン・技術力でお応えします。

YKK AP
YKKアキラカルテクノロジ株式会社
本社：〒101 東京都千代田区神田和泉町

【沿革】

- 1980年 7月.....設立総会（於九段会館・創立会員50名）
- 1981年 3月.....セミナー「バースペクティブ・ドローイング技術講座」
 - 6月.....シンポジウム「バースペクティヴの過去から現在まで」
 - 8月.....セミナー「建築バース実技講座」
 - 9月.....作品展「バースペクティヴ'81」（於銀座・松屋）
 - 11月.....シンポジウム「レンダラーのための写真講座」
- 1982年 2月.....刊行「会員とその作品の紹介/ブローシャー'82」
 - 2月.....作品展「建築バース'82東京展」
 - 4月.....作品展「建築バース'82大阪展」
 - 7月.....作品展「建築バース'82名古屋店」
 - 11月.....作品展「現代建築バース展」（於晴海・日本建築センター）
- 1983年 2月.....作品展「建築バース'83東京展」
 - 2月.....シンポジウム「建築家とレンダラーの関わりについて」
 - 7月.....シンポジウム「イラストレーション・バースについて」
 - 9月.....作品展「建築バース'83大阪展」
 - 10月.....シンポジウム「透視図法、用語の統一について」
- 1984年 1月.....現場見学会（東芝ビル新築工事）
 - 3月.....シンポジウム「レンダラーの今後の問題点（展望）」
 - 6・7月.....作品展「建築バース'84展」（東京・大阪）
- 1985年 10・11月.....作品展「建築バース'85展」（東京・大阪）
- 1986年 7月.....シンポジウム「税金対策について」
 - 8・9月.....作品展「建築バース'86展」（東京・大阪）
- 1987年 8月.....国際交流（米国 ASAPとの友好関係を締結）
 - 9月.....出版（会員作品集を発行）
 - 9月.....作品展「建築バース'87展」（東京・大阪）
 - 10月.....国際交流（ASAP展に招待出品・於米国グラス市）
- 1988年 5月.....シンポジウム、パソコンの実演と T.W.シャレー氏交歓会
 - 8・9月.....作品展「建築バース'88展」（東京・大阪）
 - 10月.....国際事業（ASAP展。'88展相互招待作品を展示）
- 1989年 6月.....シンポジウム「著作権について」（清水幸雄先生）
 - 8月.....作品展「建築バース'89展」（東京・大阪・名古屋）
 - 8月.....出版（会員作品集を発行）
 - 10月.....国際事業（ASAP総会及び展覧会参加ツアー）
- 1990年 2月.....国際交流（韓国レンダラー訪問）
 - 3月.....出版監修「建築バース 外装 S&R」（グラフィック社刊）
 - 8月.....10周年記念事業▶建築バース'90展・サムシングニュー展・国際展・公募展・歴史展・シンポジウム他（東京・大阪・名古屋）